

平成28年度第4回小金井市児童発達支援センター運営協議会 次第

日時：平成29年3月14日（火）午前10時から
場所：本庁暫定庁舎1階 第1会議室

- 1 開会
- 2 平成29年2月までの実績報告
- 3 講演会・支援者研修アンケート結果について
- 4 職員の処遇改善について
- 5 平成28年度第三者評価結果について
- 6 業務評価報告書（平成28年度）について
- 7 次回開催日程
- 8 その他
- 9 閉会

■ 配布資料

- 資料1 児童発達支援センター運営協議会への実績報告
- 資料2 講演会・支援者研修アンケート結果について
- 資料3 職員の処遇改善について
- 資料4 平成29年度障害福祉サービス等報酬改定の概要等について
- 資料5 平成29年度障害福祉サービス等報酬改定の概要
- 資料6 平成28年度第三者評価（利用者調査・職員調査）
- 資料7 福祉サービス第三者評価結果報告書（平成28年度）
- 資料8 小金井市児童発達支援センターきらり業務評価報告書（平成28年度）
- 資料9 平成29年度小金井市児童発達支援センター運営協議会開催日程（予定）

児童発達支援センター運営協議会への実績報告

平成29年3月1日現在

	平成28年												平成29年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
①相談支援事業（一般）	13件	9件	16件	13件	17件	17件	12件	20件	16件	9件	9件	9件	151件			
②相談支援事業（専門）	20件	47件	27件	34件	24件	42件	23件	43件	34件	51件	56件	56件	401件			
③相談支援事業（ ㊦ ）	23件	35件	32件	30件	27件	21件	24件	31件	39件	36件	58件	58件	356件			

	平成28年												平成29年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
④児童発達支援事業	22人	22人	22人	22人	22人	22人	22人	22人	22人	22人	22人	22人	-			
⑤放課後等デイサービス	50人	48人	50人	50人	48人	49人	48人	48人	48人	50人	50人	50人	-			
⑥保育所等訪問支援事業	0人	0人	0人	1人	1人	0人	1人	2人	0人	0人	0人	0人	4件			
回数	0回	0回	0回	1回	1回	0回	1回	2回	0回	0回	0回	0回	5回			
⑦親子通園事業	15人	20人	25人	26人	26人	26人	35人	35人	38人	38人	38人	38人	-			
回数	4回	5回	10回	10回	9回	9回	12回	13回	13回	12回	14回	14回	111回			
⑧外来訓練事業	91人	92人	100人	104人	106人	110人	114人	118人	127人	130人	130人	130人	-			
回数	222回	225回	235回	236回	231回	265回	259回	296回	313回	311回	300回	300回	2,893回			

各事業の報告内容について

①相談支援事業（一般）	新規の相談の方が対象
②相談支援事業（専門）	継続相談の方が対象。計画相談等も含まれる。
③相談支援事業（ ㊦ ）	相談者、関係機関等との電話での相談。予約受付は数に含まない。
④児童発達支援事業	登録者数
⑤放課後等デイサービス	登録者数
⑥保育所等訪問支援事業	登録者数及び実施回数
⑦親子通園事業	登録者数
⑧外来訓練事業	登録者数及び実施回数

支援者修会アンケート結果について

- 1 開催日時
平成 28 年 12 月 1 日（木） 午後 6 時 30 分～午後 8 時 30 分まで
- 2 内容
「保護者支援」～保護者とよりよい関係を築くために～
- 3 実施形式
(1) 講義形式
(2) 講師 岡野 典子（きらり所属 臨床心理士）
- 4 参加人数
58 名（定員 150 名、申込 74 名）
- 5 アンケート結果（一部抜粋）

【内容についての感想】

- 保護者の方の思いを改めて考える機会になりました。家族背景について考える視点など、まだまだ私には足りないことが多いと知りました。
- 親を支え受け止めることが、子どもの安心安全な成長につながるのだなど、実感しました。自分のコンディションを整える…なるほど、自分のことは考えていませんでした。そうですね、これからは意識していきます。
- 日々、子どもの保育に携わる中で、自己の行動を振り返ることができました。保護者間の連携、保護者の方との距離感の持ち方を確認することができて、とても勉強になりました。実際の相談での事例をお話しされて、具体的に思い描きやすかったです。
- 日頃の業務を振り返りながら、聞かせていただきました。冷静さと、アンテナを張って敏感にキャッチできること、保護者のアセスメント、情報収集すること、すべてが日頃の業務の中で必要ですが、難しいですが。日々、意識しながら、対応していきたいと思いました。スタッフも、同僚との常に共有がある中で、振りかえり、次の仕事に返していけているのだと思いました。自分のことを知る、知識をえることなど色々なスキルが必要と改めて思いました。整理できる機会になりました。
- 対応の仕方や考え方について具体的に話していただけて大変良かった。支援する自分達も守られるべき存在だと考えることで少し心が軽くなった気がする。保護者の障害受容についても、これからの支援に役立てていきたいと思う。
- わかりやすい内容でした。過去に急いで失敗したことや“子どもにとって”がうまく伝わらなくて落胆したことが思い出され、保護者に寄り添うことの大切さを再認識しました。

- 螺旋型モデルの考え方に触れ、納得する点がたくさんあった。障害を受容するということが簡単な事ではないと頭では分かっているが、保護者の中にある思いはいつも表裏一体で、どちらも本当の気持ちであるという事を受け止めていきたいと感じた。
- 支援者として、自分の価値観、クセを知ることについて、普段の自分を振り返る機会となりました。どんなふうを考え、立ち振る舞っていたか、改めて見直し、日々の保護者支援へとつなげていきたいと思います。まだまだ未熟な自分にとってアドバイスをすることは難しいですが、ねぎらい、寄り添い、真摯に向き合いたいと思います。
- 支援したい、という思いが一方的なものとなって押し付けになりそうになったことがあり、反省したことがあるのですが、また同じ間違いをしそうになった事に気付きました。少し引いて客観的になる事、寄り添ってみる事、など再認識させられました。
- “保護者支援”という視点で、自分と保護者の方々の関わり方を、改めて振り返ることができました。普段、何げなく話していることは多くあるのですが、それを保護者の方がどう受け止めているのか、どのように伝わっているのか、今一度意識しながら話をしていきたいと思いました。また、“なぜ伝わらないのか”“どうしてこのように伝わってしまったのか”と感ずることがあるのですが、その際は保護者の方々の捉え方・考え方を理解した上で、伝え方を工夫できると良いのだなと思いました。
- まずは自分の価値観・偏見・癖を知ろう。→とにかく“何かしら動かなければ支えなければ”と思ってしまいがちだが、まずは自分自身の傾向を冷静に判断することが大切だと気付きました。保護者の価値観・テンポを意識することを忘れてはいけないと改めて感じました。
- 子どもにとっての達成感や成功体験と同じように、保護者も相談して楽になったという感覚を持ってもらうことの重要性を感じた。保護者支援のベースは“子どもにとって”ということ強く意識していきたいと思う。
- “育ちを待つことが分かりにくい”という表現に、しっくりときた。徐々にできるようになることも、今すぐ変わる方法を求めて聞かれることが多い。その点をどう共有していくか、難しさを感じている。実際に発達支援につながっている保護者の気持ちを具体的に聞くことができ、相手の状況をより具体的にイメージ（想像）しながら向き合うことができるかと思う。
- 大変勉強になりました。もう少し踏み込んだ具体例を記述、お話しいただければよかったのかと思います。具体的な対応→親の反応などのエピソードをお聞かせ頂ければよかったと思います。
- 保護者の不安や背景に思いをはせることが大切なのはわかりました。しかしながら受け入れられなかったり、保護者の関わり方が適していないこともあり、集団生活を今後していく中で、自尊心を傷つけず支援をしたいと思うからこそ、保護者にアプローチしていくケースが多いと思います。保護者か子どもか見方を変えると、対応が相反すると思いますが、巡回相談など、他市に比べて体制が違い、専門機関同士が連携を取らなければならないので、保護者に寄り添いつつ、子どもの支援に力を入れ、市内の子どもが健やかに生活できるように、仕組みづくりも重要と感じました。

講演会アンケート結果について

- 1 開催日時
平成28年11月10日（木） 午前10時～正午まで
- 2 内容
「遊びの発達」
- 3 実施形式
 - (1) 講義形式
 - (2) 講師 兵頭 洋子（専門学校社会医学技術学院 作業療法士）
- 4 参加人数
29名（定員70名、申込36名）
- 5 アンケート結果（一部抜粋）

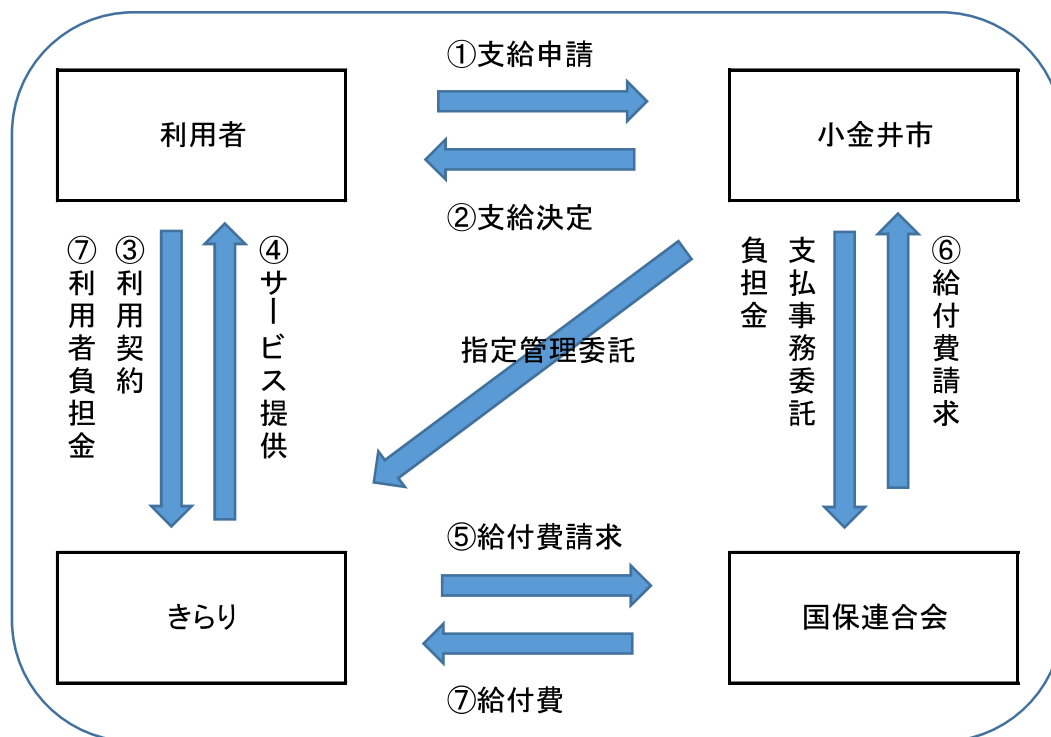
【内容についての感想】

- 育児セミナー等では聞くことが出来ない内容でとても良かったです。我が子は発達が早く、同年齢の子と全然違うスピードで進んで来たので、今回の様に発達の段階の話等、先々の話まで聞くことが出来て安心しました。一つ一つ段階をふんでいる事も分かり、今後も安心して見守れます。ありがとうございました。
- わかりやすく保育園でも実際に行っていけることがたくさんあることに気がつきました。医学的根拠を知ることが出来て良かったと思います。現在行っていることに対し、“これでいいんだ”と安心しました。
- “遊びを通して子どもは育つ”というテーマはとても良いと思いました。もっと実際の場面に合ったこと、具体的に聞きたかったです。最後の質問の返答で話された「遊びを用意してやらせるのではなく、何をやって遊んでいるのか観察して、その遊びの中へ入っていく」ということ、なるほどと思いました。好きな遊びの中から遊びを広げて、少し変化を加えていくという方法を保育の中に取り入れられたらと思いました。
- 子どもは「遊びを」を通して成長していく、生活の一つ一つの動作も遊びとしてとらえて学習していくのは理解していても、保育園の毎日の生活の流れの中で、気持ちを高めていくのは難しいと感じます。
- 保育士は、「こうあるべき」「こうなるべき」というイメージを強く持ちやすいのかなと感じます。先生の「子どもの遊びに大人が入っていく、子供の成長に合わせる」という言葉が、とても印象に残りました。
- 環境と遊びの変化が及ぼす影響・要因について、もう少し詳しく話していただけると良かったと思いました。

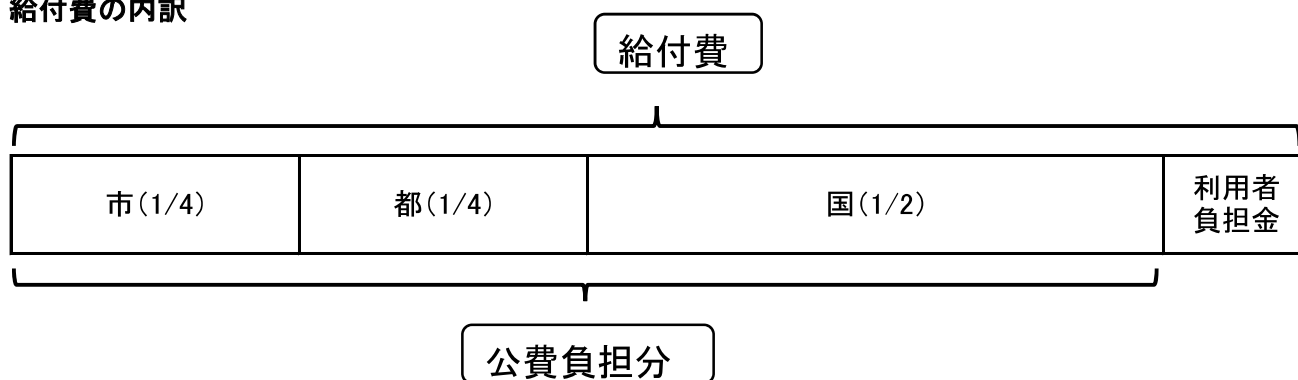
- その子に合わせた遊びが大事だとは思いますが、具体的な遊びも教えていただけると良いと思います。
- 子供の発達段階に沿っての説明等、分りやすかったです。個々の子によって興味・状況が違うので、説明は難しいとは思いますが、「遊び」の内容を具体的にどんな物、こんな物があるというのをもっと聞きたかったです。ありがとうございました。
- 粗大運動発達、手の機能の発達について、具体的な例を用いての説明が分りやすく、勉強になった。
- 発達についての理論的なお話は丁寧にいただいたので分りやすかったのですが、もう少し実践的なお話が聞けることを期待していました(質問でしたが…)。「最後に…」のお話はとても参考になりました。
- 子供にとっての遊びの重要性を改めて確認することができた。また、出来ない事ばかりに目を向けず、できる事を伸ばせるような関わり方をしていきたいと思う。集団の中で「してほしいこと」「しなければならないこと」を、どのように自主的に成功体験として促せるかがとても難しいと思った。
- とても勉強になりました。感覚統合の話あたりをもう少し詳しく聞いてみたかったのですが、今回のテーマとは違っていたようなので、次回そういう研修があったらぜひ参加してみたいです。
- 子供の発達と遊びについて、様々な資料をもとにお話を聞くことができ、とても参考になりました。保育園の中での遊びの大切さを、発達に合う遊びの環境を整え、子どもの自主的な行動によって子供の機能を育てるために、遊びを考えたいと思いました。

職員の処遇改善について

1 きらりの収入構造



2 給付費の内訳



3 利用者負担金の計算

1ヵ月総サービス提供回数 × 報酬算定単位 × 10% = 利用者負担金



厚生労働省が設定。平成29年度より新たに処遇改善のための単位数を増やすことが可能

※利用者負担金には世帯の所得に応じた上限月額があります。

事 務 連 絡
平成 29 年 1 月 18 日

都道府県
各 指定都市 障害保健福祉主管課 御中
中 核 市

厚生労働省社会・援護局
障害保健福祉部 障害福祉課

平成 29 年度障害福祉サービス等報酬改定の概要等について

平素より、障害保健福祉行政の推進に、格段の御高配を賜り厚く御礼を申し上げます。

さて、障害福祉人材については、更なる処遇改善に引き続き取り組むべく、競合する他産業との賃金差を解消するとの観点から、本年 8 月 2 日に閣議決定された「未来への投資を実現する経済対策」において、「介護保険制度の下で、介護人材の処遇については、キャリアアップの仕組みを構築し、月額平均 1 万円相当の改善を平成 29 年度から実施する。障害福祉人材の処遇についても、介護人材と同様の考え方に立って対応する」とされ、政府において、平成 29 年度に臨時に障害福祉サービス等報酬改定を行うことにより対応することとしております。

つきましては、今般、平成 29 年度障害福祉サービス等報酬改定の概要等を別添のとおり取りまとめましたので、各都道府県市におかれては、管内市区町村、関係団体、関係機関に対して情報提供をお願いいたします。

【照会先】

厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部
障害福祉課 評価・基準係
TEL:03-5253-1111 (内線 3036)

1. 改定率について

- 平成29年度障害福祉サービス等報酬改定は、障害福祉人材の処遇改善について、平成29年度より、キャリアアップの仕組みを構築し、月額平均1万円相当の処遇改善を実施するため、臨時に1.09%の報酬改定を行うものである。

2. 平成29年度障害福祉サービス等報酬改定の基本的考え方とその対応

- 事業者による、昇給と結びついた形でのキャリアアップの仕組みの構築について、手厚く評価を行うための区分を新設する。
- 新設する区分の具体的な内容については、現行の福祉・介護職員処遇改善加算(I)の算定に必要な要件に加えて、新たに、「経歴若しくは資格等に応じて昇給する仕組み又は一定の基準に基づき定期に昇給を判定する仕組みを設けること（就業規則等の明確な書面での整備・全ての福祉・介護職員への周知を含む）」とのキャリアパス要件を設け、これらを全て満たすことを要することとする。
- 上記に伴う、福祉・介護職員処遇改善加算の区分と加算率等については、次頁以降のとおりとする。

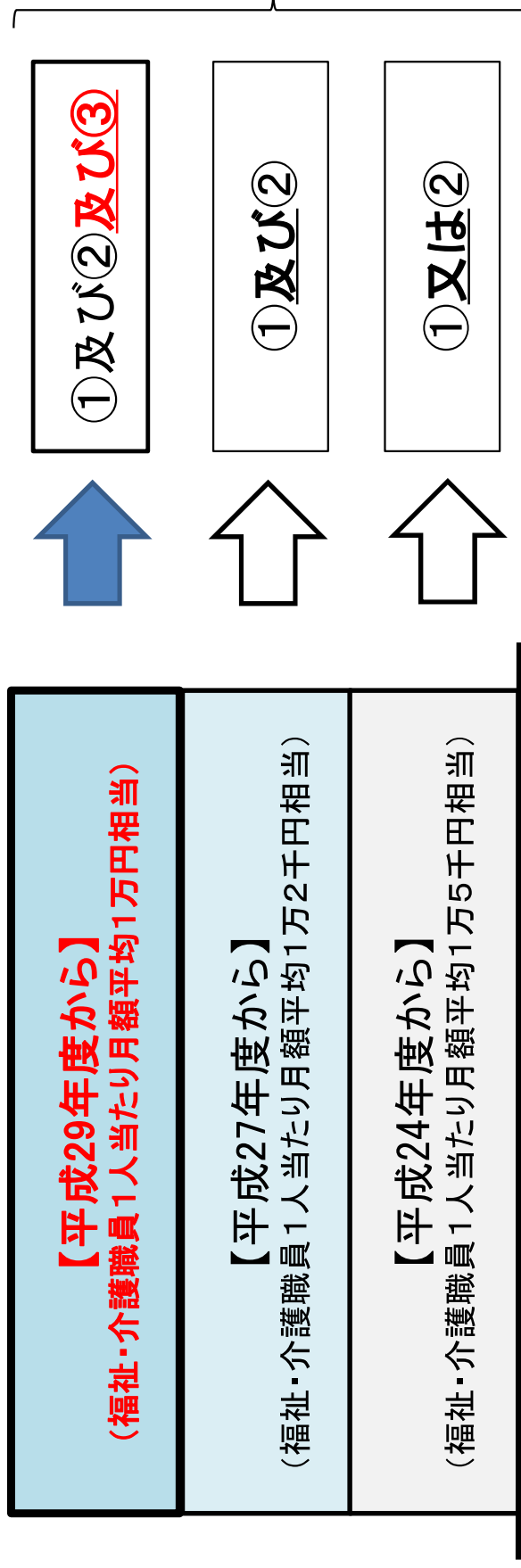
障害福祉サービス等における福祉・介護職員の処遇改善 (福祉・介護職員処遇改善加算の拡充)

○ 福祉・介護職員処遇改善加算について、平成29年度から、**福祉・介護職員の技能・経験等に応じた昇給の仕組み**を構築した事業者に対して、新たな上乘せ評価を行う加算を創設。(報酬改定)

キャリアパス要件

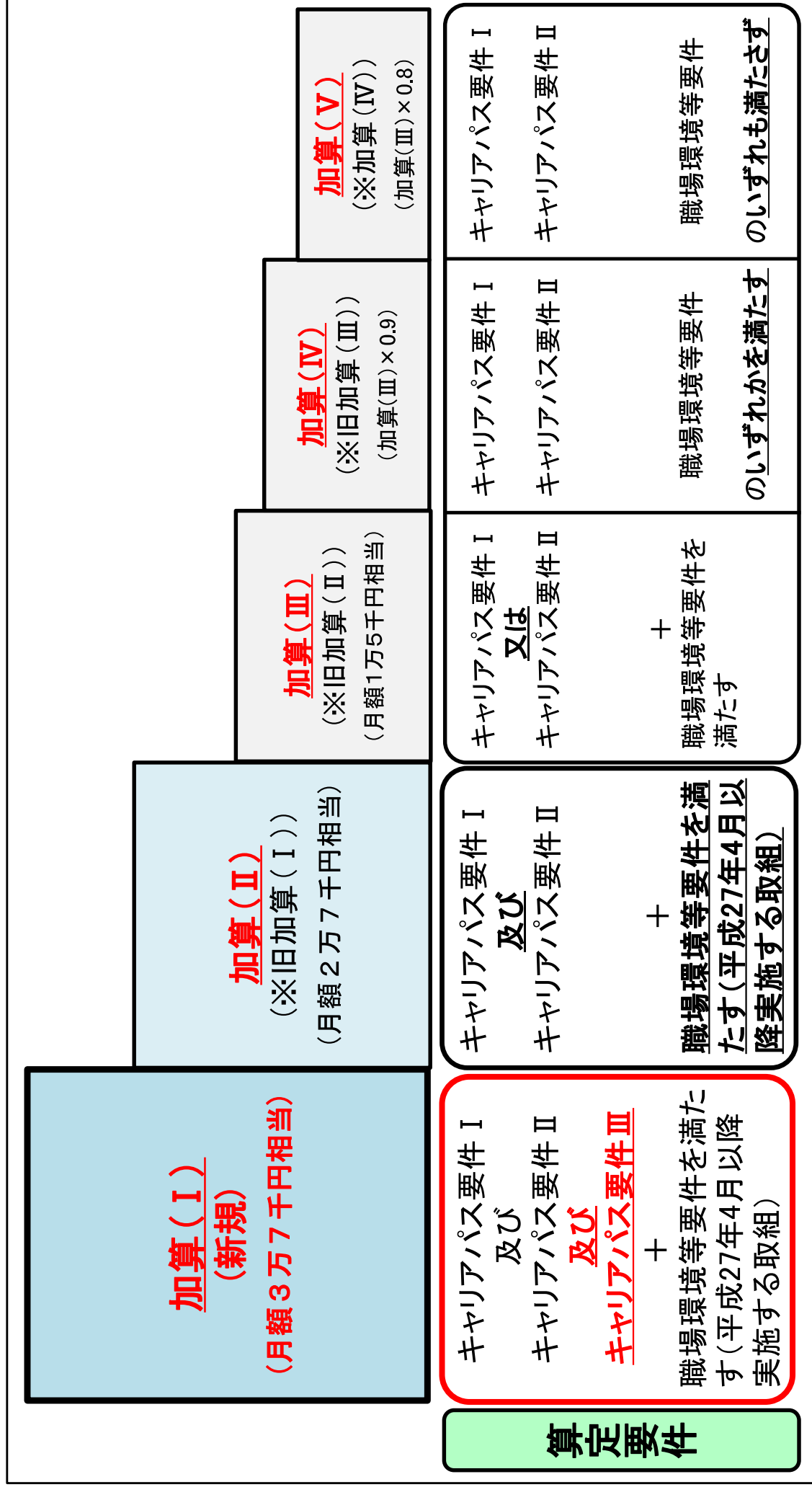
※就業規則等の明確な書面での整備・全ての福祉・介護職員への周知を含む。

- ① 職位・職責・職務内容等に応じた任用要件と賃金体系を整備すること
- ② 資質向上のための計画を策定して研修の実施又は研修の機会を確保すること
- ③ **経験若しくは資格等に応じて昇給する仕組み又は一定の基準に基づき定期に昇給を判定する仕組みを設けること(新設)**



※ 障害福祉サービス事業者は、加算として得た額以上の賃金改善を実施することが求められる。

福祉・介護職員処遇改善加算の区分



(注) 「キャリアパス要件 I」…職位・職責・職務内容等に応じた任用要件と賃金体系を整備すること
「キャリアパス要件 II」…資質向上のための計画を策定して研修の実施又は研修の機会を確保すること
「キャリアパス要件 III」…経験若しくは資格等に依りて昇給する仕組又は一定の基準に基づき定期に昇給を判定する仕組を設けること
「職場環境等要件」…賃金改善以外の処遇改善を実施すること
※就業規則等の明確な書面での整備・全ての福祉・介護職員への周知を含む。

処遇改善加算（拡充後）におけるキャリアアップの仕組みのイメージ

職位・職責・職務内容等に応じた賃金体系

職位	月給例
主任	36万円
班長	32万円
一般	28万円

どのような場合に昇給するのかが必ずしも明らかでない。

現行の加算

事業者において以下の①～③のいずれかに応じた昇給の仕組みを設けることを新たに要件とする

（就業規則等の明確な根拠規定の整備・全ての福祉・介護職員への周知を含む）※昇給の方式は、基本給、手当、賞与等を問わない。

① 経験

職位	勤続年数	月給例
主任	6年～	36万円
班長	3～6年	32万円
一般	～3年	28万円

② 資格

職位	資格	月給例
主任	事業者が指定する資格を取得	36万円
班長	介護福祉士	32万円
一般	資格なし	28万円

③ 評価

職位	実技試験の結果	月給例
主任	班長試験でS評価	36万円
班長	一般試験でA評価以上	32万円
一般	一般試験でB評価以下	28万円

新しい加算

※1 「経験」…「勤続年数」などを想定。

※2 「資格」…「介護福祉士」、「社会福祉士」、「PSW」などを想定。ただし、介護福祉士資格等を有して当該事業所や法人で就業する者についても昇給が図られる仕組みであることを要する。

※3 「評価」…「実技試験」「人事評価」などを想定。ただし、客観的な評価（採点）基準や昇給条件が明文化されていることを要する。

福祉・介護職員処遇改善加算に係る加算率について

1. 加算算定対象サービス

サービス区分	福祉・介護職員処遇改善加算の区分に応じた加算率					福祉・介護職員処遇改善特別加算
	加算Ⅰ	加算Ⅱ	加算Ⅲ	加算Ⅳ	加算Ⅴ	
居宅介護	30.3%	22.1%	12.3%			4.1%
重度訪問介護	19.2%	14.0%	7.8%			2.6%
同行援護	30.3%	22.1%	12.3%			4.1%
行動援護	25.4%	18.5%	10.3%			3.4%
療養介護	3.5%	2.5%	1.4%			0.5%
生活介護	4.2%	3.1%	1.7%			0.6%
重度障害者等包括支援	2.5%	1.8%	1.0%			0.3%
施設入所支援	6.9%	5.0%	2.8%			0.9%
自立訓練（機能訓練）	5.7%	4.1%	2.3%			0.8%
自立訓練（生活訓練）	5.7%	4.1%	2.3%			0.8%
就労移行支援	6.7%	4.9%	2.7%	新加算（Ⅲ）により算出した単位×0.9	新加算（Ⅲ）により算出した単位×0.8	0.9%
就労継続支援A型	5.4%	4.0%	2.2%			0.7%
就労継続支援B型	5.2%	3.8%	2.1%			0.7%
共同生活援助（指定共同生活援助）	7.4%	5.4%	3.0%			1.0%
共同生活援助（外部サービス利用型指定共同生活援助）	17.0%	12.4%	6.9%			2.3%
児童発達支援	7.6%	5.6%	3.1%			1.0%
医療型児童発達支援	14.6%	10.6%	5.9%			2.0%
放課後等デイサービス	8.1%	5.9%	3.3%			1.1%
保育所等訪問支援	7.9%	5.8%	3.2%			1.1%
福祉型障害児入所施設	6.2%	4.5%	2.5%			0.8%
医療型障害児入所施設	3.5%	2.5%	1.4%			0.5%

* 短期入所（併設型・空床利用型）については、本体施設の加算率を適用することとし、短期入所（単独型）については、生活介護の加算率を適用する。

* 障害者支援施設が行う日中活動系サービスについては、施設入所支援の加算率を適用する。

2. 加算算定非対象サービス

サービス区分	加算率
計画相談支援、障害児相談支援（移行）、地域相談支援（定着）	0%

社会福祉法人雲柱社

児童発達支援センターきらり 御中

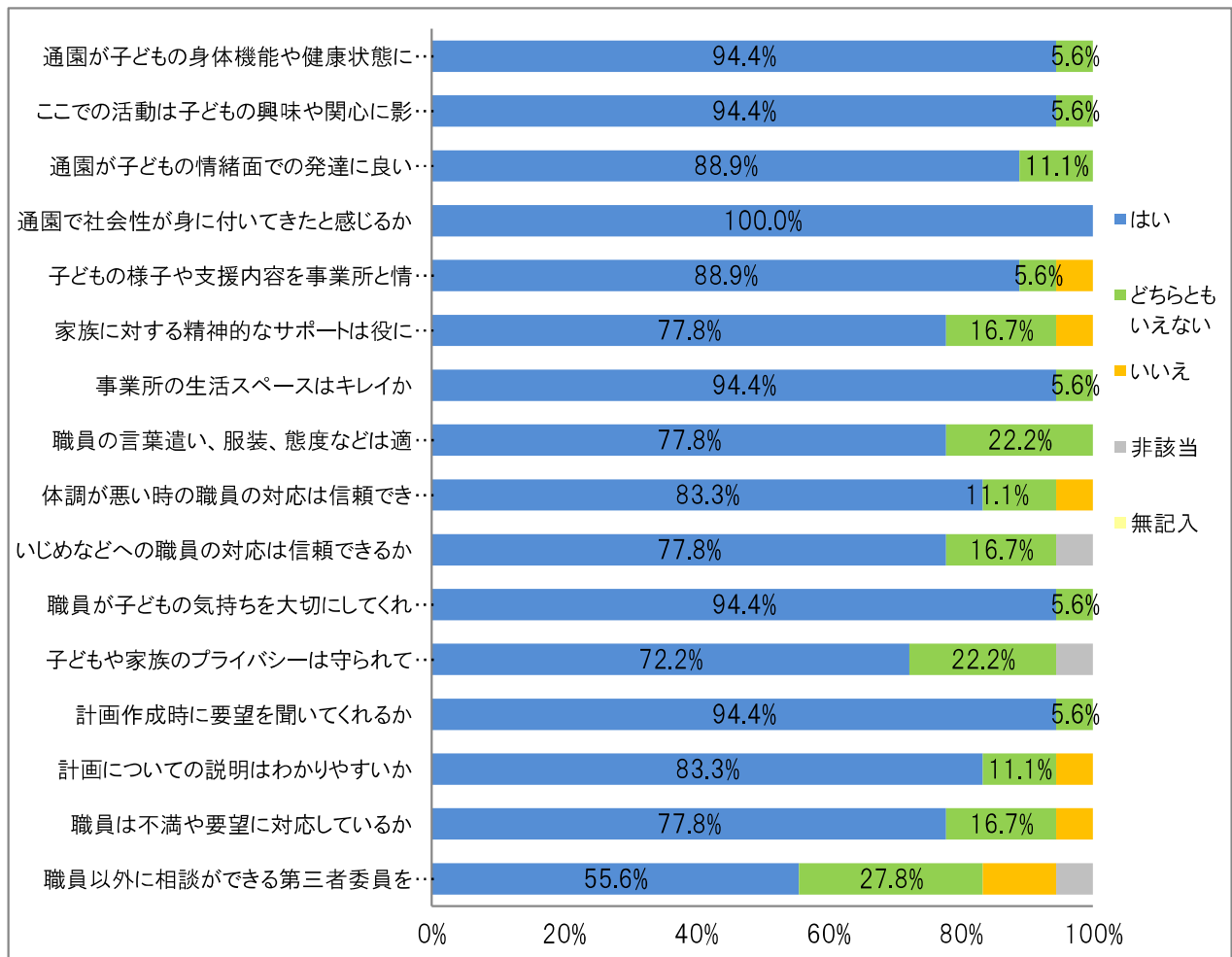
【中間報告書】
平成28年度第三者評価
—利用者調査—
児童発達支援

平成28年12月14日

(まとめ) 各項目の回答内訳

総合的な満足について	大変満足	満足	どちらとも いけない	不満	大変不満	無記入
	61.1%	33.3%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%

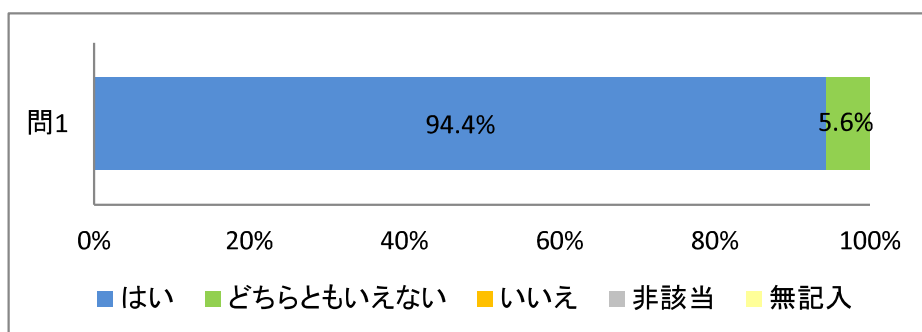
	はい	どちらとも いけない	いいえ	非該当	無記入
通園が子どもの身体機能や健康状態に良い影響を与えているか	94.4%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%
ここでの活動は子どもの興味や関心に影響しているか	94.4%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%
通園が子どもの情緒面での発達に良い影響を与えているか	88.9%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%
通園で社会性が身に付いてきたと感じるか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
子どもの様子や支援内容を事業所と情報共有できているか	88.9%	5.6%	5.6%	0.0%	0.0%
家族に対する精神的なサポートは役に立っているか	77.8%	16.7%	5.6%	0.0%	0.0%
事業所の生活スペースはキレイか	94.4%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%
職員の言葉遣い、服装、態度などは適切か	77.8%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%
体調が悪い時の職員の対応は信頼できるか	83.3%	11.1%	5.6%	0.0%	0.0%
いじめなどへの職員の対応は信頼できるか	77.8%	16.7%	0.0%	5.6%	0.0%
職員が子どもの気持ちを大切にしてくれているか	94.4%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%
子どもや家族のプライバシーは守られているか	72.2%	22.2%	0.0%	5.6%	0.0%
計画作成時に要望を聞いてくれるか	94.4%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%
計画についての説明はわかりやすいか	83.3%	11.1%	5.6%	0.0%	0.0%
職員は不満や要望に対応しているか	77.8%	16.7%	5.6%	0.0%	0.0%
職員以外に相談ができる第三者委員を知っているか	55.6%	27.8%	11.1%	5.6%	0.0%



1

事業所に通うことがお子さんの身体機能や健康状態に良い影響を与えていると思いますか

はい	どちらともいえない	いいえ	非該当	無記入
17	1	0	0	0



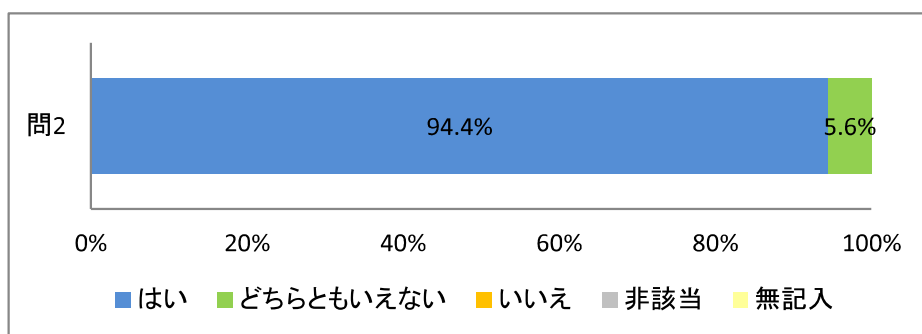
■ 自由記述

家庭では中々できない遊びなどを通じて体力づくり、身体機能の向上ができています。

2

事業所での活動は、お子さんが興味や関心を持てるものになっていると思いますか

はい	どちらともいえない	いいえ	非該当	無記入
17	1	0	0	0



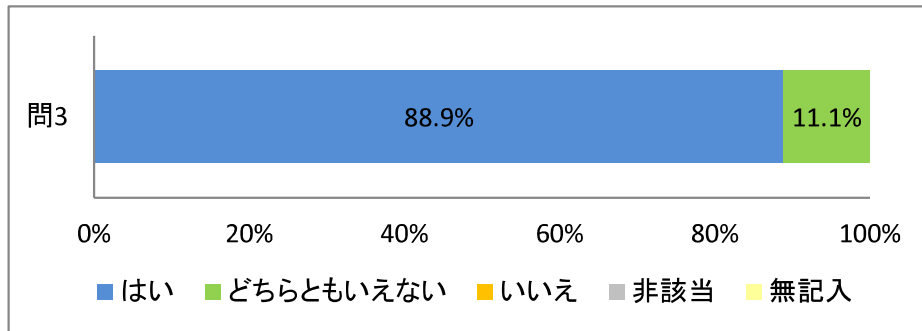
■ 自由記述

毎日行く、行けているので、少なくとも楽しいと思っています。

3

事業所に通うことが、お子さんの情緒面での発達（感情のコントロールを身に付ける等）の役に立っていると思いますか

はい	どちらともいえない	いいえ	非該当	無記入
16	2	0	0	0



■自由記述

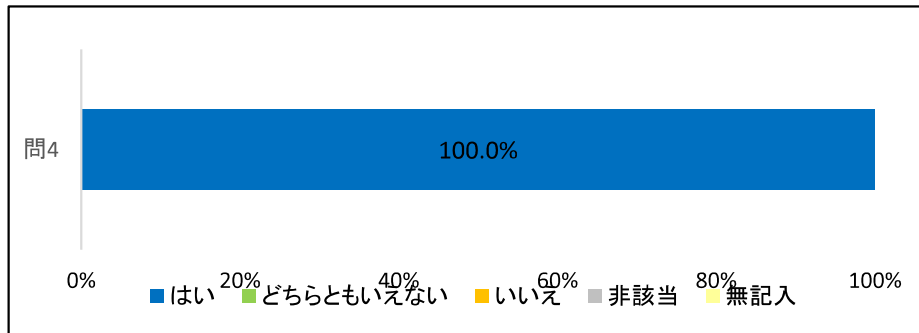
気持ちの切り替えが少しずつ出来るようになりつつあります。連絡票に書いてもらったりしています。

個人的なことですが、言葉の数は非常に増えました。少しずつ言葉で伝えられるようになってきた様に思います。

4

事業所に通うことで、お子さんに社会性（人と人との関わり合いやコントロールを身に付ける等）の役に立っていると思いますか

はい	どちらともいえない	いいえ	非該当	無記入
18	0	0	0	0



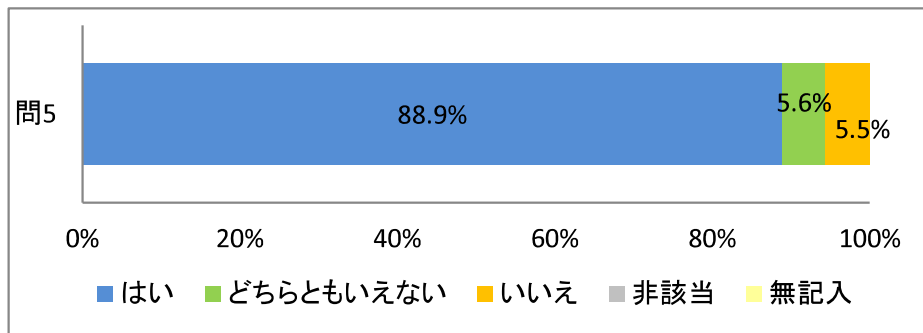
■ 自由記述

遊びを通じて順番などルールを学んでいると思います。（物の貸し借りなど）

5

お子さんの様子や、支援の内容（体調変化時の対応含む）について、事業所と情報共有できていますか

はい	どちらともいえない	いいえ	非該当	無記入
16	1	1	0	0



■自由記述

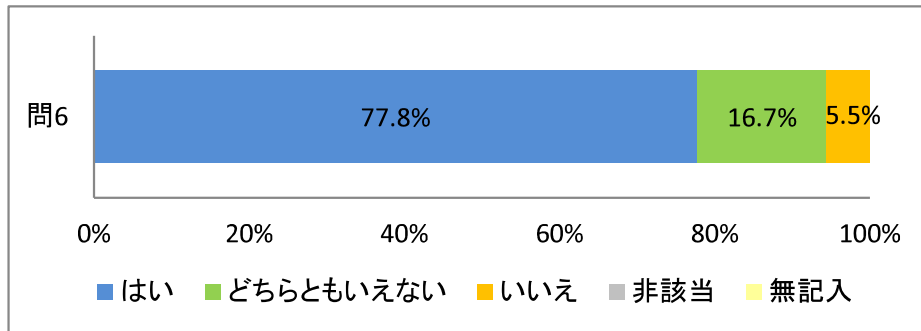
発疹等あった際に考えられる病気や通院したほうが良いなどのアドバイスがあるととても心強いと思います。

連絡帳のやり取り、必要に応じて先生と直接話す等、こまめに対応してもらっています。

6

家族に対する精神的なサポート（子育てに関する悩み相談や進路相談、家族間交流の機会の提供等）は役に立っていると思いますか

はい	どちらともいえない	いいえ	非該当	無記入
14	3	1	0	0



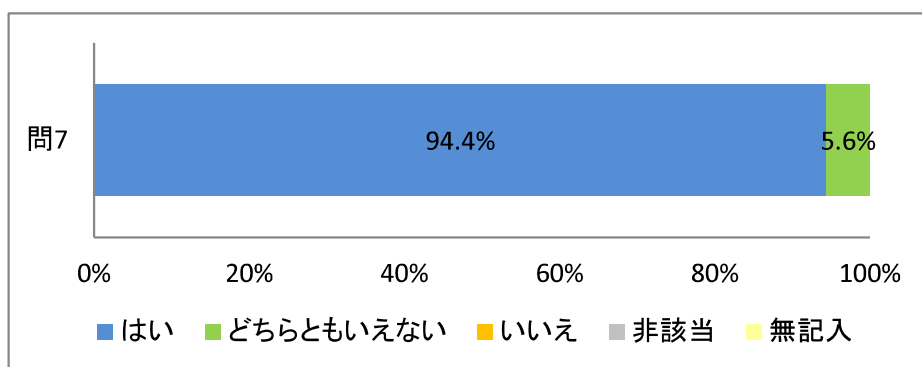
■ 自由記述

親の意見を尊重して頂けて有難いです。先生方や相談員の意見（主に進路）ももっと言ってもらいたい気持ちもあります。

7

事業所の生活スペースは清潔で整理された空間になっていると思いますか

はい	どちらともいえない	いいえ	非該当	無記入
17	1	0	0	0



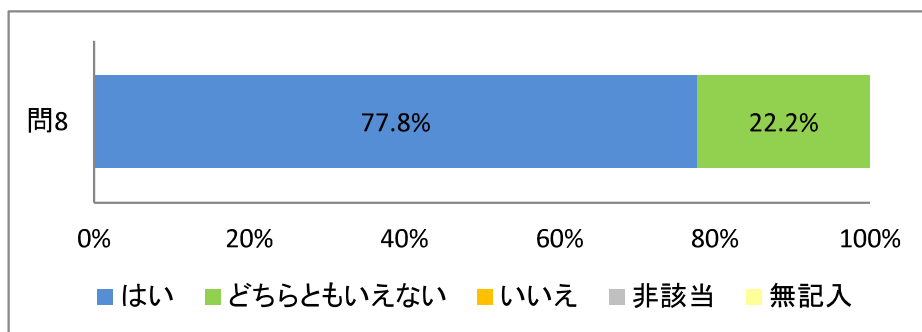
■自由記述

特になし。

8

職員の言葉遣いや態度、服装などは適切だと感じますか

はい	どちらともいえない	いいえ	非該当	無記入
14	4	0	0	0



■自由記述

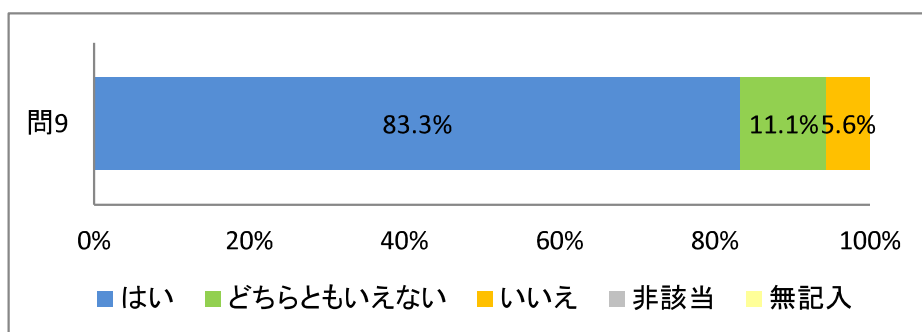
他クラスの担任の先生が物を子どもに渡す際、投げているのを見た。プール内とはいえ、少し驚きました。

バスの送迎からいつも一生懸命やって下さっているのが、言葉や態度に表れていると思います。

9

お子さんがケガをしたり、体調が悪くなった時の、職員の対応は信頼できますか

はい	どちらともいえない	いいえ	非該当	無記入
15	2	1	0	0



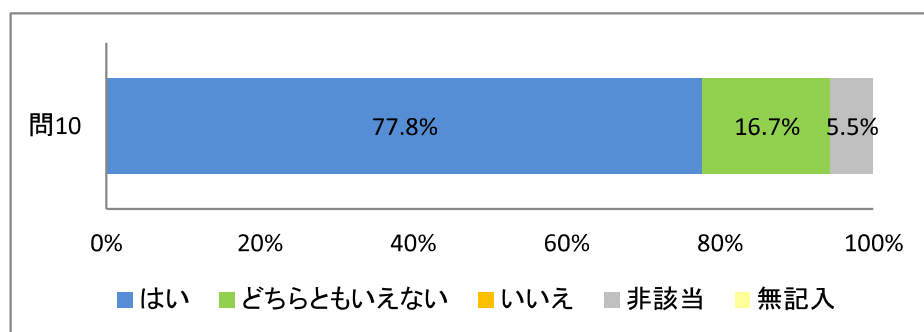
■自由記述

ケガをして帰ってきた時にバスで職員の先生がこうこうこういう理由でケガをしましたと伝えて下さります。以後、注意しますと伝えて下さっています。体調が悪そうなときTELして下さいました。詳細に説明をして下さいました。

10

子ども同士のいさかいやいじめなどがあった場合の職員の対応は信頼できますか

はい	どちらともいえない	いいえ	非該当	無記入
14	3	0	1	0



■自由記述

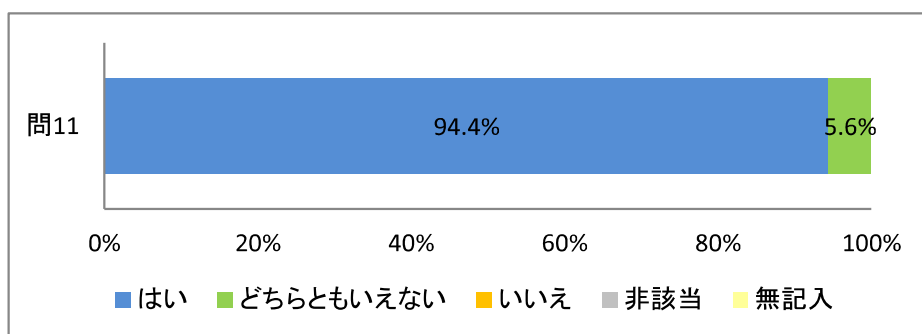
その状況にまだなったことがありません（おそらく）。

そのような場面に出会っていないのでわかりません。ですが、連絡票に一日の様子等を書いて下さっています。

11

職員はお子さんの気持ちを大切にしながら対応してくれていると思いますか

はい	どちらともいえない	いいえ	非該当	無記入
17	1	0	0	0



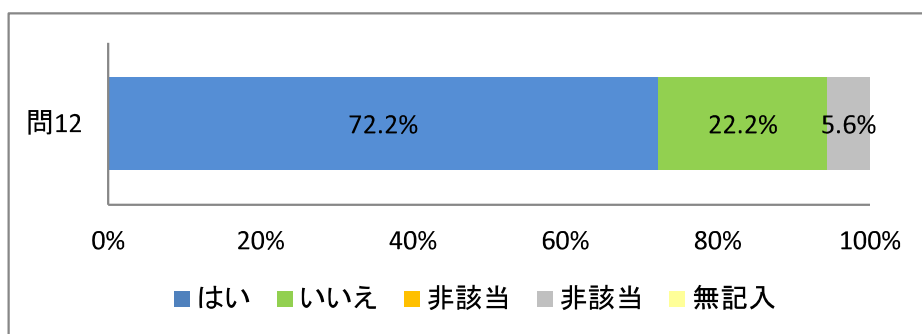
■自由記述

子どものやる気がある所を活かしたいと思いますと言って下さっています。

12

お子さんやご家族のプライバシーを職員は守ってくれていると思いますか

はい	どちらともいえない	いいえ	非該当	無記入
13	4	0	1	0



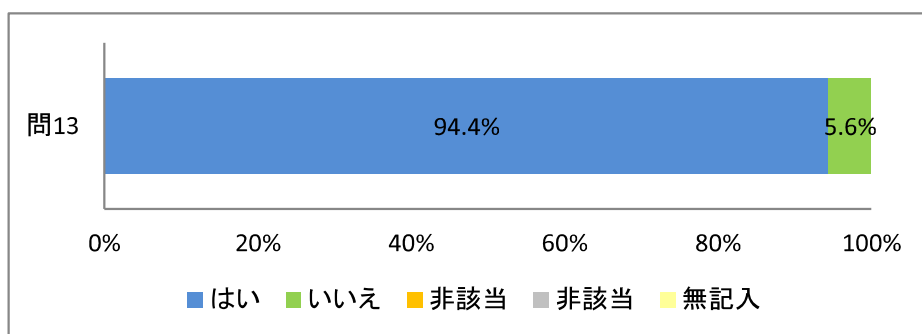
■自由記入

わかりません。園に行ってみ学している訳ではないので、わかりません。

13

サービスに関する計画を作成、見直しをする際に、事業所はあなたの要望をきいてくれますか

はい	どちらともいえない	いいえ	非該当	無記入
17	1	0	0	0



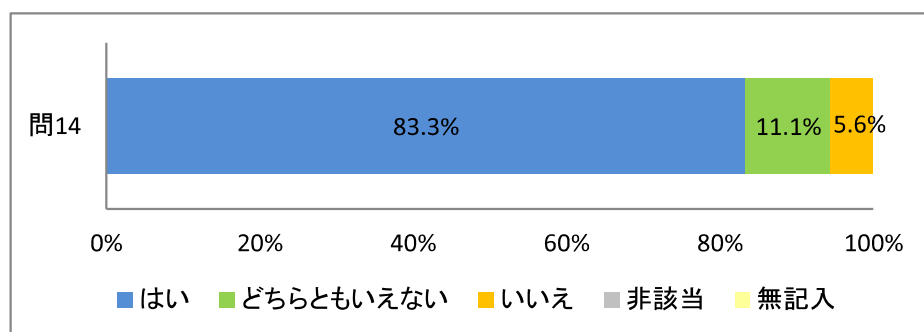
■自由記述

前回の支援計画では、夫の考え、希望が活かされていると思います。

14

あなたの計画やサービス内容についての説明はわかりやすいと思いますか

はい	どちらともいえない	いいえ	非該当	無記入
15	2	1	0	0



■自由記述

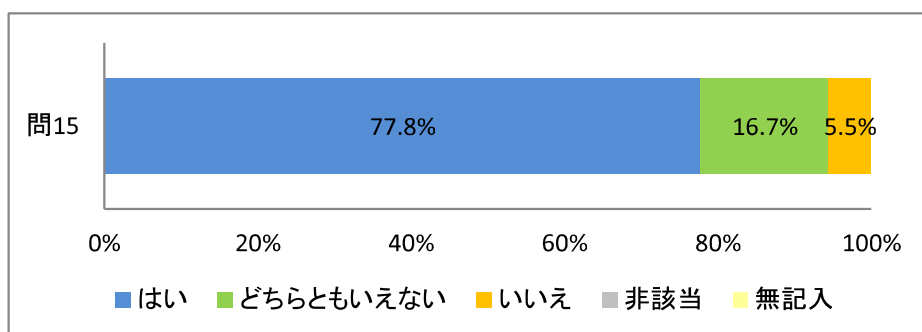
計画表は箇条書きのような簡潔な文をいくつか上げて、どこが出来て、どこが出来ていないのか、分かりやすく提示したほうが良いと思います。

計画、サービス内容は支援計画の書類をもらっているのですが、サービス内容は連絡票に今日何をしたと書いてあります。また生活についての説明等も連絡票に書いてあります。

15

あなたが不満や要望を伝えた時に、職員はきちんと対応してくれるとおもいますか

はい	どちらともいえない	いいえ	非該当	無記入
14	3	1	0	0



■自由記述

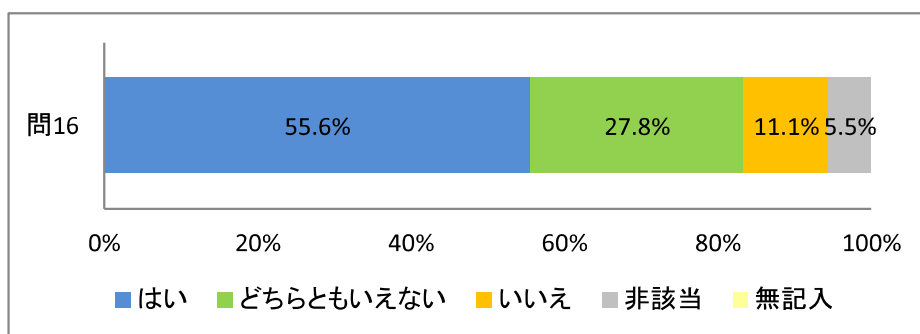
バスの送迎で病気のことで長時間乗れないことを伝えたところ、送迎の順番を変えて頂けました。

情報不足な事も多い。

16

あなたが困ったときに、職員以外の人にも相談できることをわかりやすく伝えてくれましたか

はい	どちらともいえない	いいえ	非該当	無記入
10	5	2	1	0



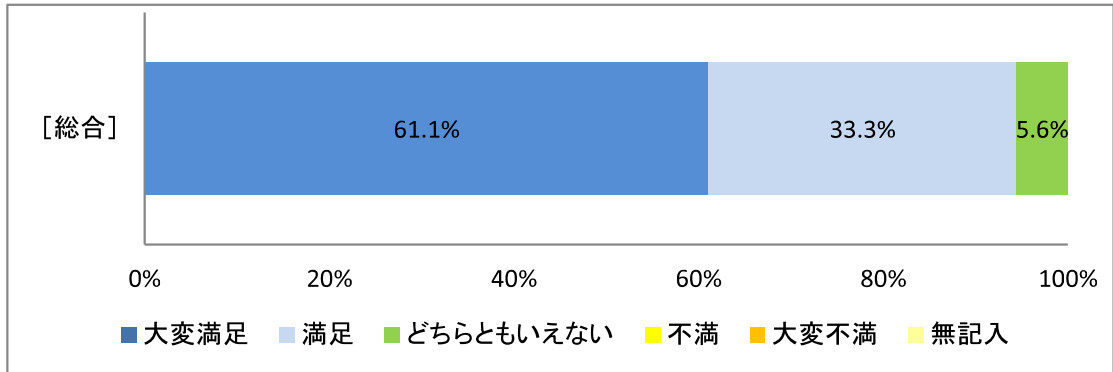
■自由記述

今まで第三者にも相談しなければいけない内容でもなかったもので、あまり気にしていませんでした。記憶にありませんが、きっと〇〇のことで、相談したいと言ったら教えて下さると思います。

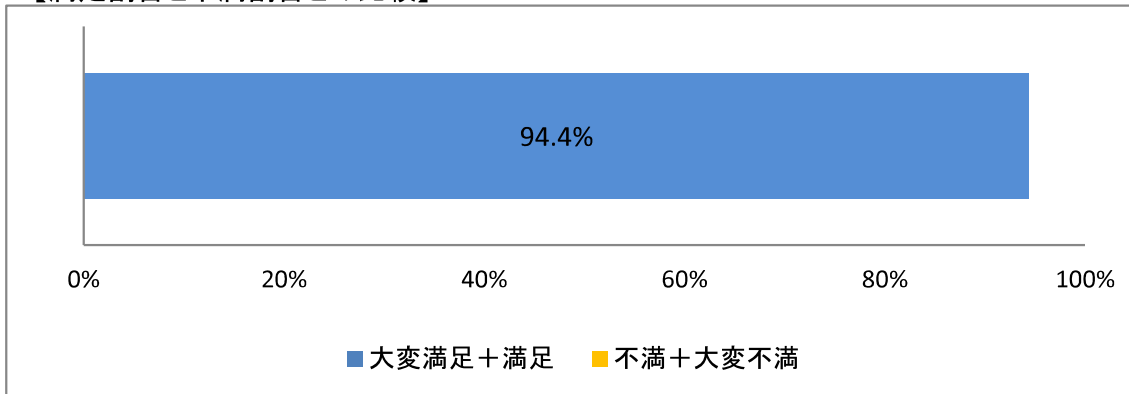
総合	現在利用している事業所を総合的にみて、どのように感じていらっしゃいますか。
----	---------------------------------------

大変満足	満足	どちらともいえない	不満	大変不満	無記入
11	6	1	0	0	0

【総合満足度】



【満足割合と不満割合との比較】



[2]	日頃お感じになっている事業所に対するご意見・ご要望など、ご自由にお書きください。
元々、関心の持てない活動に対しては全く関与したがない性格である。少人数の職員で手が回らないのは十二分に理解しているが、活動への参加を積極的に促す等して頂けると尚有難いです。	
子どもや保護者への対応、日々の生活においてとても良くして下さいます。きらりに通わせて良かったというのが第一印象です。ただ、引き落としの金額間違いや事務的処理のミスが多々見受けられます。日頃の連絡帳も保護者の記入欄だけやたら広いのも気になります。年間計画表なども大ざっぱな印象です。もう少し、具体的で簡潔かつ合理的な計画表だと子どもの成長具合も分かりやすいのかなと思われます。	
施設に対してではありませんが、保護者会の集まりの回数が多くて苦痛です。	
一人ひとりよく見て頂いていると思います。非常に細かい所まで子どもの様子に気を配ってくれているなど毎日思います。自分の子に合ったペースで日常生活のルールを教えてもらえて満足しています。	
信頼できる先生方に充実した療育をして頂き、大変満足です。通園事業の先生方以外にも、きらりの中には大勢先生がいらっしゃり、どの先生も優しく声をかけて下さいます。どの先生が何の先生なのか分かるともっといいなと思いました。	
施設や先生、職員の方への不満は何もありません。愛情を持ってご尽力頂いていると思います。降園時間後の預かり保育が仕事等の理由でも申込みが出来るようになると嬉しいです。	
療育や進学や抱える問題に対し、親の意見を最優先に取り入れて頂けて有難い反面、こうしたら良い、この方が良いというご意見も頂けたらもっと良いかと思ひます。どの職員の方々もとても親切で、子どもも楽しく通園できているので大きな信頼を寄せています。	
今現在、通園させて頂き、私の子と接している中で不安等あった時に連絡表に書くと色々アドバイスを受けています。何かあったら連絡くださり、面談しますと云ってくださったりして、出来ることを対応して下さいていると感じております。	
小さな子どもが利用し、赤ちゃん連れの方も多いので、授乳室が必要だと思う。また、外来後、遠い人は帰りに子どもが寝てしまうことも多いので、食事のとれるスペースがあると良いと思う。	
日々細かい配慮の中、生活できているので、園でも家でも短時間で様々な成長が見られました。今年からの通園ですが、通わせて良かったと思っています。	
保育参観や個人面談等の日程は期間が長く設定されており、仕事等の予定を調整しやすく参加できます。今後も同様にして頂けると良いと思います。親子参加する行事もお知らせが早いので有難いです。もう少し行事があってもいいかなという気もします。（親子参加できる）	
1クラスが少人数で先生の目が行き届いてくれるので安心できます。保育参観や個人面談も沢山あるので、先生と相談できる時間や園での様子も定期的に聞けるので安心できます。	
現場の先生方はとても親身になって療育に取り組んでいる。。時々、サービス内容の変更の説明が無かったり、非常にあっさりしていたり、予定が突然告げられたり、変更になったりするので、仕方が無いんだなあとは思ひながら了承しているところはある。駐車場に長時間駐車できず不便。（短時間、送迎時などは利用できるが。）	

[3]	今回の調査についてお気づきになった点など、ご自由にお書きください。																		
自由意見の所に色々と書かせて頂きましたが、不明な所や分かりにくい所があれば、お知らせ頂けたらと思います。																			
先生方は一生懸命して下さるので、本当に感謝しています。																			
評価の段階があっさりし過ぎ、点数制などにしたらどうか。																			
回収結果・回収率																			
<table border="1" data-bbox="248 667 1270 887"> <thead> <tr> <th data-bbox="248 667 525 723"></th> <th data-bbox="525 667 804 723">児童発達支援センター</th> <th data-bbox="804 667 1083 723">放課後等デイサービス</th> <th data-bbox="1083 667 1270 723">合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="248 723 525 779">利用者数</td> <td data-bbox="525 723 804 779">22</td> <td data-bbox="804 723 1083 779">50</td> <td data-bbox="1083 723 1270 779">72</td> </tr> <tr> <td data-bbox="248 779 525 835">回答者数</td> <td data-bbox="525 779 804 835">18</td> <td data-bbox="804 779 1083 835">31</td> <td data-bbox="1083 779 1270 835">49</td> </tr> <tr> <td data-bbox="248 835 525 887">回答率</td> <td data-bbox="525 835 804 887">81.8%</td> <td data-bbox="804 835 1083 887">62.0%</td> <td data-bbox="1083 835 1270 887">68.1%</td> </tr> </tbody> </table>					児童発達支援センター	放課後等デイサービス	合計	利用者数	22	50	72	回答者数	18	31	49	回答率	81.8%	62.0%	68.1%
	児童発達支援センター	放課後等デイサービス	合計																
利用者数	22	50	72																
回答者数	18	31	49																
回答率	81.8%	62.0%	68.1%																

社会福祉法人雲柱社

小金井市児童発達支援センターきらり 御中

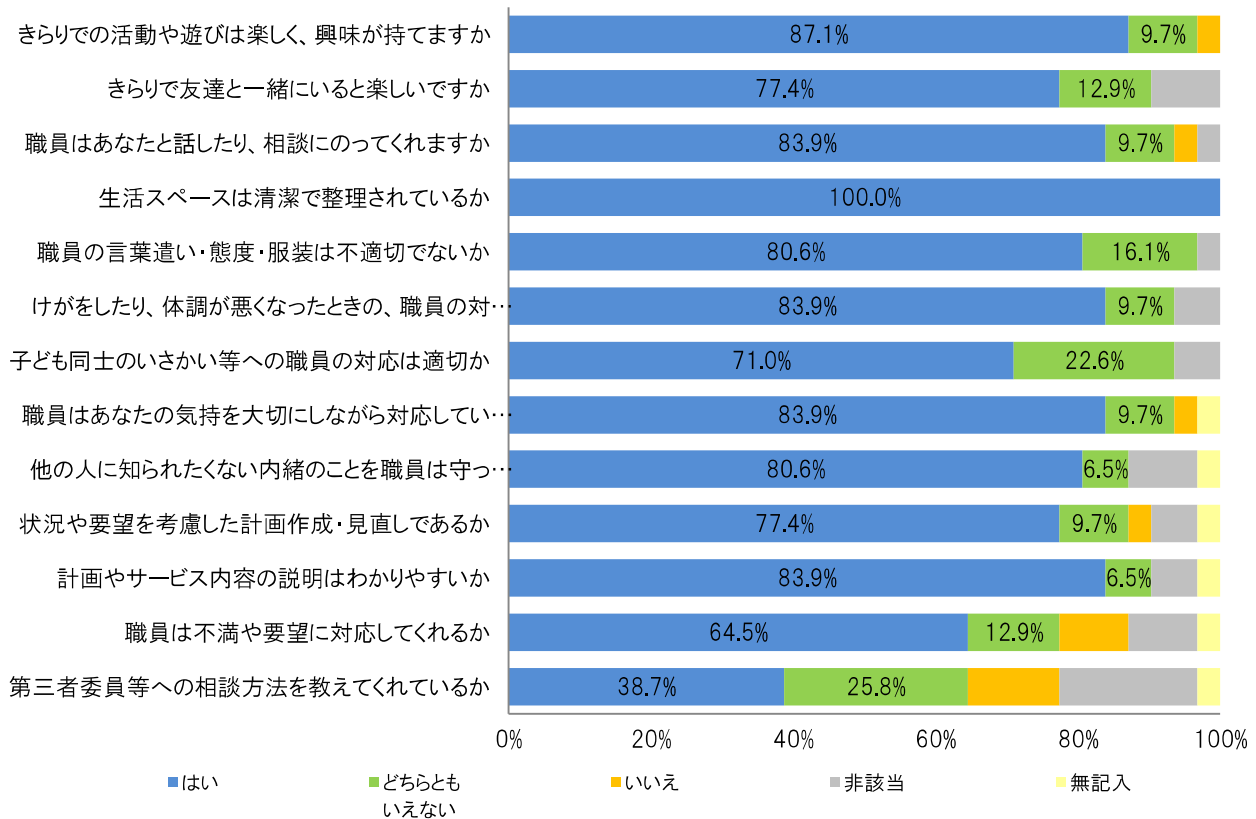
【中間報告書】
平成28年度第三者評価
－利用者調査－
放課後等デイサービス

平成28年12月14日

(まとめ) 各項目の回答内訳

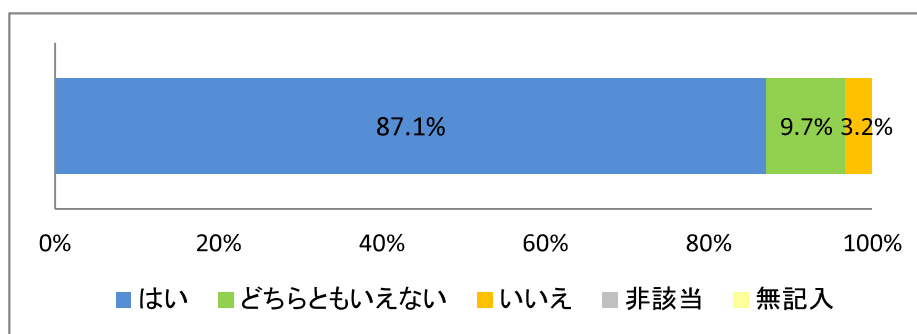
総合的な満足について	大変満足	満足	どちらとも いえない	不満	大変不満	無記入
	74.2%	19.4%	3.2%	0.0%	3.2%	0.0%

	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無記入
きらりでの活動や遊びは楽しく、興味が持てますか	87.1%	9.7%	3.2%	0.0%	0.0%
きらりで友達と一緒にいると楽しいですか	77.4%	12.9%	0.0%	9.7%	0.0%
職員はあなたと話したり、相談にのってくれますか	83.9%	9.7%	3.2%	3.2%	0.0%
生活スペースは清潔で整理されているか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
職員の言葉遣い・態度・服装は不適切でないか	80.6%	16.1%	0.0%	3.2%	0.0%
けがをしたり、体調が悪くなったときの、職員の対応は信頼できますか	83.9%	9.7%	0.0%	6.5%	0.0%
子ども同士のいさかい等への職員の対応は適切か	71.0%	22.6%	0.0%	6.5%	0.0%
職員はあなたの気持を大切にしながら対応しているか	83.9%	9.7%	3.2%	0.0%	3.2%
他の人に知られたくない内緒のことを職員は守ってくれるか	80.6%	6.5%	0.0%	9.7%	3.2%
状況や要望を考慮した計画作成・見直しであるか	77.4%	9.7%	3.2%	6.5%	3.2%
計画やサービス内容の説明はわかりやすいか	83.9%	6.5%	0.0%	6.5%	3.2%
職員は不満や要望に対応してくれるか	64.5%	12.9%	9.7%	9.7%	3.2%
第三者委員等への相談方法を教えてくれているか	38.7%	25.8%	12.9%	19.4%	3.2%



1 きらりでの活動や遊びは楽しく、興味が持てますか

はい	どちらともいえない	いいえ	非該当	無記入
27	3	1	0	0



■自由意見

楽しい時とそうでない時がある。

先生に縛られ過ぎ（昨年までは問題が無かった）。

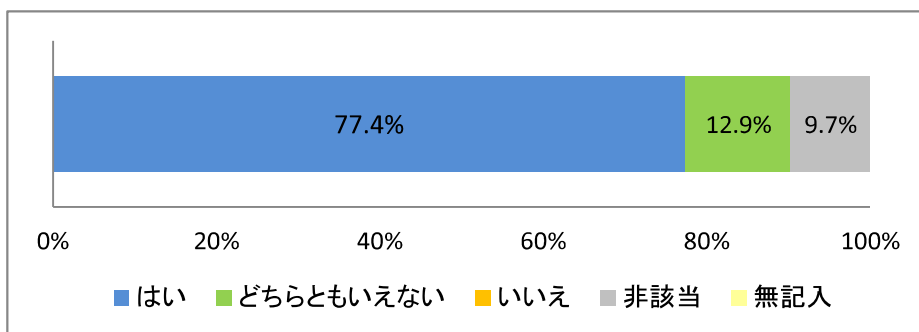
前日から「明日はきらり行くよ」と言っていたり、帰ってくると「きらり楽しかった」と、よく言っています。

自由な行動より、指示行動の方が落ち着く場合があります。自由を尊重するきらりです。

ゲームとかお菓子が楽しい。

2 きらりで友達と一緒にいると楽しいですか

はい	どちらともいえない	いいえ	非該当	無記入
24	4	0	3	0



■自由記述

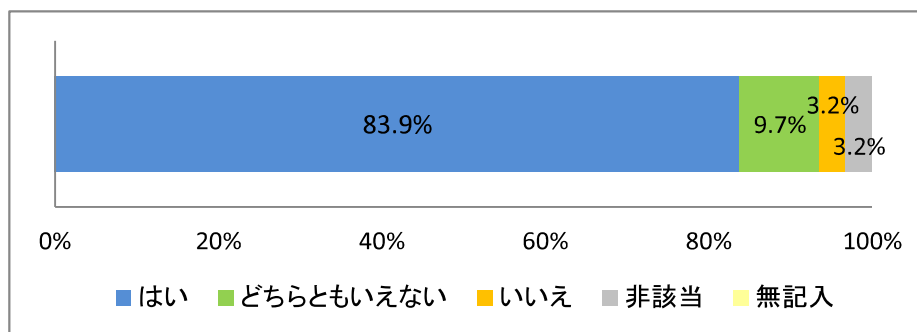
ただし、友達と少しふざけただけで、注意されるのが嫌だ。

お友達と一緒に遊ぶというのがまだあまりできず、一人遊びが多いので。

良く話す友達がいる。

3 職員はあなたと話したり、困った時に相談にのってくれたりしますか

はい	どちらともいえない	いいえ	非該当	無記入
26	3	1	1	0

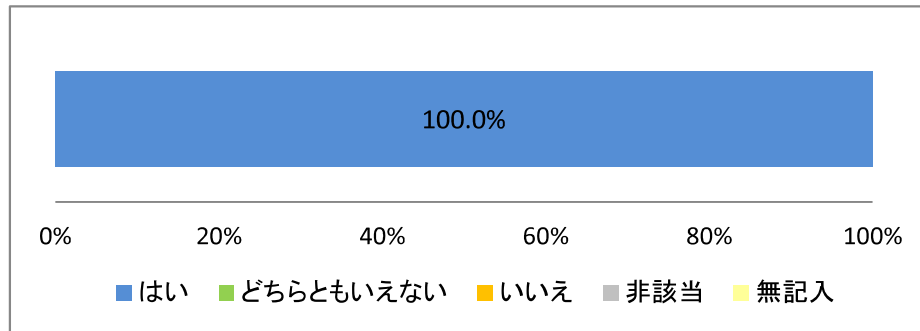


■自由記述

みんな優しい。

4 あなたは、きらりの生活スペースは清潔で整理された空間になっていると思いますか

はい	どちらともいえない	いいえ	非該当	無記入
31	0	0	0	0

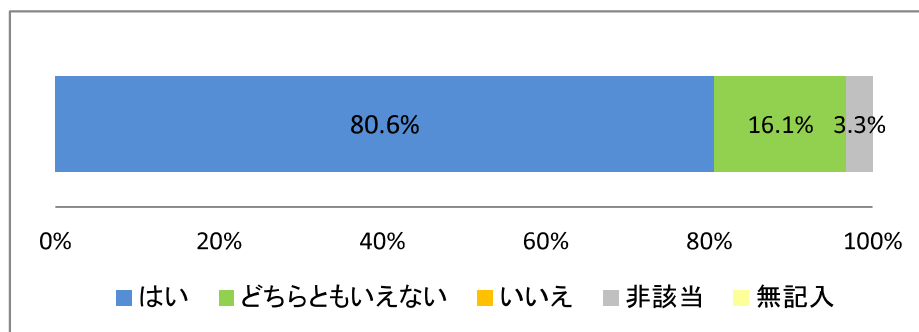


■自由記述

気が散りやすいので、いつも整理されている為、集中しやすいようです。

5 あなたは、職員の言葉遣いや態度、服装などが不適切だと感じることはないですか

はい	どちらともいえない	いいえ	非該当	無記入
25	5	0	1	0



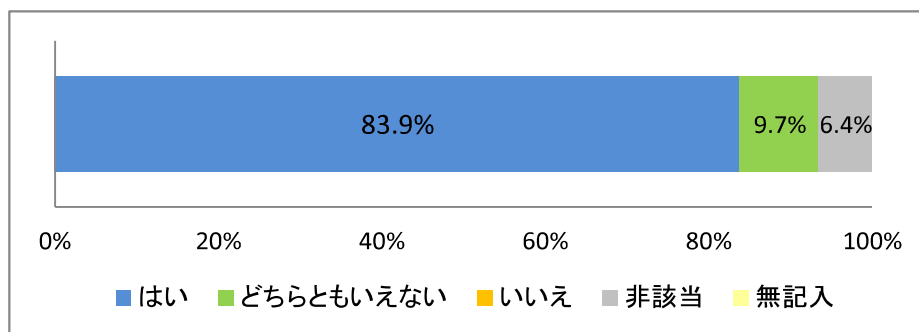
■自由記述

問題行動や不適切な行動をしようとした時への、事前の指示をもう少し望みます。

6

あなたは、あなたがけがをしたり、体調が悪くなったときの、職員の対応は信頼できますか

はい	どちらともいえない	いいえ	非該当	無記入
26	3	0	2	0



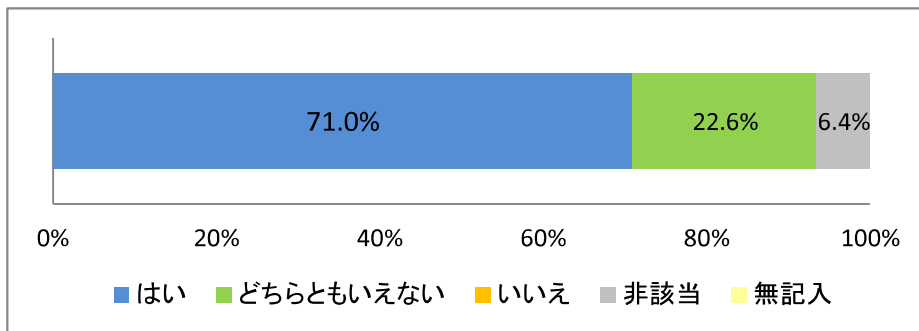
■自由記述

そのようなことは無かった。

細かいことも教えてもらえて信頼しています。

7 あなたは、子ども同士のいさかいやいじめ等があった場合の職員の対応は信頼できますか

はい	どちらともいえない	いいえ	非該当	無記入
22	7	0	2	0



■自由記述

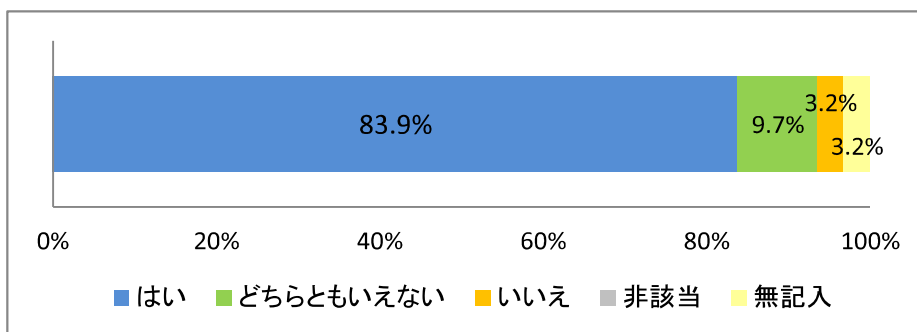
その時の状況や状態を分かりやすく、伝えて下さります。

よく相談させてもらっています。

普段の活動中は中に入れないのでわかりません。

8 あなたは、職員があなたの気持ちを大切にしながら対応してくれていると思いますか

はい	どちらともいえない	いいえ	非該当	無記入
26	3	1	0	1



■自由記述

子ども同士でトラブルがあった時、子どもの気持ちを汲んで配慮してくれています。

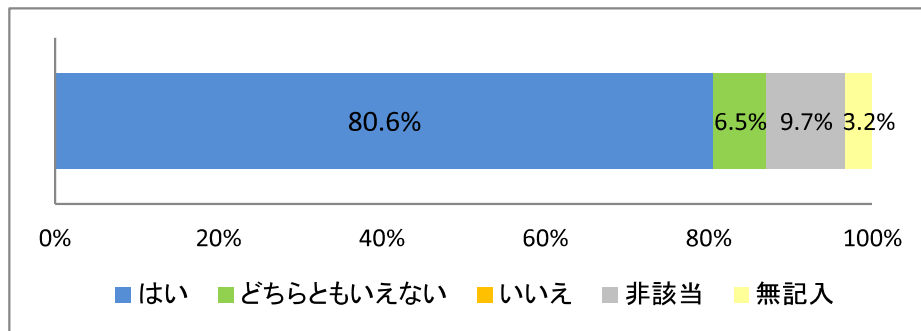
つまらないからふざける。⇒怒られる、の繰り返し。

普段の活動は親は見学できないので分かりません。

9

あなたは、他の人に知られたくないことや内緒の話などの秘密を職員が守ってくれていると思いますか

はい	どちらともいえない	いいえ	非該当	無記入
25	2	0	3	1



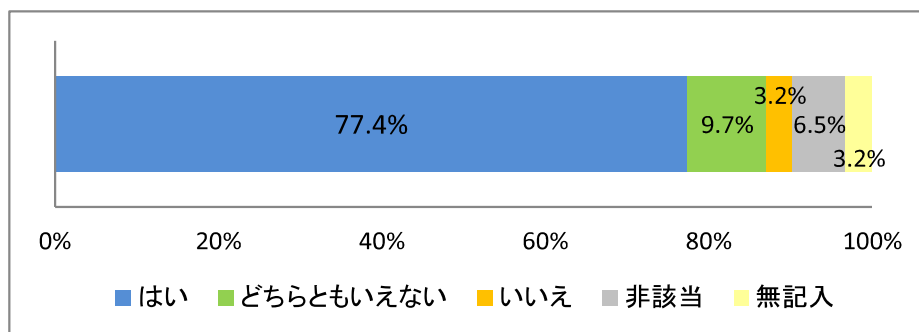
■自由記述

まだおしゃべりができないので。

10

あなたのサービスに関する計画（目標）を作成したり見直したりする際に、きりりはあなたの状況や要望を聞いてくれますか

はい	どちらともいえない	いいえ	非該当	無記入
24	3	1	2	1



■自由記述

問題意識はあるが、対応が遅い。

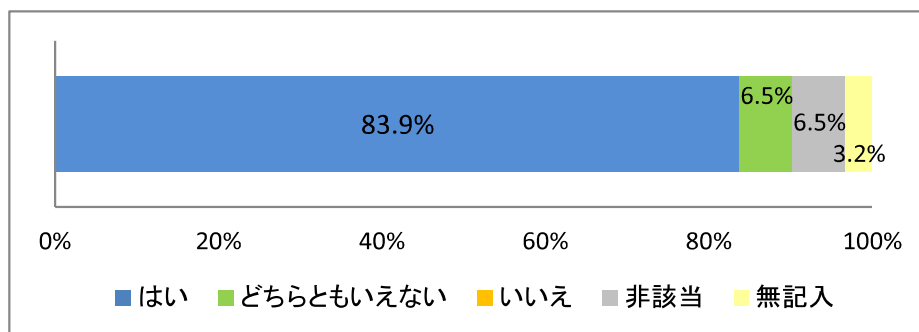
現在、利用者本人が計画を立てることが難しいため、保護者が作成しています。本人の状態は良く見て頂いており、問題は全くありません。

利用する曜日を変更したいということを伝えたところ、待機している方々が優先となり、利用が難しいと言われました。市の決めた事なら、利用者のことを考えていないルールだと思う。

11

あなたの計画やサービス内容についての説明は分かりやすいと思いますか

はい	どちらともいえない	いいえ	非該当	無記入
26	2	0	2	1



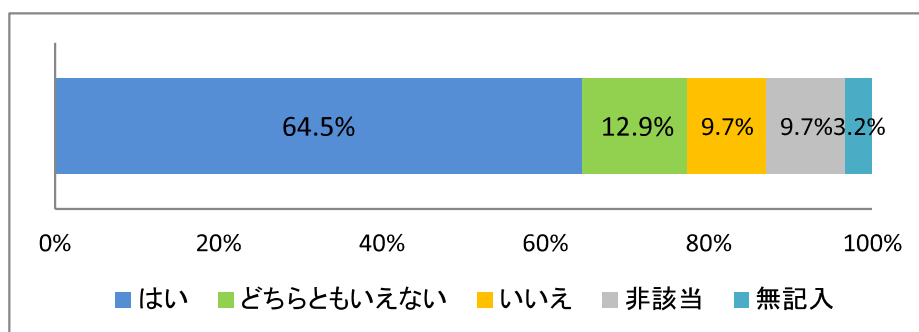
■自由記述

問題ありません。

12

あなたが不満に思ったことや要望を伝えたとき、職員は、きちんと対応してくれていると思いますか

はい	どちらともいえない	いいえ	非該当	無記入
20	4	3	3	1



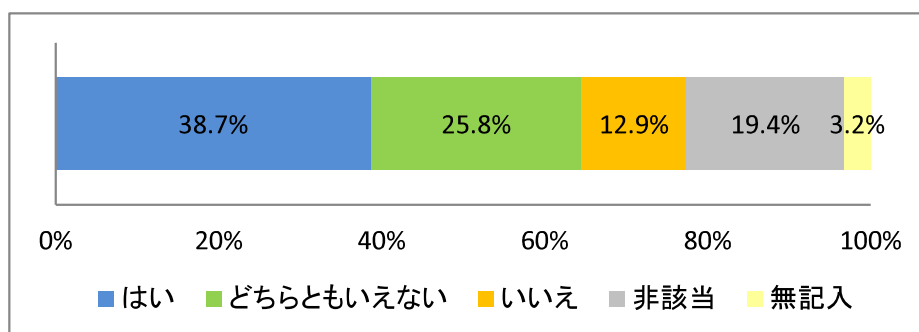
■自由記述

課題が簡単すぎてつまらない ⇒ 1年生もいるから仕方がないと言い訳される。

13

あなたが困ったときに、職員以外の人（役所や第三者委員など）にも相談できることをわかりやすく伝えてくれましたか

はい	どちらともいえない	いいえ	非該当	無記入
12	8	4	6	1



■自由記述

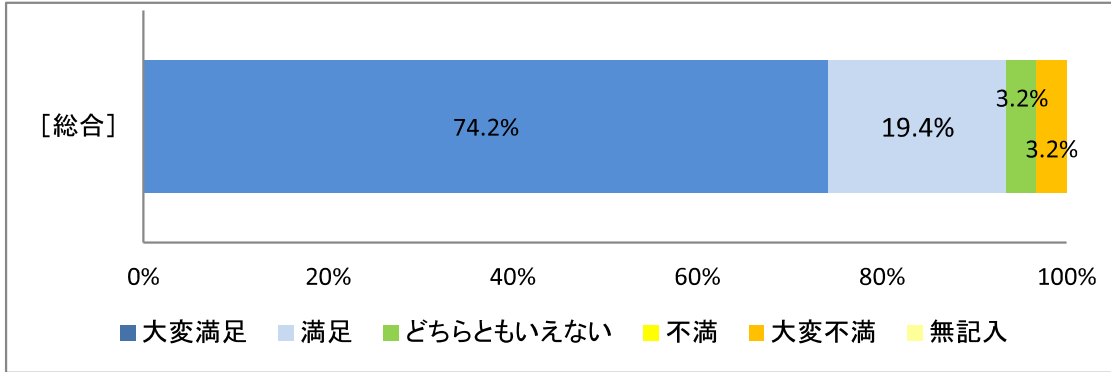
内容に関しては何の問題もなく、良い療育を受けていると感じています。

役所の対応があまり良くないので、きらりの方が対応して下さっていると感じます。このアンケートで第三者委員を知りました。

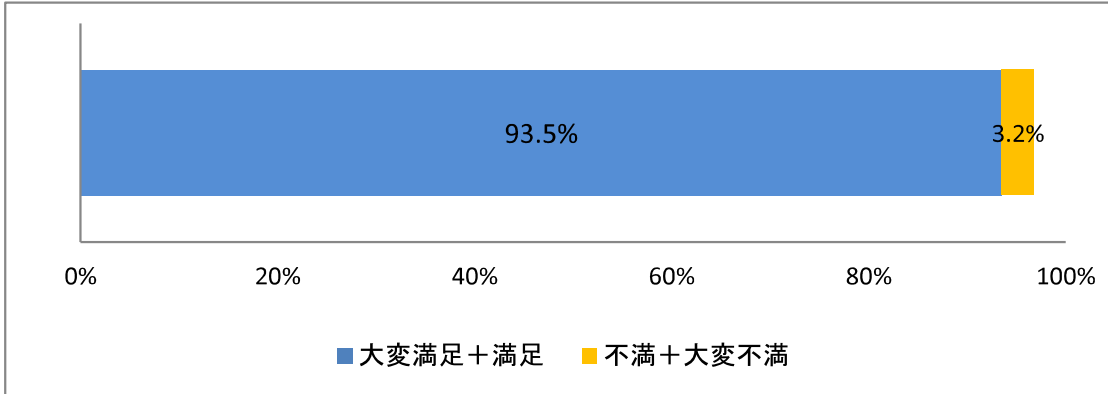
総合 現在利用している事業所を総合的にみて、どのように感じていらっしゃいますか。

大変満足	満足	どちらともいえない	不満	大変不満	無記入
23	6	1	0	1	0

【総合満足度】



【満足割合と不満割合との比較】



[2]	日頃お感じになっている事業所に対するご意見・ご要望など、ご自由にお書きください。
<p>きりりは週1でのびのび過ごせることを期待しているが、学年が上がるにつれて同年代がいなくなり、宿題も多くなり、登所する時間も遅くなるため、宿題をする時間が制限されるのが不満である。課題も本人にとって簡単なものが多く、真剣に取り組めていないので、できない事があっても、やる気が起きない、設備（机）も低学年用なので勉強するにもイライラしながらやっている。</p>	
<p>放課後デイサービスを利用していますが、送迎が無いため、困っています。家族の負担が大きくなり、送迎が出来ないため、休むことも多いです。是非、送迎をして頂きたいです。宿題をやる時間が特になく、それも困っています。やって頂きたいです。お金の引き落としの手数料が高く、不便です。</p>	
<p>いつも息子は行くのをすごく楽しみにしています。友達もたくさんできて気持ちよく過ごせていると思います。希望としては、部屋の中での指導が多いので、園の中の庭でもいいので外に出る活動がもう少しあるといいなあと思いました。</p>	
<p>放課後等デイサービスを利用しています。みんな来る時間がバラバラなので難しいとは思いますが、春や秋など気候の良い時季に近所の公園に遊びに行くなど、外遊びの日もあったらいいなと思います。</p>	
<p>親の要望をもう少し取り入れて欲しい。個別訓練がとても良かったので、小学生もやって欲しい。放課後デイが物足りない感じがする。</p>	
<p>もっと遊びたい。プリントをもっとやりたい。好きなことをもっとやりたい。</p>	
<p>よく見て下さっていると思います。</p>	
<p>満足しています。本人は年に多くて2～3回しか休みませんが、他の子供たちの出席が少なく少々寂しいです。</p>	
<p>きりりでの生活は特に問題ないと思います。先生方の対応も素晴らしい。ただ、開いているのが平日のみなので、土日も開いて頂けると「毎週しっかり行けるのにな」と思います。外出や調理イベントは通常では体験できない事なので、とても楽しかったようです。機会があったら増やして頂きたいです。また、中学生以降のサポートが無くなってしまっているので、もっと長期に渡って見て頂けると助かります。きりりの駐車場を広くして頂きたいです。送迎はどうしても車になってしまうので、広い駐車場を設置して欲しいです。</p>	
<p>別の週に変更が出来るようにして欲しい。（現在、デイサービス利用）療育を継続するためにも、柔軟に対応して頂きたいです。内容については大満足です。いつもありがとうございます。</p>	
<p>学校までの送迎をして欲しい。利用日が指定できないのが残念だが、きりりに空きがある利用日を精一杯調整しているのが現状です。例えば、学校からの帰り、16時から30分かけて通所、16：30着-18：00迎えなので、家で30分休むとお迎えです。例えば、利用日が日曜なら送迎があっても14：00-18：00まで4時間を使うことができます。子どもにとっては良いかと思いますが、近隣でないと使いづらいです。しかし、他に利用する場所もありません。</p>	
<p>子どもは本当に楽しく毎週行っています。夏休みのイベントもとても良かったです。これからもどうぞよろしくお願いいたします。</p>	
<p>特になしですが、子どもにとって安心して放課後過ごせ、信頼できる職員が居て下さることに感謝しています。</p>	
<p>それなりに丁寧にして下さっていると思います。今時、電話でしかコミュニケーションが取れないのは共働き世帯には重荷です。</p>	
<p>どの先生も優しく、誠意を持って子どもと接して下さっています。こちらの要望にも応えようと努力して下さいます。帰りの会でうちの息子はかなりリラックスしているようなので、せめてきちんと座って欲しいと思います。</p>	

週1日しか利用できないが、もっと利用できれば本人としても自分の居場所として理解しやすいと感じる。

OTやSTがあると助かります。

2週間に1回でも大丈夫です。

特別な活動の時は写真を取って最後に親に報告をしてもらえますが、普通の活動の時は報告が最後にあるだけで子どもも何も言わないので、楽しいのか、何をやって子どもに有効な活動なのか分かりにくいので、たまには親も見学させて欲しい。

[3] 今回の調査についてお気づきになった点など、ご自由にお書きください。

このアンケートは通っている本人の感想を求めるものですが、保護者の感想は必要ないでしょうか。両方（利用者の子と保護者）が同意見とは限りませんし、問10、11は利用者本人に聞いても分かりません。子どもの習い事の1つであれば、このアンケートでもいいと思いますが、未成年の発達支援センターに対して、このアンケートでは不十分ではないかと思います。

アンケートを本人に書かせるようになってきているのは如何なものか。今年のきりりは本人に合っていないようである。去年は訓練に変更し、個別に短時間指導を受けていたが、そちらの方が良かった。今のきりりは4年生向けになっていない、放課後デイというのは生活の場であるべきとの認識であるが、宿題もできず、つまらない場所になってしまった。楽しく過ごせる方法を考えて頂きたい。今年は療育になっていない。療育をしたいのであれば、個別や子どものレベルに応じた対応が必要なのではないか。

子どもに対してのアンケートなら「清潔で整理された空間？」はないと思いますよ。できるなら子供用を大人用に分けて欲しいです。

アンケート、とても良いと思います。

対象を親と子のそれぞれにしたアンケートとしないと、なかなか正確なところは分からないのではないのでしょうか。親としては悩みながら通わせていますが、障害者扱い、これから年が上がるとうまたトラブルがあります、、、という話は本当なのでしょう。気持ちが落ち込みます。親のメンタルに響きます。この点、日頃障害児を専門にしていない普通の先生の方が温かい言葉をかけて下さり、ホッとすることがあります。専門の方というのはそういうものなのでしょう。

回収結果・回収率

	児童発達支援センター	放課後等デイサービス	合計
利用者数	22	50	72
回答者数	18	31	49
回答率	81.8%	62.0%	68.1%

社会福祉法人雲柱社

小金井市児童発達支援センターきらり 御中

【中間報告書】
平成28年度第三者評価
－利用者調査－
放課後等デイサービス

平成28年12月14日

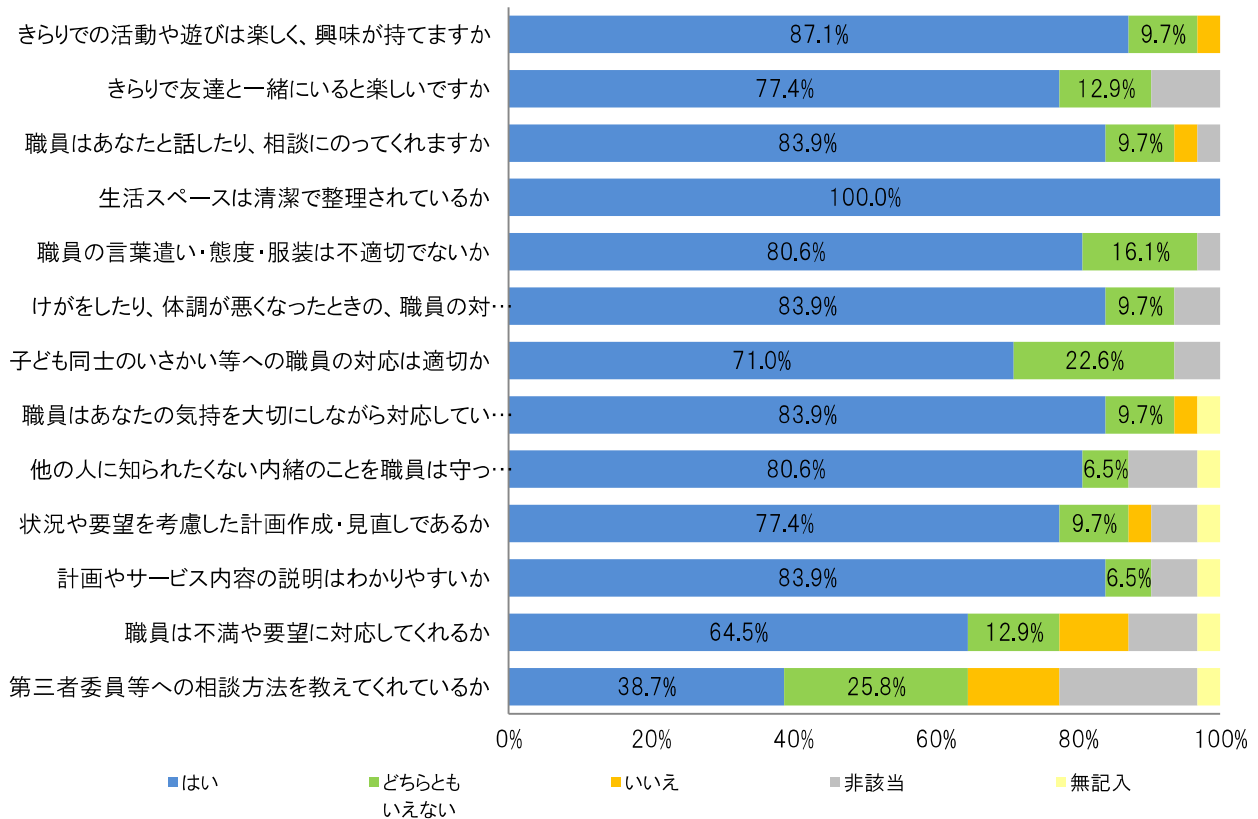


日本コンサルティング株式会社

(まとめ) 各項目の回答内訳

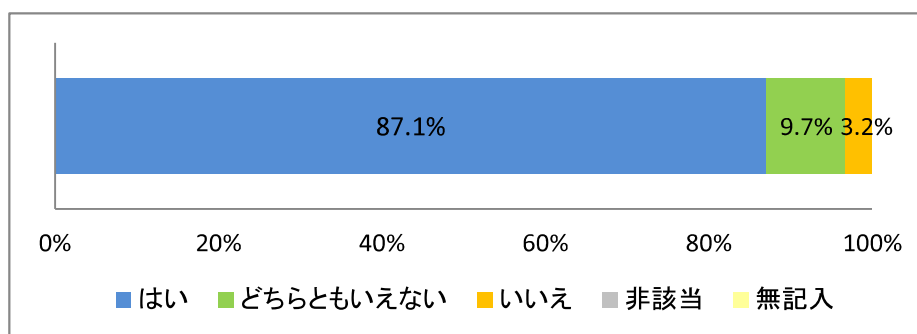
総合的な満足について	大変満足	満足	どちらとも いえない	不満	大変不満	無記入
	74.2%	19.4%	3.2%	0.0%	3.2%	0.0%

	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無記入
きらりでの活動や遊びは楽しく、興味が持てますか	87.1%	9.7%	3.2%	0.0%	0.0%
きらりで友達と一緒にいると楽しいですか	77.4%	12.9%	0.0%	9.7%	0.0%
職員はあなたと話したり、相談にのってくれますか	83.9%	9.7%	3.2%	3.2%	0.0%
生活スペースは清潔で整理されているか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
職員の言葉遣い・態度・服装は不適切でないか	80.6%	16.1%	0.0%	3.2%	0.0%
けがをしたり、体調が悪くなったときの、職員の対応は信頼できますか	83.9%	9.7%	0.0%	6.5%	0.0%
子ども同士のいさかい等への職員の対応は適切か	71.0%	22.6%	0.0%	6.5%	0.0%
職員はあなたの気持を大切にしながら対応しているか	83.9%	9.7%	3.2%	0.0%	3.2%
他の人に知られたくない内緒のことを職員は守ってくれるか	80.6%	6.5%	0.0%	9.7%	3.2%
状況や要望を考慮した計画作成・見直しであるか	77.4%	9.7%	3.2%	6.5%	3.2%
計画やサービス内容の説明はわかりやすいか	83.9%	6.5%	0.0%	6.5%	3.2%
職員は不満や要望に対応してくれるか	64.5%	12.9%	9.7%	9.7%	3.2%
第三者委員等への相談方法を教えてくれているか	38.7%	25.8%	12.9%	19.4%	3.2%



1 きらりでの活動や遊びは楽しく、興味が持てますか

はい	どちらともいえない	いいえ	非該当	無記入
27	3	1	0	0



■自由意見

楽しい時とそうでない時がある。

先生に縛られ過ぎ（昨年までは問題が無かった）。

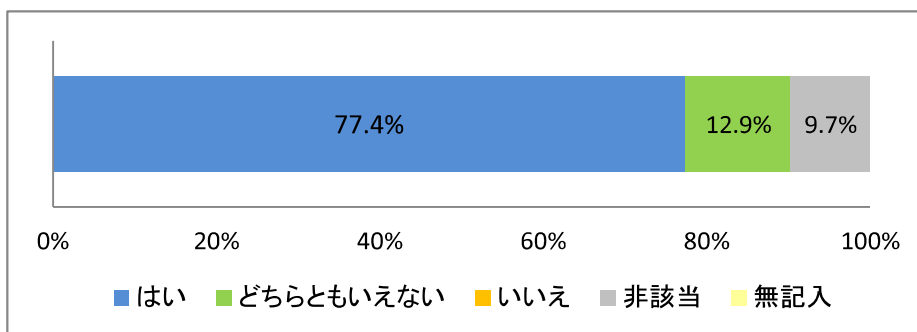
前日から「明日はきらり行くよ」と言っていたり、帰ってくると「きらり楽しかった」と、よく言っています。

自由な行動より、指示行動の方が落ち着く場合があります。自由を尊重するきらりです。

ゲームとかお菓子が楽しい。

2 きらりで友達と一緒にいると楽しいですか

はい	どちらともいえない	いいえ	非該当	無記入
24	4	0	3	0



■自由記述

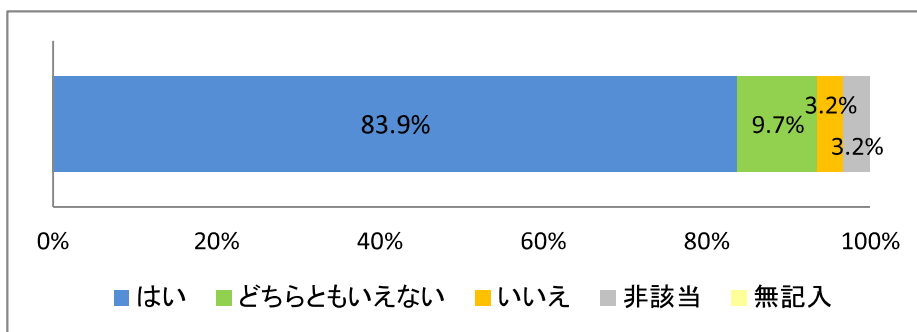
ただし、友達と少しふざけただけで、注意されるのが嫌だ。

お友達と一緒に遊ぶというのがまだあまりできず、一人遊びが多いので。

良く話す友達がいる。

3 職員はあなたと話したり、困った時に相談にのってくれたりしますか

はい	どちらともいえない	いいえ	非該当	無記入
26	3	1	1	0

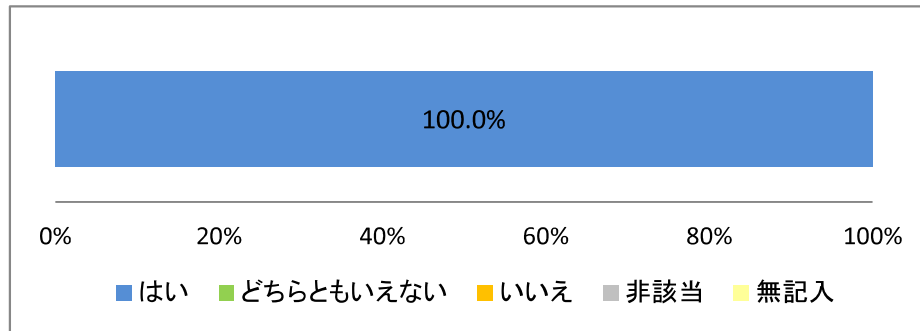


■自由記述

みんな優しい。

4 あなたは、きらりの生活スペースは清潔で整理された空間になっていると思いますか

はい	どちらともいえない	いいえ	非該当	無記入
31	0	0	0	0

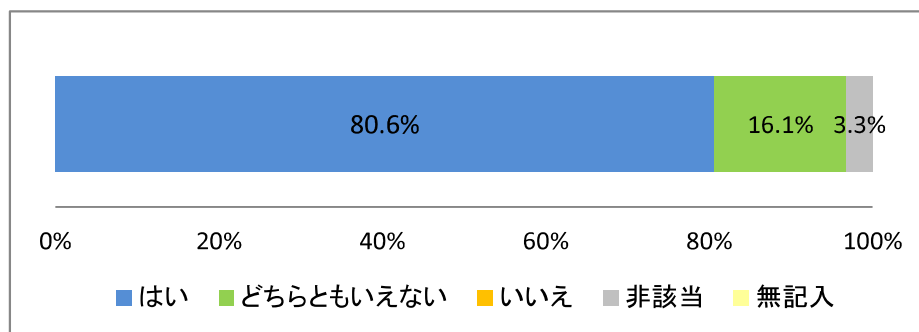


■自由記述

気が散りやすいので、いつも整理されている為、集中しやすいようです。

5 あなたは、職員の言葉遣いや態度、服装などが不適切だと感じることはないですか

はい	どちらともいえない	いいえ	非該当	無記入
25	5	0	1	0



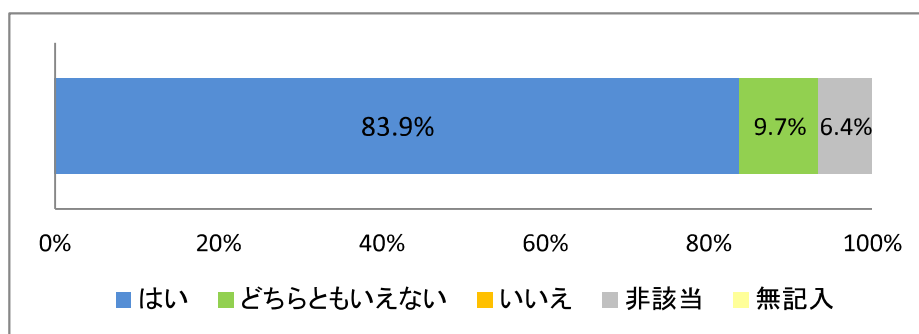
■自由記述

問題行動や不適切な行動をしようとした時への、事前の指示をもう少し望みます。

6

あなたは、あなたがけがをしたり、体調が悪くなったときの、職員の対応は信頼できますか

はい	どちらともいえない	いいえ	非該当	無記入
26	3	0	2	0



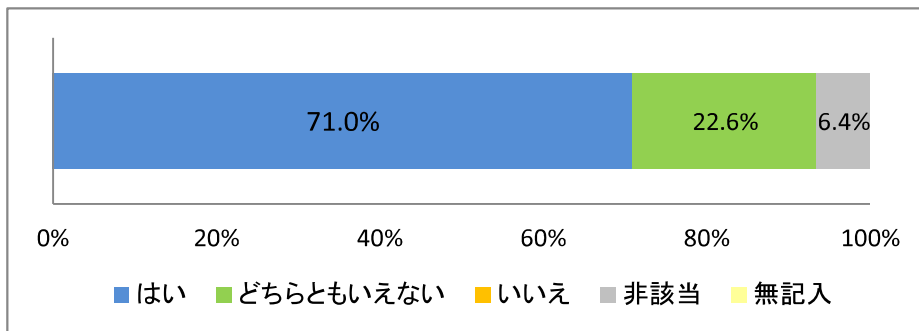
■自由記述

そのようなことは無かった。

細かいことも教えてもらえて信頼しています。

7 あなたは、子ども同士のいさかいやいじめ等があった場合の職員の対応は信頼できますか

はい	どちらともいえない	いいえ	非該当	無記入
22	7	0	2	0



■自由記述

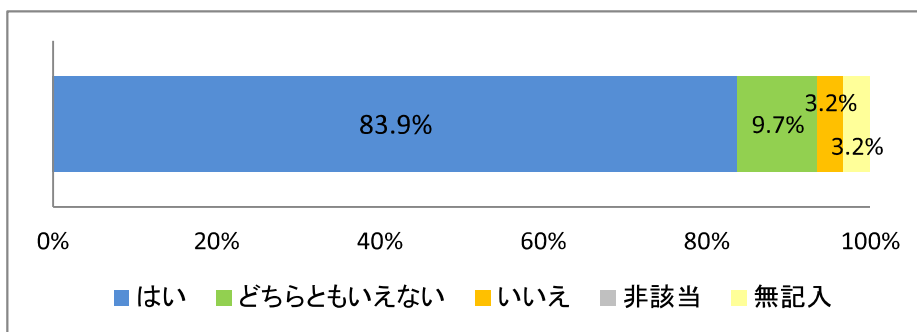
その時の状況や状態を分かりやすく、伝えて下さります。

よく相談させてもらっています。

普段の活動中は中に入れないのでわかりません。

8 あなたは、職員があなたの気持ちを大切にしながら対応してくれていると思いますか

はい	どちらともいえない	いいえ	非該当	無記入
26	3	1	0	1



■自由記述

子ども同士でトラブルがあった時、子どもの気持ちを汲んで配慮してくれています。

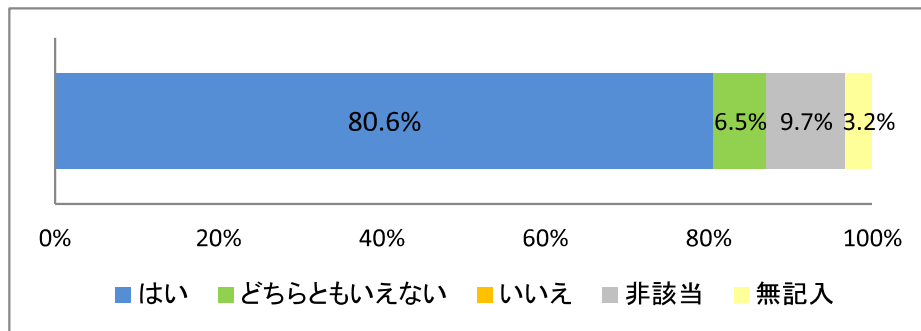
つまらないからふざける。⇒怒られる、の繰り返し。

普段の活動は親は見学できないので分かりません。

9

あなたは、他の人に知られたくないことや内緒の話などの秘密を職員が守ってくれていると思いますか

はい	どちらともいえない	いいえ	非該当	無記入
25	2	0	3	1



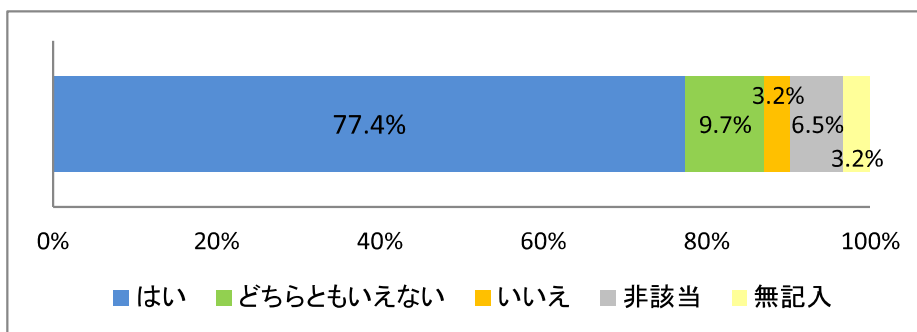
■自由記述

まだおしゃべりができないので。

10

あなたのサービスに関する計画（目標）を作成したり見直したりする際に、きりりはあなたの状況や要望を聞いてくれますか

はい	どちらともいえない	いいえ	非該当	無記入
24	3	1	2	1



■自由記述

問題意識はあるが、対応が遅い。

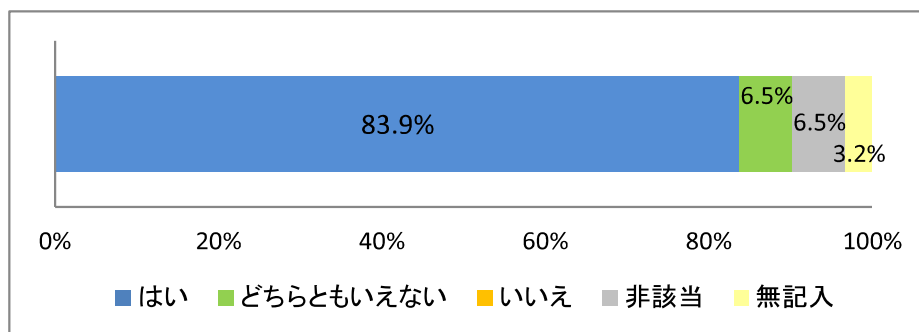
現在、利用者本人が計画を立てることが難しいため、保護者が作成しています。本人の状態は良く見て頂いており、問題は全くありません。

利用する曜日を変更したいということを伝えたところ、待機している方々が優先となり、利用が難しいと言われました。市の決めた事なら、利用者のことを考えていないルールだと思う。

11

あなたの計画やサービス内容についての説明は分かりやすいと思いますか

はい	どちらともいえない	いいえ	非該当	無記入
26	2	0	2	1



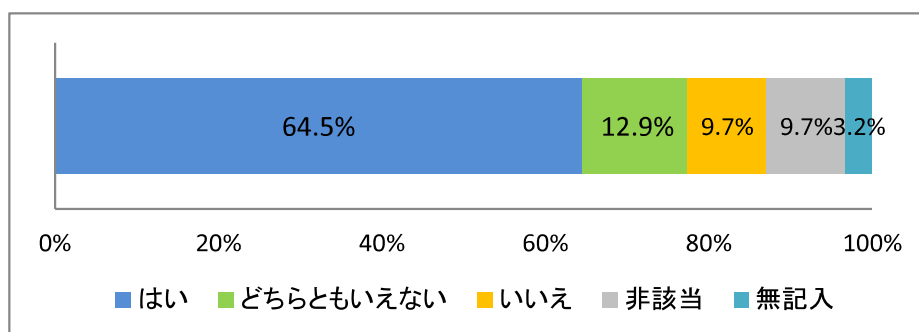
■自由記述

問題ありません。

12

あなたが不満に思ったことや要望を伝えたとき、職員は、きちんと対応してくれていると思いますか

はい	どちらともいえない	いいえ	非該当	無記入
20	4	3	3	1



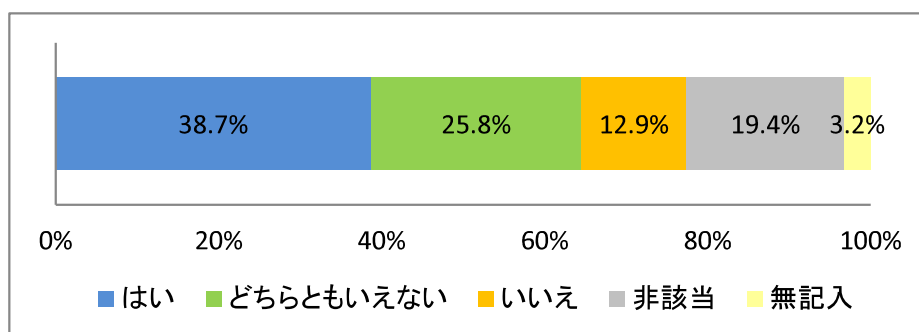
■自由記述

課題が簡単すぎてつまらない ⇒ 1年生もいるから仕方がないと言い訳される。

13

あなたが困ったときに、職員以外の人（役所や第三者委員など）にも相談できることをわかりやすく伝えてくれましたか

はい	どちらともいえない	いいえ	非該当	無記入
12	8	4	6	1



■自由記述

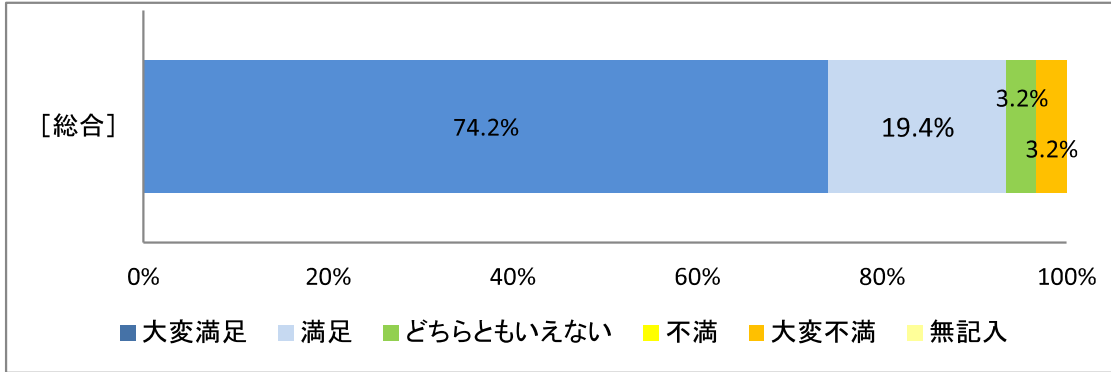
内容に関しては何の問題もなく、良い療育を受けていると感じています。

役所の対応があまり良くないので、きらりの方が対応して下さっていると感じます。このアンケートで第三者委員を知りました。

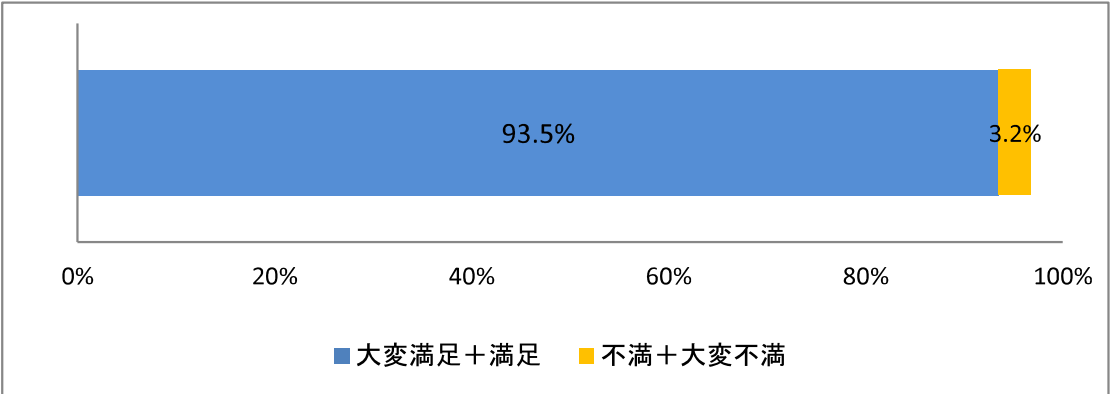
総合 現在利用している事業所を総合的にみて、どのように感じていらっしゃいますか。

大変満足	満足	どちらともいえない	不満	大変不満	無記入
23	6	1	0	1	0

【総合満足度】



【満足割合と不満割合との比較】



[2]	日頃お感じになっている事業所に対するご意見・ご要望など、ご自由にお書きください。
<p>きりりは週1でのびのび過ごせることを期待しているが、学年が上がるにつれて同年代がいなくなり、宿題も多くなり、登所する時間も遅くなるため、宿題をする時間が制限されるのが不満である。課題も本人にとって簡単なものが多く、真剣に取り組めていないので、できない事があっても、やる気が起きない、設備（机）も低学年用なので勉強するにもイライラしながらやっている。</p>	
<p>放課後デイサービスを利用していますが、送迎が無いため、困っています。家族の負担が大きくなり、送迎が出来ないため、休むことも多いです。是非、送迎をして頂きたいです。宿題をやる時間が特になく、それも困っています。やって頂きたいです。お金の引き落としの手数料が高く、不便です。</p>	
<p>いつも息子は行くのをすごく楽しみにしています。友達もたくさんできて気持ちよく過ごせていると思います。希望としては、部屋の中での指導が多いので、園の中の庭でもいいので外に出る活動がもう少しあるといいなあと思いました。</p>	
<p>放課後等デイサービスを利用しています。みんな来る時間がバラバラなので難しいとは思いますが、春や秋など気候の良い時季に近所の公園に遊びに行くなど、外遊びの日もあったらいいなと思います。</p>	
<p>親の要望をもう少し取り入れて欲しい。個別訓練がとても良かったので、小学生もやって欲しい。放課後デイが物足りない感じがする。</p>	
<p>もっと遊びたい。プリントをもっとやりたい。好きなことをもっとやりたい。</p>	
<p>よく見て下さっていると思います。</p>	
<p>満足しています。本人は年に多くて2～3回しか休みませんが、他の子供たちの出席が少なく少々寂しいです。</p>	
<p>きりりでの生活は特に問題ないと思います。先生方の対応も素晴らしい。ただ、開いているのが平日のみなので、土日も開いて頂けると「毎週しっかり行けるのにな」と思います。外出や調理イベントは通常では体験できない事なので、とても楽しかったようです。機会があったら増やして頂きたいです。また、中学生以降のサポートが無くなってしまうので、もっと長期に渡って見て頂けると助かります。きりりの駐車場を広くして頂きたいです。送迎はどうしても車になってしまうので、広い駐車場を設置して欲しいです。</p>	
<p>別の週に変更が出来るようにして欲しい。（現在、デイサービス利用）療育を継続するためにも、柔軟に対応して頂きたいです。内容については大満足です。いつもありがとうございます。</p>	
<p>学校までの送迎をして欲しい。利用日が指定できないのが残念だが、きりりに空きがある利用日を精一杯調整しているのが現状です。例えば、学校からの帰り、16時から30分かけて通所、16：30着-18：00迎えなので、家で30分休むとお迎えです。例えば、利用日が日曜なら送迎があっても14：00-18：00まで4時間を使うことができます。子どもにとっては良いかと思いますが、近隣でないといづらいです。しかし、他に利用する場所ありません。</p>	
<p>子どもは本当に楽しく毎週行っています。夏休みのイベントもとても良かったです。これからもどうぞよろしくお願いいたします。</p>	
<p>特になしですが、子どもにとって安心して放課後過ごせ、信頼できる職員が居て下さることに感謝しています。</p>	
<p>それなりに丁寧にして下さっていると思います。今時、電話でしかコミュニケーションが取れないのは共働き世帯には重荷です。</p>	
<p>どの先生も優しく、誠意を持って子どもと接して下さっています。こちらの要望にも応えようと努力して下さいます。帰りの会でうちの息子はかなりリラックスしているようなので、せめてきちんと座って欲しいと思います。</p>	

週1日しか利用できないが、もっと利用できれば本人としても自分の居場所として理解しやすいと感じる。

OTやSTがあると助かります。

2週間に1回でも大丈夫です。

特別な活動の時は写真を取って最後に親に報告をしてもらえますが、普通の活動の時は報告が最後にあるだけで子どもも何も言わないので、楽しいのか、何をやって子どもに有効な活動なのか分かりにくいので、たまには親も見学させて欲しい。

[3] 今回の調査についてお気づきになった点など、ご自由にお書きください。

このアンケートは通っている本人の感想を求めるものですが、保護者の感想は必要ないでしょうか。両方（利用者の子と保護者）が同意見とは限りませんし、問10、11は利用者本人に聞いても分かりません。子どもの習い事の1つであれば、このアンケートでもいいと思いますが、未成年の発達支援センターに対して、このアンケートでは不十分ではないかと思います。

アンケートを本人に書かせるようになってきているのは如何なものか。今年のきりりは本人に合っていないようである。去年は訓練に変更し、個別に短時間指導を受けていたが、そちらの方が良かった。今のきりりは4年生向けになっていない、放課後デイというのは生活の場であるべきとの認識であるが、宿題もできず、つまらない場所になってしまった。楽しく過ごせる方法を考えて頂きたい。今年は療育になっていない。療育をしたいのであれば、個別や子どものレベルに応じた対応が必要なのではないか。

子どもに対してのアンケートなら「清潔で整理された空間？」はないと思いますよ。できるなら子供用を大人用に分けて欲しいです。

アンケート、とても良いと思います。

対象を親と子のそれぞれにしたアンケートとしないと、なかなか正確なところは分からないのではないのでしょうか。親としては悩みながら通わせていますが、障害者扱い、これから年が上がるとうまたトラブルがあります、、、という話は本当なのでしょう。気持ちが落ち込みます。親のメンタルに響きます。この点、日頃障害児を専門にしていない普通の先生の方が温かい言葉をかけて下さり、ホッとすることがあります。専門の方というのはそういうものなのでしょう。

回収結果・回収率

	児童発達支援センター	放課後等デイサービス	合計
利用者数	22	50	72
回答者数	18	31	49
回答率	81.8%	62.0%	68.1%

社会福祉法人雲柱社

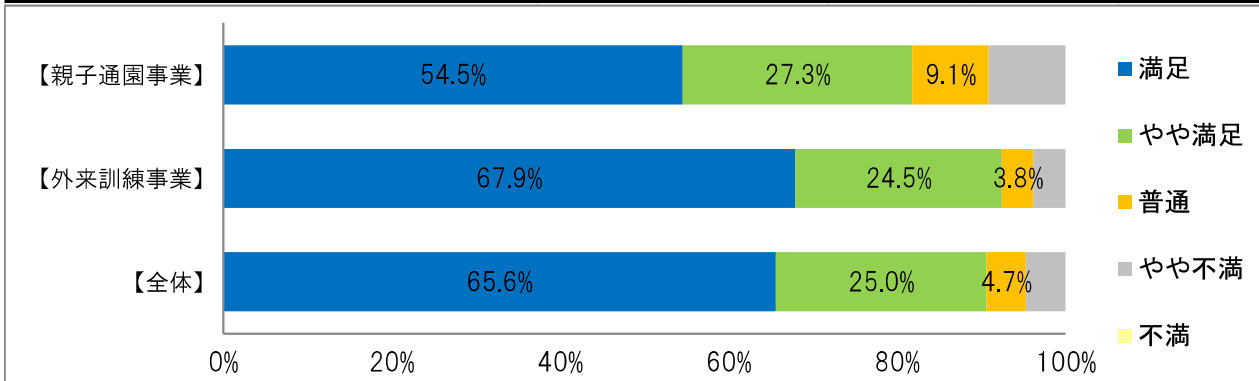
小金井市児童発達支援センターきらり 御中

【報告書】
平成28年度
—利用者アンケート調査—
親子通園事業・外来訓練事業

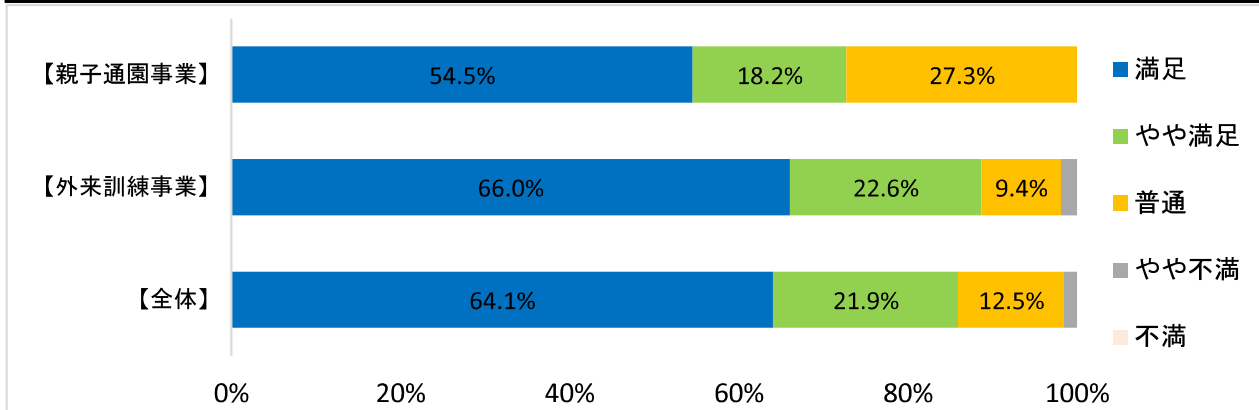
平成28年11月21日

(まとめ) 各項目の回答内訳

問1. 事業所が提供しているサービス内容について、どのように感じていますか？	満足	やや満足	普通	やや不満	不満
【親子通園事業】	54.5%	27.3%	9.1%	9.1%	0.0%
【外来訓練事業】	67.9%	24.5%	3.8%	3.8%	0.0%
【全体】	65.6%	25.0%	4.7%	4.7%	0.0%



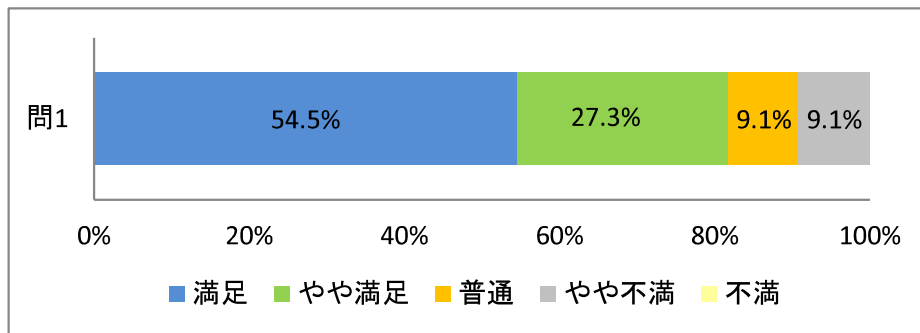
問2. 運業者について、どのように感じていますか？	満足	やや満足	普通	やや不満	不満
【親子通園事業】	54.5%	18.2%	27.3%	0.0%	0.0%
【外来訓練事業】	66.0%	22.6%	9.4%	1.9%	0.0%
【全体】	64.1%	21.9%	12.5%	1.6%	0.0%



1

【親子通園事業】
事業所が提供しているサービス内容について、どのように感じていますか？

満足	やや満足	普通	やや不満	不満
6	3	1	1	0



■自由記述

子どもにとって専門的でかつ、近くにあり、同じ様な月齢の子たちと関わり合えるのが、一番嬉しいです。

色々工夫して準備して下さっていることは伝わります。一方で、障がいの特性について、もっと知識を持って欲しいと思うこともあります。

生活面や療育面（何をどの位やったらいいか等）、保育園情報など障害児に関する地域の情報を蓄積して欲しい。

少人数で一人ひとりの特性をよく見て頂き、アドバイスやサービスを受けられるので、とても助かります。また、先生、スタッフの方が非常に親身で優しく丁寧に接してくれるのが、悩み・心配の多い親としては安心します。

働く親向けに土曜日開催などがあると助かる。

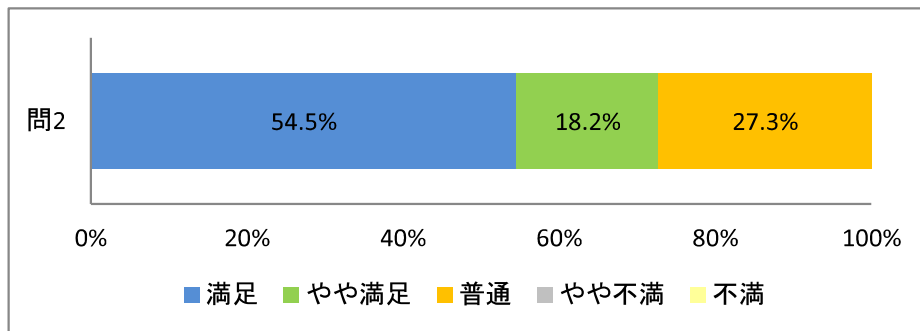
10時～11時30分だと1日仕事を休まないと参加が厳しい。（9時や9時30分スタートなど、少し早いだけで半休で済む場合がある。）

月2回親子通園事業を利用しています。料金がかかってもいいので、回数を増やして欲しいです。もしくは個別に外来訓練を併用させて欲しいです。

2

【親子通園事業】
 運営業者について、どのように感じていますか？

満足	やや満足	普通	やや不満	不満
6	2	3	0	0



■自由記述

とても丁寧に指導して頂いており、見学させて頂いた通園をはじめ、とても安心できる場になっていると思います。

利用者と事業運営の方は、受付での挨拶くらいしか接点が無いです。

年次でどのようなサービスが受けられるかなど、きちんと説明して頂く機会は欲しい。

市の障害課で保育園情報（障害児の受け入れ）、今後受けられるサービス等を聞いた時、「それは“きらり”の管轄です」と言われたが、“きらり”ではそういう側面はなく、親子通園の場で聞いても「どうなのでしょう～」という具合で結局解決しない。一般的な相談窓口の機能が不足しているように思います。

保健センター内の「ゆりかご」と同じ事業者・スタッフであることは安心します。

親子通園事業を利用しているが、1日仕事を休めない日は30分早く切り上げさせてもらったり、個別対応をしてくれる。

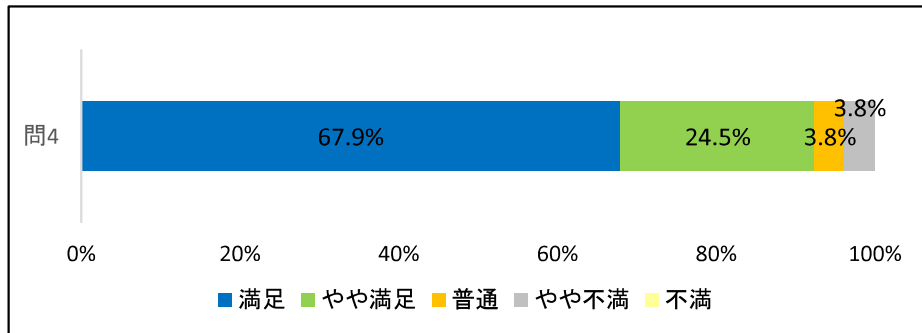
早く切り上げる日はお昼を食べさせてから保育園に登園しないといけませんが、昼を食べる場所が無く、屋外で立ったまま食べさせていたが、きらりさんの配慮で途中から職員の休憩部屋など、空いている場所を貸して下さり、大変助けられました。ありがとうございます。

3	<p>【親子通園事業】 現在利用している事業において、今後実施して欲しい療育内容、サービス等がありますか？</p>
<p>■自由記述</p>	
<p>P Tや動作法訓練等、サービスとしては延長保育など。</p>	
<p>年に数回、講座の開催がありますが、全て平日の実施。働いているので参加できない。土日開催のものも少しは実施して欲しい。</p>	
<p>近隣の市でもP T・O T・摂食までセンターでやっている所もあるので、よりサービスを充実させて欲しい。</p>	
<p>障害児に対する全般的な窓口としての機能を持って欲しい。手帳の取得・受給者証のことなど。</p>	
<p>様々な手当等、何がどう受けられるのか？療育面での不安、トータルで相談できる場が無い。実際の手続きは各専門窓口だとしても「〇〇ちゃんは今こういうことが受けられます」ということ位は提案して欲しい。現状は親が必死で調べて、市役所や児童相談所へ何度も行き、場合によって“たらい回し”になっています。市の各部署とも縦割りでなく、横断的な連携をして欲しい。</p>	
<p>頻度が多くなるといいなと思います。</p>	
<p>O TやS Tなど、より専門的な療育をお願いしたい。また、全体的な相談機関であり続けて頂けると有難いです。</p>	
<p>もっと気軽にできる「相談会」のような機会があると、きらりに通う前にもっときらりを身近に感じ、利用しやすくなる気がします。</p>	
<p>スタッフの方の講演でもいいので、子育ての悩み・壁など、就園前の子どもに関する話を聞く機会があれば、もっと利用したいと思います。</p>	
<p>平日働く親向けに土曜日親子通園事業。</p>	
<p>回数や時間が増えると助かります。</p>	
<p>きめ細やかにケアして頂き、大変助かっています。親だけでは気づかない点も沢山気付かせてもらいました。子どももすごく気に入って日々成長しています。</p>	
<p>摂食指導や発達検査、健康診断を定期的実施して欲しいです。</p>	

4

【外来訓練事業】
事業所が提供しているサービス内容について、どのように感じていますか？

満足	やや満足	普通	やや不満	不満
36	13	2	2	0



■自由記述

とても満足しています。

低い費用で訓練が受けられる。訓練の環境が整っている。

毎回楽しみながら親子共に通っています。

今日の授業がどの様な力になっていくのか、簡単に説明があると家族も見習えて励みになります。

よく見てもらっていて、子どもの特性等もきちんと把握してくれている。

子どもの心に寄り添って下さり、毎回工夫して下さってます。親の相談にも乗ってもらえ、心が軽くなります。

子どもの事を熱心に考えてくれて、ありがたいです。

子ども一人ひとりの発達を見て、訓練して下さい、ありがたい。

発達障害の知識がきちんとある方がいるので、幼稚園の先生と比べて話のし甲斐がある。

先生が大変なベテランで様々なアドバイスを頂けるので、自宅でのトレーニングもスムーズに行えています。

昨年度の指導者と情報交換ができていないのか、児の状況把握が不十分。訓練中、児が飽きてしまい毎回騒ぐ。落ち着かない。

一見、遊んでいるだけに思えるが、子どもの顔を見てみると挑戦しながら“楽しい！できる！”が増えることで、本人が変化していくのが分かります。

料金が後払いになると嬉しいです。

親向けに行われる学習会など、充実していて良いと思っています。

幼稚園と併用しているが、きらりと幼稚園の連携がうまくいっていないと感じる。情報共有が親を通してのみ（双方とも）なので、幼稚園には障害を理解されにくく、辛い。

子どもとのやり取りが30分程度。それで1000円は高く感じる。

毎回子どもに合った訓練内容を考えて下さり、訓練の場では終始楽しい雰囲気の中で接して下さい、ありがとうございます。

受付の方や先生がとても丁寧。最初の面談時に立ち会ってくれた方は、言葉遣いがとてもこちらに配慮してくれたものでした。

通園時間の枠。個別・団体、どちらが向いているか体験してみたい。

気になる点（本人の言動・行動）を伝えると対応策を提案して頂ける。毎回趣向を凝らした活動を考えてやって頂いている。

本人の特性に応じた内容で良いが、フィードバック、相談を含めたノートの活用をして欲しい。時間枠となっており、もう少し療育時間を伸ばして欲しい。

わらにもすぎる思いで、きらりに通い始めたが、指導力のある先生にお世話になり、大変感謝している。施設も新しく、教材も壊れていない物を利用して頂き、満足している。

きめ細やかにケアして頂き、大変助かっています。親だけでは気づかない点も沢山気付かせてもらいました。子どももうごく気に入って日々成長しています。

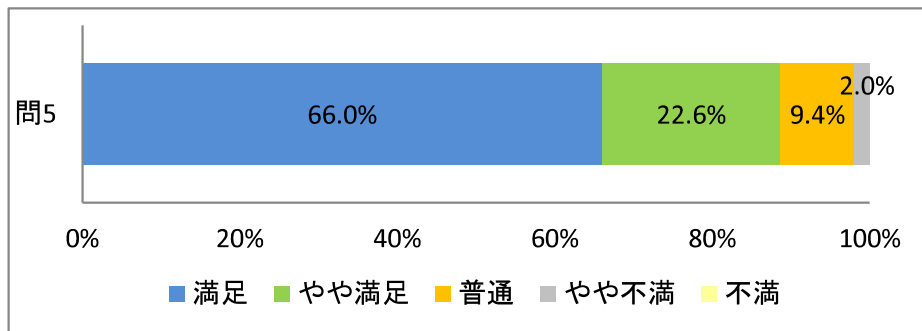
なかなか親のいうことを聞いてくれない息子がこちらの先生達とは楽しそうに知育遊びをしてくれるので、大変助かっています。

子どもの苦手な部分を伸ばして、楽しく訓練出来るように考えてくれている。普段の様子など、話を聞いて頂けて、すぐに指導に繋げてくれている所が満足しています。

5

【外来訓練事業】
運営業者について、どのように感じていますか？

満足	やや満足	普通	やや不満	不満
35	12	5	1	0



■自由記述

皆様、優しくて良い方ばかりです。

雲柱社は以前から関わりがあり、通常療育のみならず、スキー教室や登山、遠足など、積極的な取り組みが多く、素晴らしいと思う。

アンケートを行ったり、運営に積極的と思われます。

皆さん、親切・丁寧です。

皆さん感じが良い。

2月に申込みをして、こちらから3月に連絡するまで、4月以降などの日程などの連絡が無かったので、分かり次第連絡して欲しかった。

安心して相談できない。

事務の方の間違が多い気がする。

保育園行事の変更によって、行けなくなった場合や、子どもだから風邪で休むことは良くあること。にも関わらず、返金がない事や、翌月に振替ができない事が不満。金儲けに感じてしまう。

評判の良い事業者なので、安心です。

スタッフさんが驚くほど冷たい人と、親身になってくれる方との差がある。きりり都合による訓練のキャンセルについての対応など、説明が不安に感じる事があった。

事業の管理、施設の管理、利用者への対応とも良いと思います。利用者には親切に優しく接して下さい、気持ち良く利用させて頂いています。

丁寧で細かすぎる位の対応をして頂いているので、現状で大変満足している。手広く浅い対応になるよりは現状維持して欲しい。

組織化、合理化が計られ、多くの方が利用しやすくなってきた反面、気軽に相談し辛くなった。

事務員の方も子どもの名前を覚えて声を掛けて下さり、温かい雰囲気だと思います。

良いサービスを提供して下さっていると思います。

支払や手続きが、こちらの都合（病気など）で遅れてしまう時に期日を伸ばして頂いた。他に手続きが必要な時など、詳しく説明して頂き、分かりやすかったです。

6	<p>【外来訓練事業】 現在利用している事業において、今後実施して欲しい療育内容、サービス等がありますか？</p>
<p>■自由記述</p>	
<p>定期的なイベント。（親子で参加できる）</p>	
<p>小学生向けの訓練ができるといいなと思います。（心理・ST・OT他）</p>	
<p>楽器やお絵描き等。</p>	
<p>少人数制（5名程度）のクラス。コミュニケーションの取り方などを教えて頂きたいです。</p>	
<p>できない課題などを沢山やって欲しいです。</p>	
<p>年少児のグループ訓練。</p>	
<p>行けない日（予約制）が分かっている時は、振り替えができるとう嬉しいです。</p>	
<p>勉強会を増やして欲しい。</p>	
<p>親の情報交換の場を作って欲しい。</p>	
<p>毎週（月4回）訓練があると良い。</p>	
<p>就学後の放課後デイの枠をもっと増やして頂きたく、お願い申し上げます。</p>	
<p>子どもにどう対応するか、親のトレーニングの場を作って欲しいです。（同じようなタイプの子を持つ親同士のディスカッションの場を設けるなど）</p>	
<p>毎日自由に遊べる様にトランポリンなどの施設を開放すること。</p>	
<p>児が必要としている訓練と通園可能な時間帯に実施して欲しい。</p>	
<p>年に1回、医療チェックを受けて、今現在年齢の平均と比べてどうなのかを知るとか。</p>	
<p>講演会はいつも勉強になっています。</p>	
<p>無料にして欲しい。</p>	
<p>1種類だけでなく、複数の訓練が受けられるとう嬉しいです。</p>	
<p>預かり保育（時間外保育）をして欲しい。子どもの事をよく理解してくれている園に急用や少しだけお願いすることが他の保育園や預かり保育では心配なので、お願いできたら本当に安心して心強いです。</p>	
<p>グループ訓練は見学ができないので、月1回位で見学できる日があると良いと思いました。</p>	
<p>一時預かりや放課後デイなど、実施して欲しい。一部保育園では療育に通っていることを告げると預かり拒否されたことがあり、本当に困った。当時は言葉も遅く、ただでさえ育児に疲れていたのが辛かった。</p>	
<p>個別とグループと両方利用できると嬉しいです。進路や病院など、情報を沢山持っていてアドバイスがもらえると助かります。個人的な付き合いや親の会でしか得られない情報も多く、閉鎖的な状況の中、共有することが難しいので、きらりがその情報を集約して、必要としている人に提供してもらえるといいなと思います。</p>	
<p>開始時間がもっと早ければ、または土曜日に訓練があれば仕事を休む時間が少なくなり助かります。</p>	
<p>小学生になっても継続して利用できる外来訓練。</p>	
<p>勉強。親が子どもに対してどこまで厳しくすれば良いか教えて欲しい。</p>	

一年なので（やっと半年ほど）内容本体に要望はありませんが、来年度以降の方針について現状を踏まえ本人の状態から進める別カリキュラムがあれば機を見て教えて欲しい。（個別→グループなど）

利用者の希望に応じた個別の放課後デイサービス。

両親が働いている為、外来訓練のために月3回半休を取ることがやや負担である。17：00-18：00の外来訓練もあると大変助かる。

週1回以上、こうした訓練を行えたらと思うので、家庭教師（？）のような出張サービスや土・日・祝の利用もできれば助かります。（有料でも高すぎない金額でしたら、非常に助かります。）

具体的に子どもの様子や（現状）変化など知りたい。まだ訓練を始めたばかりなので、これからあるのならすみません。

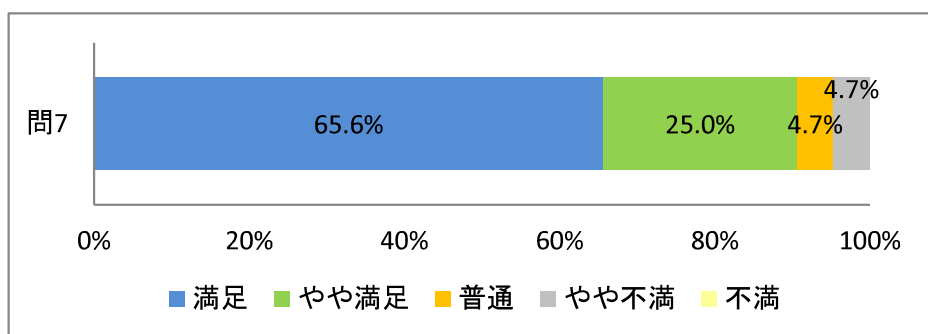
来年小学生になりますが、放課後デイサービスの枠を増やしてもらえると幸いです。

今のところ、ありません。

7

【全体】
事業所が提供しているサービス内容について、どのように感じていますか？

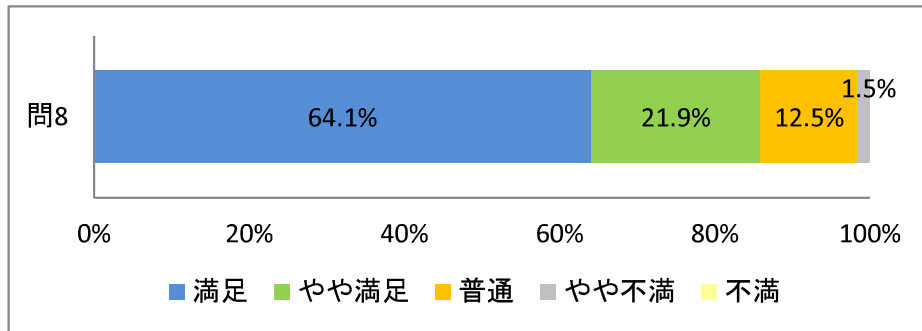
満足	やや満足	普通	やや不満	不満
42	16	3	3	0



8

【全体】
運営業者について、どのように感じていますか？

満足	やや満足	普通	やや不満	不満
41	14	8	1	0




回収結果・回収率

	親子通園事業	外来訓練事業	合計
利用者数	35	114	149
回答者数	11	53	64
回答率	31.4%	46.5%	43.0%

社会福祉法人雲柱社
小金井市児童発達支援センターきらり 御中

【中間報告書】
平成28年度第三者評価
—職員調査—

平成28年12月14日

 日本コンサルティング株式会社

(まとめ) 各項目別の回答内容集計

★「組織・マネジメント」分野アンケート項目 集計★

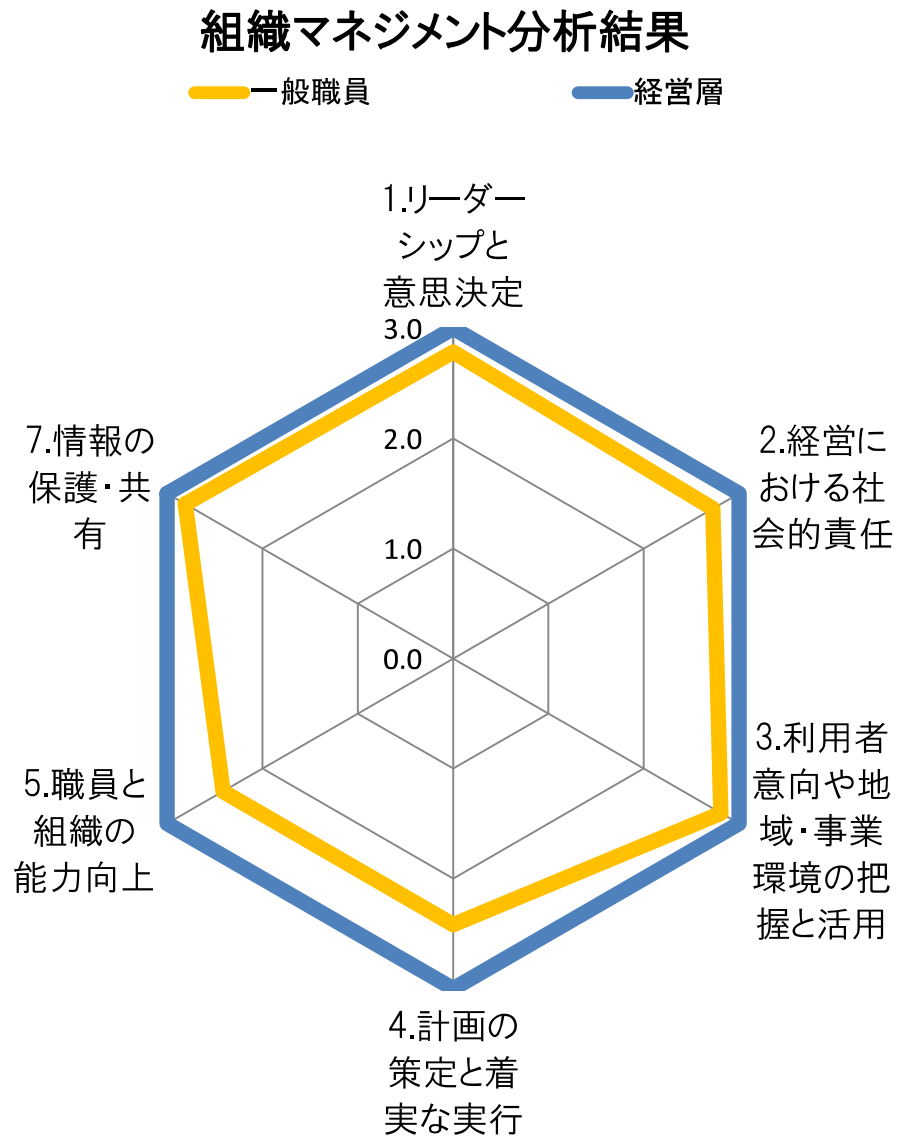
カテゴリ	質問項目	できている	できていない ところがある	できていない	回答者数 13人	
					知らない ・分からない	無回答
1-1-1	事業所が目指している事(理念、基本方針)を明確化・周知化している	10	3	0	0	0
1-1-2	経営層は自らの役割と責任を職員に対して表明し、施設をリードしている	9	3	0	1	0
1-1-3	重要な案件について、経営層は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している	10	2	0	1	0
2-1-1	社会人・福祉サービス事業に従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している	10	3	0	0	0
2-1-2	第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている	11	1	0	0	1
2-2-1	事業所の機能や福祉の専門性を活かした取り組みがある	12	1	0	0	0
2-2-2	ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している	5	4	2	1	1
2-2-3	地域の関係機関との連携を図っている	9	3	0	1	0
3-1-1	利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している	11	2	0	0	0
3-1-2	利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる	13	0	0	0	0
3-1-3	地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している	7	5	0	1	0
4-1-1	取り組み期間に応じた課題・計画を策定している	4	7	1	1	0
4-1-2	多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している	6	6	0	1	0
4-1-3	着実な計画の実行に取り組んでいる	4	9	0	0	0
4-2-1	利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる	8	5	0	0	0
5-1-1	事業所にとって必要な人材構成にしている	6	6	0	1	0
5-1-2	職員の質の向上に取り組んでいる	4	8	1	0	0
5-2-1	職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる	8	4	1	0	0
5-2-2	職員のやる気向上に取り組んでいる	6	6	1	0	0
7-1-1	事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる	10	3	0	0	0
7-1-2	個人情報、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している	11	2	0	0	0

★「サービス」分野アンケート項目 集計★

カテゴリ	質問項目	できている	できていない ところがある	できていない	回答者数 13人	
					知らない ・分からない	無回答
6-1-1	子どもや保護者等に対してサービスの情報を提供している	11	2	0	0	0
6-2-1	サービスの開始にあたり子どもや保護者に説明し、同意を得ている	13	0	0	0	0
6-2-2	サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている	11	2	0	0	0
6-3-1	定められた手順に従ってアセスメントを行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している	12	1	0	0	0
6-3-2	子どもや保護者の希望と関係者の意見を取り入れた個別の支援計画を作成している	9	4	0	0	0
6-3-3	子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している	10	3	0	0	0
6-3-4	子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している	9	4	0	0	0
6-4-1	個別の支援計画に基づいて子ども一人ひとりの発達の状態に応じた支援を行っている	8	5	0	0	0
6-4-2	子どもが食事を楽しめるよう支援を行っている	7	3	1	0	2
6-4-3	子ども一人ひとりの状況に応じて生活上に必要な支援を行っている	8	5	0	0	0
6-4-4	子どもの健康を維持するための支援を行っている	11	2	0	0	0
6-4-5	子どもの主体性を尊重し、施設での生活が楽しく快適になるような取り組みを行っている	8	5	0	0	0
6-4-6	家族との交流・連携を図り支援を行っている	11	2	0	0	0
6-4-7	地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている	6	6	1	0	0
6-5-1	子どものプライバシー保護を徹底している	13	0	0	0	0
6-5-2	サービスの実施にあたり、利用者の権利を守り、個人の意思を尊重している	10	3	0	0	0
6-6-1	手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている	4	8	1	0	0
6-6-2	サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている	7	5	1	0	0
6-6-3	さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している	8	5	0	0	0

[組織マネジメント] 分析結果集計

カテゴリ	階層別	平均
1	一般職員	2.8
	経営層	3.0
2	一般職員	2.7
	経営層	3.0
3	一般職員	2.8
	経営層	3.0
4	一般職員	2.4
	経営層	3.0
5	一般職員	2.4
	経営層	3.0
7	一般職員	2.8
	経営層	3.0



カテゴリー	1	リーダーシップと意思決定
-------	---	--------------

サブカテゴリー	1	評価項目	階層別	平均	階層別点数グラフ
事業所が目指している事の実現に向けて、一丸となっている	事業所が目指している事（理念、基本方針）を明確化・周知している	一般職員	2.8		
		経営層	3.0		
	経営層（運営管理者含む）は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている	一般職員	2.8		
		経営層	3.0		
	重要な案件について、経営層（運営管理者含む）は実績を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している	一般職員	2.8		
		経営層	3.0		

カテゴリ 1 評価平均	一般職員	2.8	
	経営層	3.0	

カテゴリー	2	経営における社会的責任
-------	---	-------------

サブカテゴリー	1	評価項目	階層別	平均	階層別点数グラフ
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる	社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している	一般職員		2.8	
		経営層		3.0	
	第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、透明性の高い組織となっている	一般職員		2.9	
		経営層		3.0	
		一般職員			
		経営層			

サブカテゴリー	2	評価項目	階層別	平均	階層別点数グラフ
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている	事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある	一般職員		2.9	
		経営層		3.0	
		一般職員			
	ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している	一般職員		2.3	
		経営層		3.0	
		一般職員			
	地域の関係機関との連携を図っている	一般職員		2.8	
		経営層		3.0	
		一般職員			

カテゴリー 2 評価平均	一般職員		2.7	
	経営層		3.0	
	一般職員			

カテゴリー	3	利用者意識や地域・事業環境の把握と活用
-------	---	---------------------

サブカテゴリー	1	評価項目	階層別	平均	階層別点数グラフ
利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している	利用者一人ひとりの意向（意見・要望・苦情）を多様な方法で把握し、迅速に対応している（苦情解決制度を含む）	一般職員		2.8	
		経営層		3.0	
	利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる	一般職員		3.0	
		経営層		3.0	
	地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している	一般職員		2.6	
		経営層		3.0	

カテゴリー 3 評価平均	一般職員	2.8	
	経営層	3.0	

カテゴリー	4	計画の策定と着実な実行
-------	---	-------------

サブカテゴリー	1	評価項目	階層別	平均	階層別点数グラフ
実践的な課題・計画策定に取り組んでいる	取り組み期間に応じた課題・計画を策定している	一般職員	2.3		
		経営層	3.0		
	多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している	一般職員	2.5		
		経営層	3.0		
	着実な計画の実行に取り組んでいる	一般職員	2.3		
		経営層	3.0		

サブカテゴリー	2	評価項目	階層別	平均	階層別点数グラフ
利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる	利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる	一般職員	2.6		
		経営層	3.0		

カテゴリ 4 評価平均		階層別	平均	階層別点数グラフ
		一般職員	2.4	
		経営層	3.0	

カテゴリー	5	職員と組織の能力向上
-------	---	------------

サブカテゴリー 1	評価項目	階層別	平均	階層別点数グラフ
事業所が目指している 経営・サービスを実現 する人材の確保・育成 に取り組んでいる	事業所にとって必要な 人材構成にしている	一般職員	2.5	
		経営層	3.0	
	職員の質の向上に取り 組んでいる	一般職員	2.2	
		経営層	3.0	

サブカテゴリー 2	評価項目	階層別	平均	階層別点数グラフ
職員一人ひとりと組織 力の発揮に取り組んで いる	職員一人ひとりの主体 的な判断・行動と組織 としての学びに取り組 んでいる	一般職員	2.5	
		経営層	3.0	
	職員のやる気向上に取 り組んでいる	一般職員	2.4	
		経営層	3.0	

カテゴリ 5 評価平均		階層別	平均	階層別点数グラフ
		一般職員	2.4	
		経営層	3.0	

カテゴリー	7	情報の保護・共有
-------	---	----------

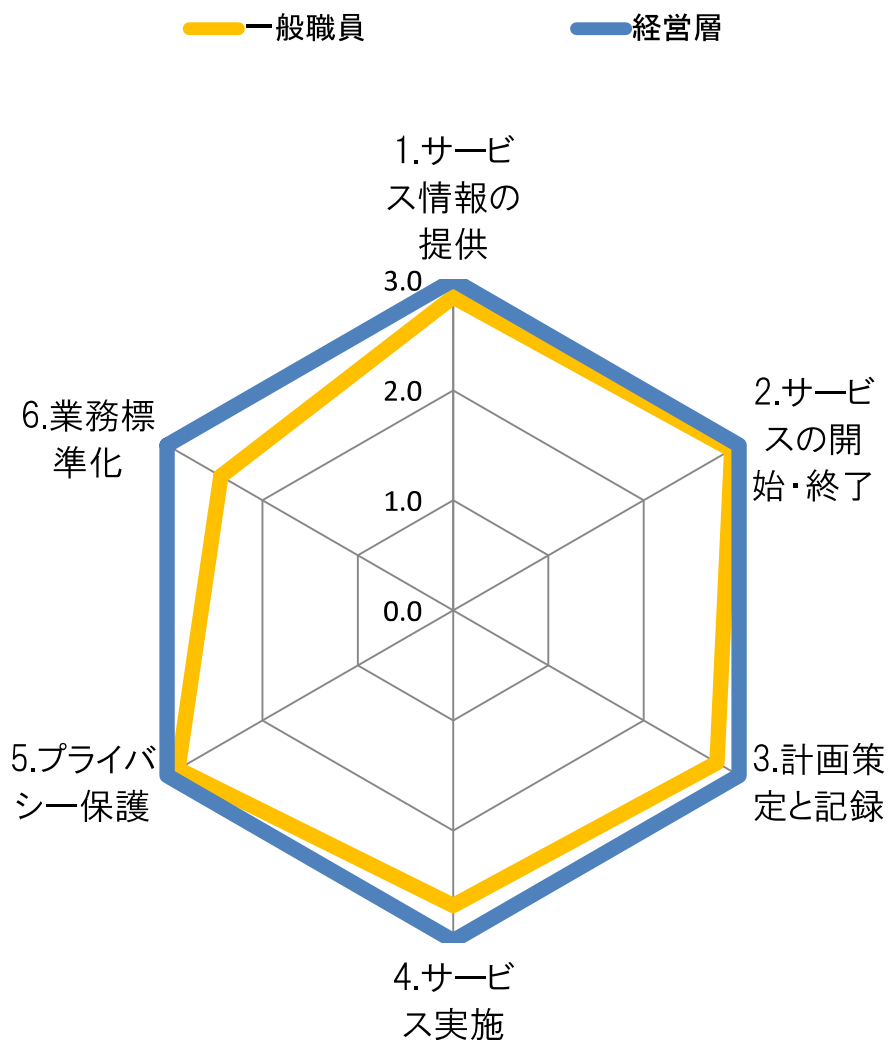
サブカテゴリー	1	評価項目	階層別	平均	階層別点数グラフ
情報の保護・共有に取り組んでいる	事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる	一般職員		2.8	
		経営層		3.0	
	個人情報とは、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している	一般職員		2.8	
		経営層		3.0	

カテゴリ 7 評価平均	一般職員	2.8	
	経営層	3.0	

[サービス提供のプロセス] 分析結果集計

サブカテゴリ	階層別	平均
1	一般職員	2.8
	経営層	3.0
2	一般職員	2.9
	経営層	3.0
3	一般職員	2.8
	経営層	3.0
4	一般職員	2.7
	経営層	3.0
5	一般職員	2.9
	経営層	3.0
6	一般職員	2.4
	経営層	3.0

サービス提供プロセス分析結果



サブカテゴリー	1	サービス情報の提供
---------	---	-----------

サブカテゴリー	1	評価項目	階層別	平均	階層別点数グラフ
サービス情報の提供		子どもや保護者等に対してサービスの情報を提供している	一般職員	2.8	
			経営層	3.0	

サブカテゴリー 1 評価平均	一般職員	2.8	
	経営層	3.0	

サブカテゴリー	2	サービスの開始・終了時の対応
---------	---	----------------

サブカテゴリー	2	評価項目	階層別	平均	階層別点数グラフ
サービスの開始・終了時の対応		サービスの開始にあたり子どもや保護者に説明し、同意を得ている	一般職員	3.0	
			経営層	3.0	
		サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている	一般職員	2.8	
			経営層	3.0	

サブカテゴリー 2 評価平均	一般職員	2.9	
	経営層	3.0	

サブカテゴリー	3	個別状況に応じた計画策定・記録
---------	---	-----------------

サブカテゴリー	3	評価項目	階層別	平均	階層別点数グラフ
個別状況に応じた計画策定・記録	定められた手順に従ってアセスメントを行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している	一般職員	2.9		
		経営層	3.0		
	子どもや保護者の希望と関係者の意見を取り入れた個別の支援計画を作成している	一般職員	2.7		
		経営層	3.0		
	子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している	一般職員	2.8		
		経営層	3.0		
	子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している	一般職員	2.7		
		経営層	3.0		

サブカテゴリー 3 評価平均	一般職員	2.8	
	経営層	3.0	

サブカテゴリー	4	サービスの実施
---------	---	---------

サブカテゴリー	4	評価項目	階層別	平均	階層別点数グラフ
サービスの実施		個別の支援計画に基づいて子ども一人ひとりの発達の状態に応じた支援を行っている	一般職員	2.6	
			経営層	3.0	
		子どもが食事を楽しめるよう支援を行っている	一般職員	2.5	
			経営層	3.0	
		子ども一人ひとりの状況に応じて生活上に必要な支援を行っている	一般職員	2.6	
			経営層	3.0	
		子どもの健康を維持するための支援を行っている	一般職員	2.8	
			経営層	3.0	
	子どもの主体性を尊重し、施設での生活が楽しく快適になるような取り組みを行っている	一般職員	2.6		
		経営層	3.0		
	家族との交流・連携を図り支援を行っている	一般職員	2.8		
		経営層	3.0		
	地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている	一般職員	2.4		
		経営層	3.0		
カテゴリ 4 評価平均			一般職員	2.7	
			経営層	3.0	

サブカテゴリー	5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重
---------	---	--------------------

サブカテゴリー	5	評価項目	階層別	平均	階層別点数グラフ
プライバシーの保護等 個人の尊厳の尊重	5	子どものプライバシー 保護を徹底している	一般職員	3.0	
			経営層	3.0	
		サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している	一般職員	2.8	
			経営層	3.0	

サブカテゴリ 5 評価平均	一般職員	2.9	
	経営層	3.0	

サブカテゴリー	6	事業所業務の標準化
---------	---	-----------

サブカテゴリー	1	評価項目	階層別	平均	階層別点数グラフ
情報の保護・共有に取り組んでいる	手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取組をしている	一般職員		2.2	
		経営層		3.0	
	サービスの向上を目指して、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている	一般職員		2.5	
		経営層		3.0	
	さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している	一般職員		2.6	
		経営層		3.0	

カテゴリ 6 評価平均	一般職員	2.4	
	経営層	3.0	

■自由意見(昨年と比べて良くなったと思う点)

昨年までは年1回運営協議会のメンバーによる業務評価と保護者アンケートが実施されていた。今年度より指定管理になったことで、第三者評価を受審することになり、業務評価は続けられるが、保護者アンケートは無くなった。

職員間の情報共有が整ってきている。

職員が少しずつながらも成長しているように感じている。

管理職が現場の子どもたちの姿を知る機会が増えた。

職員間の事業を超えての協力体制ができてきた。

■ 自由意見(特に良いと思う点)
一人ひとりの子どもや保護者に対して、支援を大切に真剣に取り組んでいる職員の姿勢。
各現場に指導的職員が配置され、職員の年齢構成が良い。
行事や企画、研修等のイベントが盛り沢山で、様々な経験を提供している。
サービス利用のシステムが整ってきた。
職員それぞれの役割が明確になってきたことで、事業運営がスムーズになってきた。
他機関との連携、会議等が整えられてきた。
子ども、保護者一人ひとりに合わせた支援を職員が心掛けている。
職員間で情報共有ができています。
職員全員で環境の整備を心掛けている。
経験豊富な管理職がスーパーバイザー的存在でいてくれること。
常に利用者を目線に立ち、対応、取り組みを行っている。
子どもの一人ひとりの事を考えて、どのように支援するべきか常に考えている点。
施設長の人柄(偉そうにしていない)。
オープンな職場環境。
設立して3年。地域の関係機関と顔の見える関係が築かれ、連携がスムーズになってきた。
実際の子ども・家族に合わせて柔軟な対応を検討できる。
職員が自分の発想、支援のアイデアを試す機会が多い。
打合せの時間が確保されている。
職員での話し合いができています。

■自由意見(特に改善したいと思う点)
センターとして、多機能事業の連携の在り方について、情報共有が難しい。
中長期計画について、市との連携及び地域から求められていることについて、各機関との役割の整理。
市の詳細計画に沿っての事業の運営を求められる為、なかなか法人色を利用者に向けて発信できない。
市との調整が多く、スムーズに事が運ばない事も多い。
市のセンターとして、他機関から求められる事も多く、連携が大変。
職員の育成計画に取り組み中である。
館内設備等の使い勝手の悪さ。
新しい職場であるため、各事業のマニュアルが未完成であり、現在作成中、急ぎたい。
就業時間の管理が曖昧。(タイムカードの利用がない)
サービス残業が多い。
施設の使い方を考えずに建物が作られている。(使い勝手が悪い)
地域や保護者から求められることも多く、期待されている中で、今後のセンターとしての役割を全職員が知る機会をもう少し増やしても良いと思う。
職員一人ひとりと育成計画について話す場が今以上にあっても良いと思う。
マニュアル的な物が少ない。どの職員でも対応できるわけではない。
OJTの機能がない。職員同士で指摘し合える雰囲気がない。
管理職間の分掌が分かりづらく、異なる指示が出ることもある。
専門性を高める取り組みが足りない。
マニュアルの整備。

福祉サービス第三者評価結果報告書(平成28年度)

年 月 日

東京都福祉サービス評価推進機構
公益財団法人 東京都福祉保健財団理事長 殿

〒 105-7110

所在地 東京都港区東新橋1丁目5番2号 汐留シティセンター10階

評価機関名 日本コンサルティング株式会社

認証評価機関番号

機構 07 - 178

電話番号 03-6686-8629

代表者氏名 吉岡 和守

印

以下のとおり評価を行いましたので報告します。

評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号	評価者氏名		担当分野	修了者番号
	①	■■■■■■■■■■	経営	H1401026
	②	■■■■■■■■■■	福祉	H0801001
	③	■■■■■■■■■■	福祉	H1301020
	④			
	⑤			
	⑥			
福祉サービス種別	障害児多機能型事業所			<input checked="" type="checkbox"/> 食事を対象にする
評価対象事業所名称	小金井市児童発達支援センターさらし			指定番号 1354100065
事業所連絡先	〒	184-0002		
	所在地	東京都小金井市梶野町1-2-3		
	TEL	0422-60-1550		
事業所代表者氏名	中村 悠子			
契約日	2016年 6月 1日			
利用者調査票配付日(実施日)	2016年 9月 23日			
利用者調査結果報告日	2016年 12月 1日			
自己評価の調査票配付日	2016年 6月 14日			
自己評価結果報告日	2016年 12月 1日			
訪問調査日	2016年 12月 14日			
評価合議日	2017年 1月 11日			
コメント (利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入)	利用者調査はアンケート調査を中心に行いました。アンケートの受審率を高めるために事業所の玄関に透明の鍵付きアンケートボックスを用意し、アンケート投函を促しました。本調査の目的を伝え、無記名であることを説明して安心してもらい、率直な意見を述べてもらえるよう努めました。			

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。
本報告書の内容のうち、

- 機構が定める部分を公表することに同意します。
 別添の理由書により、一部について、公表に同意しません。
 別添の理由書により、公表には同意しません。 クリア

2017年 3月 2日

事業者代表者氏名 中村 悠子

印

1	<p>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>1)誰もが利用しやすい発達支援センター 2)相談から療育までの一貫した支援のできる発達支援センター 3)各種機関の連携の核となる発達支援センター 4)早期に発見し、支援につなげる機能を持った発達支援センター 5)利用者等の意見を反映させた発達支援センター 6)発達支援事業の広報周知、理解啓発を行う発達支援センター</p>
2	<p>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</p> <p>（1）職員に求めている人材像や役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの人権を尊重し、子どもと家族の立場に立って支援を提供する。 ・専門性への追求と様々な問題にチャレンジする向上心を持つ。 <p>（2）職員に期待すること（職員に持って欲しい使命感）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児期から成人期さらに高齢になった利用者の成長と暮らしを支援してきたグループかがわの歴史と理念を踏まえ福祉の現状、動向を広い視野で見つめ利用者のニーズに応える。

調査対象

利用者全員を対象としました。

調査方法

利用者調査はアンケート調査を中心に行いました。本調査の目的を伝え、無記名であることを説明して安心してもらい、率直な意見を述べてもらえるよう努めました。

利用者総数

22

共通評価項目による調査対象者数

22

共通評価項目による調査の有効回答者数

18

利用者総数に対する回答者割合(%)

81.8

利用者調査全体のコメント

調査対象22名に対し、有効回答18名と81.8%の回答率を確保しました。
総合的な評価では「大変満足」が11人61.1%、「満足」が6人33.3%、「どちらともいえない」が1人5.6%、「不満」が0人、「大変不満」が0人、「無回答」が0人という結果となっています。施設に対する総合的なコメントを見ると、「信頼できる先生方に充実した療育をして頂き、大変満足です。通園事業の先生方以外にも、きらりの中には大勢先生がいらっしゃる、どの先生も優しく声をかけて下さいます。」「どの職員の方々もとても親切で、子どもも楽しく通園できているので大きな信頼を寄せています。」「日々細かい配慮の中、生活できているので、園でも家でも短時間で様々な成長が見られました。」など前向きなコメントがありました。一方で、「もう少し行事があってもいいかなという気もします。(親子参加できる)」という、コメントもありました。

利用者調査結果

共通評価項目 コメント	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 事業所に通うことが、子どもの身体の機能や健康の維持・促進の役に立っているか	17	1	0	0
回答割合は、「はい」が94.4%、「どちらともいえない」が5.6%、「いいえ」が0%、「無回答・非該当」が0%という結果となっています。自由意見では、「家庭では中々できない遊びなどを通じて、体力づくり、身体機能の向上ができています」という回答がありました。				
2. 事業所での活動は、子どもが興味や関心を持てるものになっているか	17	1	0	0
回答割合は、「はい」が94.4%、「どちらともいえない」が5.6%、「いいえ」が0%、「無回答・非該当」が0%という結果となっています。自由意見では、「毎日きらりに行けているので、少なくとも本人は楽しいと思っています」という回答がありました。				
3. 事業所に通うことが、子どもの情緒面での発達(感情のコントロールを身につける等)の役に立っているか	16	2	0	0
回答割合は、「はい」が88.9%、「どちらともいえない」が11.1%、「いいえ」が0%、「無回答・非該当」が0%という結果となっています。自由意見では、「子どもが話す言葉の数は非常に増えました。少しずつ言葉で伝えられるようになってきた様に思います。」「気持ちの切り替えが少しずつ出来るようになってきました。連絡票に書いてもらったりしています。」という回答がありました。				

4. 事業所に通うことで、子どもに社会性(人と人との関わり合いやルール等)が身についているか	18	0	0	0
回答割合は、「はい」が100%、「どちらともいえない」が0%、「いいえ」が0%、「無回答・非該当」が0%という結果となっています。自由意見では、「遊びを通じて順番を守ることや、物の貸し借りなど、ルールを学んでいると思います。」という回答がありました。				
5. 子どもの様子や支援内容(体調変化時の対応含む)について、事業所と情報共有できているか	16	1	1	0
回答割合は、「はい」が88.9%、「どちらともいえない」が5.6%、「いいえ」が5.5%、「無回答・非該当」が0%という結果となっています。自由意見では、「連絡帳のやり取りだけでなく、必要に応じて先生と直接話せること等、こまめに対応してもらっています。」という回答がありました。一方で、「発疹等あった際に考えられる病気や通院したほうが良いなどのアドバイスがあると、とても心強いと思います。」という回答もありました。				
6. 家族に対する精神的なサポート(子育てに関する悩み相談や進路相談、家族間交流の機会の提供等)は役に立っているか	14	3	1	0
回答割合は、「はい」が77.8%、「どちらともいえない」が16.7%、「いいえ」が5.5%、「無回答・非該当」が0%という結果となっています。自由意見では、「親の意見を尊重して頂けて有難いです。」という回答がありました。一方で、「先生方や相談員に子どもの進路についての意見をもっと言ってもらいたい気持ちがあります。」という回答もありました。				
7. 事業所内の清掃、整理整頓は行き届いているか	17	1	0	0
回答割合は、「はい」が94.4%、「どちらともいえない」が5.6%、「いいえ」が0%、「無回答・非該当」が0%という結果となっています。自由意見は、特にありませんでした。				
8. 職員の接遇・態度は適切か	14	4	0	0
回答割合は、「はい」が77.8%、「どちらともいえない」が22.2%、「いいえ」が0%、「無回答・非該当」が0%という結果となっています。自由意見では、「バスの送迎時に、いつも一生懸命やって下さっているのが、言葉や態度に表れていると思います。」という回答がありました。一方で、「子どもに渡す際、先生が投げているのを見た。」という回答もありました。				
9. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	15	2	1	0
回答割合は、「はい」が83.3%、「どちらともいえない」が11.1%、「いいえ」が5.6%、「無回答・非該当」が0%という結果となっています。自由意見では、「ケガをして帰ってきた時にバスで職員の先生がこうこうこういう理由でケガをしましたと伝えて下さります。以後、注意しますと伝えて下さっています。体調が悪そうな時はTELして下さいました。詳細に説明をして下さいました。」という回答がありました。				
10. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	14	3	0	1
回答割合は、「はい」が77.8%、「どちらともいえない」が16.7%、「いいえ」が0%、「無回答・非該当」が5.5%という結果となっています。自由意見では、「そのような場面に出会っていないので、わかりません。いつも、連絡票に一日の様子等を書いて下さっています。」という回答がありました。				

11. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	17	1	0	0
回答割合は、「はい」が94.4%、「どちらともいえない」が5.6%、「いいえ」が0%、「無回答・非該当」が0%という結果となっています。自由意見では、「子どものやる気がある所を活かしたいと思います、と言って下さっています。」という回答がありました。				
12. 子どものプライバシーは守られているか	13	4	0	1
回答割合は、「はい」が72.2%、「どちらともいえない」が22.2%、「いいえ」が0%、「無回答・非該当」が5.6%という結果となっています。自由意見では、「園に行ってみ学している訳ではないので、分かりません。」という回答がありました。				
13. 個別の計画作成時に、子どもや家族の状況や要望を聞かれているか	17	1	0	0
回答割合は、「はい」が94.4%、「どちらともいえない」が5.6%、「いいえ」が0%、「無回答・非該当」が0%という結果となっています。自由意見では、「前回の支援計画では、夫の考えや希望が生かされていると思いました。」という回答がありました。				
14. サービス内容や計画に関する職員の説明はわかりやすいか	15	2	1	0
回答割合は、「はい」が83.3%、「どちらともいえない」が11.1%、「いいえ」が5.6%、「無回答・非該当」が0%という結果となっています。自由意見では、「計画・サービス内容は支援計画の書類をもらっているので、サービス内容は連絡票に今日何をしたら書いてあります。また生活についての説明等も連絡票に書いてあります。」という回答がありました。一方で、「計画表は箇条書きのような簡潔な文をいくつか上げて、どこが出来て、どこが出来ていないのか、分かりやすく提示したほうが良いと思います。」という回答もありました。				
15. 利用者の不満や要望は対応されているか	14	3	1	0
回答割合は、「はい」が77.8%、「どちらともいえない」が16.7%、「いいえ」が5.5%、「無回答・非該当」が0%という結果となっています。自由意見では、「バスの送迎で病気のことで長時間乗れないことを伝えたところ、送迎の順番を変えて頂けました。」という回答がありました。一方で、「情報不足な事も多い。」という回答もありました。				
16. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	10	5	2	1
回答割合は、「はい」が55.6%、「どちらともいえない」が27.8%、「いいえ」が11.1%、「無回答・非該当」が5.5%という結果となっています。自由意見では、「今まで第三者にも相談しなければいけない内容でもなかったもので、あまり気にしていませんでした。」という回答がありました。				

調査対象

利用者全員を対象としました。

調査方法

利用者調査はアンケート調査を中心に行いました。本調査の目的を伝え、無記名であることを説明して安心してもらい、率直な意見を述べてもらえるよう努めました。

利用者総数

50

共通評価項目による調査対象者数

アンケート	聞き取り	計
50	0	50
31	0	31
62.0	0.0	62.0

共通評価項目による調査の有効回答者数

利用者総数に対する回答者割合(%)

利用者調査全体のコメント

調査対象50名に対し、有効回答31名と62.0%の回答率を確保しました。
 総合的な評価では「大変満足」が23人74.2%、「満足」が6人19.4%、「どちらともいえない」が1人3.2%、「不満」が0人、「大変不満」が1人3.2%、「無回答」が0人という結果となっています。施設に対する総合的なコメントを見ると、「いつも息子は行くのをすごく楽しみにしています。友達もたくさんできて気持ち良く過ごせていると思います。」「きらりでの生活は特に問題ないと思います。先生方の対応も素晴らしい。」「どの先生も優しく、誠意を持って子どもと接して下さっています。こちらの要望にも応えようと努力して下さいます。」など前向きなコメントがありました。一方で、「きらりでのびのびと過ごせることを期待しているが、学年が上がるにつれて同年代がいなくなり、宿題も多くなり、登所する時間も遅くなる。」「送迎はどうしても車になってしまうので、広い駐車場を設置して欲しいです。」という、コメントもありました。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答 非該当
1. 事業所での活動は楽しく、興味の持てるものとなっているか	27	3	1	0
回答割合は、「はい」が87.1%、「どちらともいえない」が9.7%、「いいえ」が3.2%、「無回答・非該当」が0%という結果となっています。自由意見では、「前日から「明日はきらり行くよ」と言っていたり、帰ってくると「きらり楽しかった」と、よく言っています。」「自由な行動より、指示行動の方が落ち着く場合があります。自由を尊重するきらりです。」という回答がありました。一方で、「楽しい時とそうでない時がある。」という回答もありました。				
2. 事業所での仲間との関わりは楽しいか	24	4	0	3
回答割合は、「はい」が77.4%、「どちらともいえない」が12.9%、「いいえ」が0%、「無回答・非該当」が9.7%という結果となっています。自由意見では、「良く話す友達がいる。」、という回答がありました。一方で、「お友達と一緒に遊ぶというのが、まだ余りできず、一人遊びが多いです。」という回答もありました。				

3. 職員は、話し相手や、相談相手になってくれるか	26	3	1	1
回答割合は、「はい」が83.9%、「どちらともいえない」が9.7%、「いいえ」が3.2%、「無回答・非該当」が3.2%という結果となっています。自由意見では、「みんな優しい。」という回答がありました。				
4. 事業所内の清掃、整理整頓は行き届いているか	31	0	0	0
回答割合は、「はい」が100%、「どちらともいえない」が0%、「いいえ」が0%、「無回答・非該当」が0%という結果となっています。自由意見では、「子どもは気が散りやすい性格ですが、きりりはいつも整理されている為、集中しやすいようです。」という回答がありました。				
5. 職員の接遇・態度は適切か	25	5	0	1
回答割合は、「はい」が80.6%、「どちらともいえない」が16.1%、「いいえ」が0%、「無回答・非該当」が3.3%という結果となっています。自由意見では、「子どもの問題行動や不適切な行動をしようとした時への、事前の指示をもう少し望みます。」という回答がありました。				
6. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	26	3	0	2
回答割合は、「はい」が83.9%、「どちらともいえない」が9.7%、「いいえ」が0%、「無回答・非該当」が6.4%という結果となっています。自由意見では、「細かいことも教えてもらえて信頼しています。」、「ケガをするようなことは無かった。」という回答がありました。				
7. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	22	7	0	2
回答割合は、「はい」が71.0%、「どちらともいえない」が22.6%、「いいえ」が0%、「無回答・非該当」が6.4%という結果となっています。自由意見では、「よく相談させてもらっています。」、「その時の状況や状態を分かりやすく、伝えて下さります。」という回答がありました。一方で、「普段の活動中は中に入れないのでわかりません。」という回答もありました。				
8. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	26	3	1	1
回答割合は、「はい」が83.9%、「どちらともいえない」が9.7%、「いいえ」が3.2%、「無回答・非該当」が3.2%という結果となっています。自由意見では、「子ども同士でトラブルがあった時、子どもの気持ちを汲んで配慮してくれています。」という回答がありました。一方で、「普段の活動は親は見学できないので分かりません。」という回答もありました。				
9. 子どものプライバシーは守られているか	25	2	0	4
回答割合は、「はい」が80.6%、「どちらともいえない」が6.5%、「いいえ」が0%、「無回答・非該当」が12.9%という結果となっています。自由意見は、特にありませんでした。				

10. 個別の計画作成時に、子どもや家族の状況や要望を聞かれているか	24	3	1	3
<p>回答割合は、「はい」が77.4%、「どちらともいえない」が9.7%、「いいえ」が3.2%、「無回答・非該当」が9.7%という結果となっています。自由意見では、「現在、家族の状況や要望を聞いて、作成して頂いています。本人の状態は良く見て頂いており、問題は全くありません。」という回答がありました。一方で、「利用する曜日を変更したいと伝えたと、待機している方々が優先となり、利用が難しいと言われました。市の決めた事なら、利用者のことを考えていないルールだと思う。」という回答もありました。</p>				
11. サービス内容や計画に関する職員の説明はわかりやすいか	26	2	0	3
<p>回答割合は、「はい」が83.9%、「どちらともいえない」が6.5%、「いいえ」が0%、「無回答・非該当」が9.7%という結果となっています。自由意見では、「問題ありません。」という回答がありました。</p>				
12. 子どもの不満や要望は対応されているか	20	4	3	4
<p>回答割合は、「はい」が64.5%、「どちらともいえない」が12.9%、「いいえ」が9.7%、「無回答・非該当」が12.9%という結果となっています。自由意見では、「子どもへの課題が簡単なのではないか」という回答がありました。</p>				
13. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	12	8	4	7
<p>回答割合は、「はい」が38.7%、「どちらともいえない」が25.8%、「いいえ」が12.9%、「無回答・非該当」が22.6%という結果となっています。自由意見では、「内容に関しては何の問題もなく、良い療育を受けていると感じています。」という回答がありました。一方で、「行政の対応があまり良くないので、きらりの方が対応して下さっていると感じます。このアンケートで第三者委員を知りました。」という回答もありました。</p>				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7、8)

No.	共通評価項目	
	カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 9/9
	評価項目1 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している 評点(〇〇〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している <input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている <input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている <input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど) <input type="radio"/> 非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている <input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している <input type="radio"/> 非該当
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点(〇〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている <input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している <input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている <input type="radio"/> 非該当

カテゴリー1の講評

事業所の基本理念・活動方針を明示し、職員及び保護者に周知しています

事業所の基本方針をホームページやパンフレット及び「利用案内」に掲載し、職員及び保護者に周知しています。職員に対しては、年度事業計画書や業務マニュアルに指導体制及び支援活動内容を明記するとともに、職員会議やミーティングを通じて周知徹底しています。また、保護者に対しては、入園時や保護者会及び個人面談を通じて支援活動の方針や支援内容の特徴を丁寧に説明しています。その結果、職員と保護者が連携して、児童発達支援及び放課後等デイサービスに取り組むことができます。

事業体制及び職員配置を明示し、管理者・職員の業務範囲を明確にしています

事業所の運営管理体制は「事業体制・職員配置」に明示するとともに、「職務基準書」及び「業務マニュアル」を基に指導体制及び管理者・職員の業務範囲を明確にしています。児童発達支援においては、クラス担当制をベースに各クラスごとに子どもの指導内容を明示しています。また、放課後等デイサービスにおいては、子どもに合った役割を持たせ活動に取り組んでいることを明示しています。その結果、管理者及び各職員は、子どもとその家族に寄り添い安心して生活ができるように支援することをベースに療育活動に取り組むことができます。

重要案件や課題は事業単位の会議で協議し、内容・経緯を全体職員会議で説明しています

事業所の重要案件や課題は、センター長及び副センター長が協議するとともに、案件の内容に応じて児童発達支援のクラスリーダーや放課後等デイサービスの指導員と検討し迅速に対応しています。また、日常業務に係る案件は、クラス会議やケース会議を通じて具体的な対応策を検討し、職員間で連携して対応しています。保護者に対しては、事案内容や経緯を「おたより」や「おしらせ」及び保護者会を通じて報告しています。その結果、管理者は事業所の実態を把握したうえで、適切な意思決定をすることができます。

2			カテゴリ-2	
経営における社会的責任				
サブカテゴリ-1(2-1)				
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる			サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4	
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している 評点(〇〇)				
評価	標準項目			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる			<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている 評点(〇〇)				
評価	標準項目			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 透明性を高めるために、地域の人々の目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に関する情報を開示している			<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2(2-2)				
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている			サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 7/7	
評価項目1 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある 評点(〇〇)				
評価	標準項目			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、個別相談など)			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っている			<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している 評点(〇〇〇)				
評価	標準項目			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている			<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 地域の関係機関との連携を図っている 評点(〇〇)				
評価	標準項目			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている			<input type="radio"/> 非該当

カテゴリー2の講評

事業所の支援活動情報を、ホームページや広報誌等を通じて広く発信しています

事業所の支援活動情報をホームページを通じて広く発信するとともに、毎月発行する「おたより」や案内パンフレット等を通じて地域関係者に情報提供しています。特に、児童発達支援に関しては、「基本的な生活習慣、運動機能、物事への興味関心」等を指導の目的とした療育の内容を明示しています。また、放課後等デイサービスに関しては、「将来を見据え、基本的な生活習慣や安定した人との関わりを支援する」ことを明示しています。特に、地域関係者との交流を通じて、児童発達支援センターとしての役割を認知してもらうことができています。

専門職派遣や実習生の受け入れ等を通じて、事業所の専門性を地域社会に還元しています

多機能型支援センター及び指定管理事業所としての機能をいかし、福祉関係者や市民向けの講演・研修会の開催や専門職の派遣等を実施しています。また、他団体からの見学を随時受け入れているとともに、施設の貸し出しを行っています。さらに、福祉関係の専門学校等の実習生の受け入れを定期的に行っています。実習生の受け入れは、職員の支援活動能力の向上に繋がっています。これらの取り組みを通じて事業所の専門性を地域社会に還元することで、事業所の活動を理解してもらうことができています。

地域の福祉関係機関と連携を図り、支援活動における協力関係の構築を推進しています

地域の自立支援協議会や心身障害児・者施設協議会及び地域療育連絡会等に参画し、福祉関係機関との交流・連携を深めています。また、児童発達支援センターとして、市の福祉計画を基に地域の課題を検討するための調整会議や協議会に参画しています。各種会議には、センター長及び副センター長が出席するとともに、専門領域ごとに職員を派遣しています。その結果、事業所の支援活動における地域の協力関係を築くことができています。また、地域福祉のネットワークづくりに対する職員の参画意識を高めることができています。

カテゴリ-3		
3	利用者意向や地域・事業環境の把握と活用	
サブカテゴリ-1(3-1)		
利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 8/8
評価項目1 利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む) 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
◎あり ○なし	2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる	○非該当
評価項目2 利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる	○非該当
◎あり ○なし	2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している	○非該当
◎あり ○なし	3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる	○非該当
評価項目3 地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる	○非該当
◎あり ○なし	2. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる	○非該当
◎あり ○なし	3. 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している	○非該当
カテゴリ-3の講評		
<p>保護者からの要望や苦情及び相談に迅速対応するための苦情解決体制を整備しています</p> <p>保護者からの要望や苦情及び相談に対しては、苦情相談窓口を設置するとともに第三者委員を選任し迅速な対応を図るための体制を整備しています。苦情解決制度に関しては、事業所内に制度の概要を掲示するとともに、保護者会等で利用契約書及び重要事項説明書を基に丁寧に説明しています。職員に対しては、職員会議等を通じて、苦情・要望に関する記録・報告を徹底し速やかに対応することを周知しています。特に、療育活動における要望や相談に対しては、職員間で情報共有し事業所全体で取り組むことを周知徹底しています。</p> <p>個別支援計画に基づき、子ども一人ひとりの到達目標に向けた支援を行っています</p> <p>子どもの療育に関する保護者の意向を保護者面談やアンケートを通じて集約し、個別支援計画に反映しています。個別支援計画書には、日常生活動作や運動機能、及び言語・コミュニケーション、対人・社会性、興味・関心等の項目ごとに状況や実態を記入するとともに、長期及び短期の具体的な到達目標と支援内容を明記しています。個別支援計画は全職員が共有化するとともに、半期ごとに経過を確認しクラス会議や職員会議で支援内容を検討しています。これらの取り組みを通じて、子ども一人ひとりへの適切な療育活動を行うことができます。</p> <p>福祉関係会議に職員を派遣し、地域の福祉ニーズ及び事業環境情報を収集しています</p> <p>地域の自立支援協議会や療育連絡会及び子ども家庭支援センター会議等へ職員を派遣し、地域の福祉ニーズや事業環境に関する情報を収集しています。収集した情報は職員会議等で報告して共有化し、療育活動に活用することを推進しています。また、福祉事業全体の動向や課題に関しては、法人施設長会やブロック運営会等で検討しています。今後の課題として、地域関係機関からの要望事項を整理するとともに、各職員が地域の福祉関係情報を主体的に収集し参画意識をより高めていくことを認識しています。</p>		

カテゴリ4		
4	計画の策定と着実な実行	
サブカテゴリ1(4-1)		
実践的な課題・計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 11/11
評価項目1 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している		
評点(000)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 年度単位の計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している		
評点(0000)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 着実な計画の実行に取り組んでいる		
評点(0000)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にするなど の取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを測る指標を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ-2(4-2)

利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる サブカテゴリ毎の
標準項目実施状況 **4/4**

評価項目1
利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる 評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 事故、感染症、侵入、災害などの事例や情報を組織として収集し、予防対策を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 事故、感染症、侵入、災害などの発生時でもサービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	○非該当
●あり ○なし	4. 事故、感染症、侵入などの被害が発生したときは、要因を分析し、再発防止に取り組んでいる	○非該当

カテゴリ-4の講評

療育現場の実態及び課題を把握し、年度事業計画・年間スケジュールを策定しています
 センター長は、前年度事業報告の総括を基に事業所運営の方向性を年度事業計画書に明示しています。年度事業計画の策定にあたっては、職員会議やクラス会議等を通じて療育現場の実態及び課題を把握し計画に反映しています。計画書には重点課題を明記するとともに、各事業における実施事項の内容を記載しています。また、実施スケジュールを月別に表示した年間予定表を作成し、職員及び保護者に提示しています。今後は、年度事業計画の策定段階において職員が主体的に参画し、各事業の重点実施事項を設定し計画化することが期待されます。

事業計画における重点実施事項の実行計画・実施手順を明示することが期待されます
 年度事業計画の実行段階では、年間・月別予定表を基に担当係及び役割分担を明示しています。また、担当職員は実施内容や進捗状況を職員会議で報告し確認しています。計画の実行においては、重点実施事項ごとに達成目標を明確にするとともに、実施担当者及び実施期間・期限を明確に設定することが期待されます。また、実行・達成に向けた実施手順・方法を職員間で検討し、各職員が実施事項の達成に向けた進捗管理を徹底していくことが期待されます。今後は、各職員の実施事項及び実行・達成状況を職員育成計画の策定に反映することが望まれます。

緊急時安全確保マニュアルを基に、事業所全体の安全対策を整備しています
 災害時における園児・児童及び職員の安全確保のため、「緊急時安全対策マニュアル」を作成し事業所全体の安全対策を整備しています。当事業所は市の福祉避難所として指定されており、市と連携した防災対策を推進しています。防災訓練は毎月実施し、隣接の保育園と合同訓練を行っています。施設内には消防関係の自動通報システムや消化設備を完備しています。また、事故・侵入・感染症に関しては、ヒヤリハット記録及び事故報告書を基にした再発防止、オートロックやモニター確認システムの導入、看護師と連携した感染症予防を徹底しています。

5			カテゴリー5	
5			職員と組織の能力向上	
			サブカテゴリー1(5-1)	
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる			サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	
			8/8	
評価項目1			事業所にとって必要な人材構成にしている	
			評点(000)	
評価	標準項目			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している		<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている		<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当	
評価項目2			職員の質の向上に取り組んでいる	
			評点(00000)	
評価	標準項目			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している		<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所の人材育成計画と職員一人ひとりの意向に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している		<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 個人別の育成(研修)計画は、職員の技術水準、知識、専門資格の習得(取得)などの視点を入れて策定している		<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員一人ひとりの個人別の育成(研修)計画に基づいて、必要な支援をしている		<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している		<input type="radio"/> 非該当	
			サブカテゴリー2(5-2)	
職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる			サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	
			7/7	
評価項目1			職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる	
			評点(000)	
評価	標準項目			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している		<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当	

評価項目2

職員のやる気向上に取り組んでいる

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材マネジメントを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる	○非該当

カテゴリー5の講評

療育の質向上を目的とした研修の実施と職員育成計画の策定に着手しています

職員の育成研修は、各職員の業務分担を明示し面談やアンケートを基に希望する研修の内容を把握したうえで提供しています。特に、期待する職員像である「子どもと家族の立場に立って支援する職員」の育成を基軸として各種の研修を計画しています。育成研修としては、法人本部主催の階層別研修やブロック内研修を受講するとともに、療育分野の外部研修を提供しています。研修終了後は、研修報告書を作成し職員会議等で報告し共有化しています。現在、「職員育成計画」の策定に着手しており、各職員の目標を明確にした個別育成に取り組んでいます。

各種会議での発言・発表の場を通じて、各職員のスキルアップを図っています

職員の育成においては、事業所の業務分担表を基に職員の担当業務を明確にするとともに、業務マニュアルや業務基準書を基に業務遂行の基本事項を明示しています。各クラスの療育現場では、OJTによる実地教育を計画的に実施しています。また、他の福祉施設や小学校及び特別支援学校の訪問・見学を実施しています。職員会議やクラス会議等においては、各職員の発言や提案及び発表等が活発に行われるように会議の進行を職員が主体的に行っています。特に、会議も職員育成の場として位置づけ、発言・提案・発表を通じてスキルアップを図っています。

各職員の就業状況や意向調査・面談を基に、モチベーションの向上を図っています

各職員の就業状況を把握したうえで面談やアンケートを通じて支援活動における意向・要望を集約し、職員のモチベーションの向上を図っています。特に、各職員の業務分担範囲や業務量を適正配分するとともに支援活動や事務処理等の効率化を図り、就業時間内で業務が終了することを推進しています。また、有給休暇や産前産後休暇・育児休業等への対応を迅速に行うとともに、職員の健康管理及び福利厚生面の充実に努めています。これらの取り組みを通じて、職員間の協力体制を築くことができています。

7			7		7	
7 情報の保護・共有						
サブカテゴリ-1(7-1)						
情報の保護・共有に取り組んでいる			サブカテゴリ毎の標準項目実施状況		7/7	
評価項目1 事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる 評点(000)						
評価	標準項目					
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している					<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・保管している					<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している					<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 個人情報、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している 評点(0000)						
評価	標準項目					
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している					<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 個人情報の保護に関する規定を明示している					<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 開示請求に対する対応方法を明示している					<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)が理解し行動できるための取り組みを行っている					<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ7の講評 事業所の重要情報はサーバー及び情報管理専用パソコンを使用し管理を徹底しています 事業所の重要情報及びデータは、法人ブロック内のサーバーを使用し、情報管理専用パソコンにアクセス権限及びパスワードを設定して厳重に管理しています。日常業務における業務用データや共有データは、業務用パソコンにパスワードを設定し担当職員が入出力の管理を徹底しています。各種データはファイルごとに区分し、各職員が迅速に活用できるようにしています。また、文書や資料等に関しては、情報の重要性や機密性の高いものは日常業務用の書類と区別し、専用キャビネットに保管して鍵の管理を厳重にしています。 事業所で取り扱う個人情報は、個人情報保護規程に基づき慎重に管理しています 事業所で取り扱う個人情報は、個人情報保護規程及び情報提供同意書に基づき慎重に管理しています。職員に対しては、入職時に個人情報保護法の主旨及び保護・管理の重要性を説明するとともに、職員会議等を通じて繰り返し周知しています。保護者に対しては、利用案内や個人情報保護規程を基に事業所の個人情報保護・管理体制を説明するとともに、情報提供同意書の重要事項を丁寧に説明しています。特に、他機関への情報提供の際には、情報提供同意書に基づいて保護者の同意を得ることを徹底しています。						

カテゴリ-8

8 カテゴリ1～7に関する活動成果

サブカテゴリ1(8-1)

前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている

- ・カテゴリ1:「リーダーシップと意思決定」
- ・カテゴリ2:「経営における社会的責任」
- ・カテゴリ4:「計画の策定と着実な実行」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

療育プログラムや環境設定の改善及び個別指導の導入により、支援内容を拡充しています

子どもの療育における長期及び短期の到達目標と支援内容を明確にし、個別支援計画を基にクラス単位の療育を推進しています。特に、児童発達支援においては、グループ指導の他に個別指導を導入し療育内容の充実を図っています。また、設備・環境整備の見直しを図るとともに多様な体験ができる行事を企画するなど、支援サービスの内容の充実に向けた取り組みを行っています。前年度と比べて、子ども一人ひとりへの適切な療育活動を行うことができています。

サブカテゴリ2(8-2)

前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている

- ・カテゴリ5:「職員と組織の能力向上」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

各事業の状況を職員間で共有するための会議を設定し、事業所の機能化を図っています

多機能型支援センターとして各種事業を展開していることから、各事業の内容及び現状を全職員が互いに把握できるようにするための会議を設定し機能化を図っています。特に、職員会議の他に職員全員が参加する「朝夕の申し送り会」や各事業の代表者による「担当部会」を設置し、利用者の状況や支援サービスの方針及び各事業の状況を職員間で共有化しています。また、各種会議における職員間の意見交換等を通じて、職員のスキルアップを図っています。前年度と比べて、各職員が事業所全体の情報や課題を共有することができています。

サブカテゴリ3(8-3)

前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている

- ・カテゴリ6:「サービス提供のプロセス」
- ・カテゴリ7:「情報の保護・共有」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

スケジューラーの導入及び事務所ボードの改善により、事業所の伝達機能を高めています

管理者及び職員・利用者のスケジュールや出欠状況を集約する管理システムを導入し、事業所内における伝達機能を高めています。特に、パソコンで管理者及び職員の予定を一元管理するスケジューラーを導入し、各種事業及び担当者の予定管理を拡充することができています。また、事務所ボードに、職員及び利用者の出欠表を導入し、情報の集約化を図っています。前年度と比べて、管理者及び職員の予定及び相談・外来等の予定を把握しやすくなり、職員間の伝達機能が向上しています。

サブカテゴリ-4(8-4)

事業所の財政等において向上している

評価項目1

財政状態や収支バランスの改善へ向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がっている

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

利用者数及び利用率の安定化と運営管理費の節減により、収支バランスは改善しています

事業所の予算管理を徹底し、利用者の安定確保と運営管理費の節減に取り組んでいます。利用者数に関しては予算通りの確保ができており、利用率も市の基準を保持しています。本年度より指定管理運営となったことから、市との調整・協議を通じて運営管理を行っています。運営管理費に関しては予算管理を徹底し、予算執行率の報告を定期的に行っています。前年度と比較して、各種行事における費用の使い方や節電への意識が高まり管理費の節減ができていることから、収支バランスは改善しながら推移しています。

サブカテゴリ-5(8-5)

前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリで評価される部分において改善傾向を示している
 ・カテゴリ-3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

利用者の要望を集約し、支援サービスの内容及び受け入れ体制の整備に取り組んでいます

療育活動に関する保護者からの意見や要望を保護者会や個人面談及び利用者アンケートから集約し、児童発達支援及び放課後等デイサービスの支援プログラムの内容及び受け入れ体制を整備しています。特に、支援時間内に個別指導の枠を設けるとともに、時間延長保育の希望に応えるための受け入れ体制を拡大しています。また、日常の療育活動において各職員が気づいたことを共有し、支援活動の改善に繋げています。前年度と比べて、保護者からの要望を聴く機会を多く設け、保護者の意向に沿った支援サービスを提供することができています。

II サービス提供のプロセス項目(カテゴリー6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリー1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 4/4
評価項目1 子どもや保護者等に対してサービスの情報を提供している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもや保護者が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 子どもや保護者の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー1の講評		
<p>地域の児童発達支援のニーズが高まり、パンフレットや電話で活動内容を伝えています きらりは平成25年10月に開所しており、法人が運営を受託しています。総合支援法による事業の他、小金井市独自の事業の展開があり、関係機関とともに地域の児童発達支援の課題を担っています。保護者や有識者等で構成する小金井市児童発達支援センター運営協議会の支援からノウハウを積み、平成28年4月より法人が市の指定管理者(運営主体)となりました。発達支援に関する社会的な啓発が進み、早期療育のニーズが毎年高まってきているため問い合わせも多く、きらりではパンフレットや電話で活動内容を伝えています。</p> <p>家族は子どもが生涯にわたる支援を受けられるように「さくらシート」を活用しています 小金井市ホームページ(健康・福祉)では子どもの「こんなことが気になるときは」と事例をイラストで紹介し、相談先としてきらりの施設概要や実施事業を掲げているほか、「さくらシート」の活用を呼びかけています。「さくらシート」は子どものライフステージを見据え、一貫した切れ目のない支援を受けられるよう健康や生活の様子を記録し、必要な時に必要な情報を支援者に伝えられるよう家族が相談しやすいように作られています。法人ホームページやパンフレットの写真で、利用の流れ、事業内容、施設平面図等を確認できるようにしています。</p> <p>相談支援事業所が窓口となり情報を集約し、問い合わせや相談、見学への対応を行います 子どもの利用を検討している保護者からの問い合わせや見学の要望があった際は、個別の状況に応じて対応しています。保護者は最初不安な気持ちで事業所に連絡をすることが多いため、事業所では保護者の気持ちを受け止めてサポートするように心掛けています。そのため、まずは相談支援事業所が窓口となることが多く、問い合わせや見学等の一般相談と、予約を原則とした専門員による専門相談から情報を収集しています。事業所への見学希望者は多く、直接相談のあった保護者の他、医療機関や教育機関、行政機関等からの見学者も受け入れています。</p>		
サブカテゴリー2		
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 7/7
評価項目1 サービスの開始にあたり子どもや保護者に説明し、同意を得ている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を子どもや保護者の状況に応じて説明している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. サービス内容や利用者負担金等について、子どもや保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスに関する説明の際に、子どもや保護者の意向を確認し、記録化している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(0000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. サービス利用前の生活をふまえた支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	4. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	○非該当

サブカテゴリー2の講評

利用前の見学や面談時から子どもの生活情報を細かく収集しています
 保護者からの連絡は最初の電話相談から始まります。利用前の見学や面談の印象、子どもの動きを含めた全てをカルテに残し、個別にファイリングしています。子どもの発達状況を確認するため、本人の行動や様子を観察したり、利用前の生活情報を細かく収集し、家庭での様子を把握することで、アセスメントへの準備をしていきます。利用後1～2ヶ月間での事業所の様子や保護者からの情報で、さらに細かいアセスメントを実施しています。面談は子ども同伴で行い、本人や保護者のニーズを収集し、今後の支援に活かすようにしています。

利用後の子どもの不安やストレスが軽減するようなプログラムを用意しています
 利用開始にあたっては保護者に利用案内、パンフレット、利用契約書、重要事項説明書等を提示し、分かりやすい説明を心掛けています。負担金については丁寧に説明し、契約締結後の書類は双方で保管しています。利用開始の受入体制では担当者の配置を十分に検討し対応しています。子どもが環境に徐々に慣れ、不安やストレスを軽減できるように毎日の日課をなるべく一定にすることで、一日の見通しが立ち安心を与えられるようプログラムを用意しています。保護者への相談・連絡はきめ細かく行い、職員間で情報を共有して対応できるようにしています。

サービスを終了しても希望があれば、引き続き受けられる支援があることを伝えていきます
 サービスを終了しても、希望する場合は継続した支援を受けられることを子どもや保護者に伝えていきます。サービスが終了する主な理由は就学になり、子ども達は自分に合った就学先に進むため、事業所では就学先の学校とこれまでの療育内容について引継ぎを行っています。また、児童発達支援を利用後、小学校に就学した利用者が希望すれば、きらりの実施する放課後デイサービスを新たに週1回利用する事ができます。このように、利用者は希望をすれば継続した支援を受けることができるため、本人の不安を軽減する対応や助言を行うことができます。

サブカテゴリー3

3	個別状況に応じた計画策定・記録	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	11/11
---	-----------------	-------------------	-------

評価項目1 定められた手順に従ってアセスメントを行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し、把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 子ども一人ひとりのニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当

評価項目2 子どもや保護者の希望と関係者の意見を取り入れた個別の支援計画を作成している		評点(0000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 計画は、子どもや保護者の希望を尊重して作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	2. 計画を子どもや保護者にわかりやすく説明し、同意を得ている	○非該当
●あり ○なし	3. 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直している	○非該当
●あり ○なし	4. 計画を緊急に変更する場合のしくみを整備している	○非該当

評価項目3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している		評点(00)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当
●あり ○なし	2. 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当

評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(00)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当
●あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもに変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○非該当

サブカテゴリ3の講評

子どもの状況や保護者の要望等のアセスメントを事業所で工夫した書式で管理しています

子どもの発達や生活の様子は利用前の面接時に、生活全般でアセスメントができるよう、事業所の書式を工夫して使用しています。そのため、成育歴や摂食・睡眠・食事の状況、医療に関する配慮事項、子どもや保護者の要望等を確認しているため、子ども一人ひとりの支援ニーズを明確に捉えています。ケース会議でもこの書式を活用し、子どもの様子について確認する他、支援方法を議題に挙げるなど、年度の途中でも支援を見直しており、児童発達支援管理責任者と施設長が内容を確認しています。

アセスメントを基に作成された個別支援計画に沿って、職員は療育を行っています

個別支援計画は支援目標と支援方法を記述し、個々の目的を明確にすることで、具体的な取り組み方法を分かりやすくしています。クラス会議やケース会議等、職員間で十分協議の上、児童発達支援管理責任者が計画策定者となり、子どもや保護者に説明をして、同意の押印を得ています。また、個別支援計画に沿って6ヶ月毎に中間・まとめの個別面談を行っています。計画の途中で子どもの成長や変化に応じて支援内容の変更が必要となった場合は、児童発達支援管理責任者の発議で職員間で協議し、保護者と話し合い計画変更の理解と協力を得ています。

一人ひとりの子どもの状況を職員間で共有し、保護者にも日々様子を伝えていきます

事業所の支援は年齢別に「それ」「にじ」「かぜ」の3クラスとなり、各クラスとも複数担任制をとっています。子ども一人ひとりの様子は朝の会や帰りの会を通じてクラス毎に把握しています。子どもの体調の変化や家庭での様子、保護者の思いを含めて職員間の申し送りや引継ぎで緊密に話し合い、必要な関わりを速やかに実行できるよう情報を共有することに力を入れています。また、都の指導で保護者には毎日サービス提供状況を報告し、押印を得ることになっています。この記録は家庭への連絡帳も兼ねており、週間記録と合わせて子どもの様子を伝えていきます。

サブカテゴリー5

5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	8/8
---	--------------------	-------------------	-----

評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(000)
------------------------------	--	---------

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外とやりとりする必要がある場合には、子どもや保護者の同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	2. 日常の支援の中で、子どものプライバシーに配慮した支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている	○非該当

評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している		評点(00000)
---	--	-----------

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 日常の支援にあたっては、個人の意思を尊重している(子どもが「ノー」と言える機会を設けている)	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	○非該当
●あり ○なし	3. 虐待被害にあった子どもがいる場合には、関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	5. 施設内の子ども間の暴力・いじめ等が行われることのないよう組織的に予防・再発防止を徹底している	○非該当

サブカテゴリー5の講評

個人情報保護規程を設け、子どもや保護者に配慮した支援・サービスを行っています
 子どもに関する情報を外部に伝える場合、事業所では個人情報を取り扱う場合の基本ルールとして「個人情報保護規程」を定めており、「業務マニュアル」に記載しています。そのため、子どもたちは事業所内で名札を付けたり、外出する際も名札を付けることはありません。また、絵カードや本人の持ち物などに名前の表記をする時はフルネームを使うことはありません。このように、事業所では個人情報には配慮した対応を行っており、サービス開始時に保護者から「情報提供同意書」の提出を受けています。この同意書は毎年更新して保管しています。

日々の療育を振り返りながら、子どもの気持ちを傷つけないよう対応しています
 子どもの気持ちを傷つけるような事が無いよう、事業所では組織的な防止対策を行っています。職員の言動が子どもを傷つけたり、虐待に当たらないか、職員相互で確認し合っています。子どもへの接し方や話し方を十分に気を付けたとしても、子ども一人ひとりに個性があるため、配慮が必要です。例えば、大きな音が苦手な子や触覚に過敏な反応をする子などがいる場合、通常支援以外にも内科健診や歯科検診がある際でも配慮が欠かせません。そのため、身体拘束が必要な際になる場合も想定し、事前に保護者の同意を書面で得るよう対応をしています。

人権や虐待防止に関する内部研修を実施していますが、更なる意識改革を検討しています
 職員に対して、人権や虐待防止法に関する内部研修を実施しています。子どもにとって信頼できる大人や仲間の中で、安心して過ごせる場所となっているか、事業所内で子どもの虐待防止ガイドラインを作成しています。虐待を生む背景を知り、虐待に繋がる関わり方が何かを理解するように、職員一人ひとりに対して虐待防止の意識付けを浸透させたいとしています。そのため、今後は虐待防止マニュアルや虐待防止チェックリストを使用し、全職員が日々の業務を振り返りながら参加する研修や、自由闊達に話し合える場を設けたいとしています。

評価項目1

手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている

評点(○○●)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうかを定期的に点検・見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2

サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている

評点(○○●)

評価	標準項目	
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や子ども・保護者等からの意見や提案を反映するようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

評価項目3

さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している

評点(○○○○○)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した支援ができるようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリー6の講評

危機管理上の事故防止策を立て、子どもが安全で快適な環境づくりを目指しています

危機管理面から「緊急安全マニュアル」、「防災マニュアル」を整備しているほか、建物自体も不審者侵入等に強いセキュリティになっています。緊急時の避難訓練として毎月上履きのまま避難場所に行く訓練を行ったり、建物周辺を含んだ各場所ごとに防災点検を行う等、事故が起こらないよう点検手順を設け、不測の事態に備えています。また、事故報告書や苦情報告書の記録から実例を整理し、毎月の職員会議で事故報告とヒヤリハットを発表しています。事故が起きた際は再発防止に向けて原因究明を行い、職員で話し合って業務の見直しを図っています。

職員の担当役割を明確化して、多様な業務に対応する業務マニュアル作りを進めています

子ども達の発達支援の場として現在、就学前22名、就学児童50名を対象に療育を提供しています。そのため、療育方針や指導方法、療育プログラム等、療育の日課として行う基本的な確認事項については各クラスや担当職員の係や役割において話し合いを重ね、業務マニュアルの作成を進めています。職員アンケートには「業務に関するマニュアルが少ない」、「OJTが実施しにくい」等の意見が挙がっていることから、事業所で提供するサービス水準を高めるために日常業務を細かく分類するような手引書の完成が期待されます。

研修参加の機会を設け、日々の療育実践が大きな学びの場となるよう取り組んでいます

職員研修として法人内では階層別研修や新人研修などを行っています。また毎年、法人では各事業所の職員が取り組んだ様々な療育課題についての発表をまとめ、「かがわの実践」として冊子にして職員に配布しています。困難ケースへの対応やケースカンファレンス実施など様々なノウハウの詰まった内容に仕上がっていて、職員一人ひとりがテーマを決め、必ず発表をすることになっています。また事業所が主催して行うOTやST等による一般市民向けの講演会や支援者向け学習会を開催するほか、自己啓発のための研修に職員が参加し、学びを深めています。

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

サービスの実施項目		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況
		27 / 27
1 評価項目1 個別の支援計画に基づいて子ども一人ひとりの発達の状態に応じた支援を行っている		
評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 個別の支援計画に基づいた支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもの特性に応じて、コミュニケーションのとり方を工夫している	○非該当
●あり ○なし	3. 関係機関(教育機関、福祉関係機関、医療機関等)と連携をとって、支援を行っている	○非該当
評価項目1の講評		
<p>年齢別に小集団を編成し、一人ひとりの発達を意識しプログラムを活用して支援します そら(2歳)・にじ(3~4歳)・かぜ(年中・年長混合)の3クラス編成で、子どもの成長を促す療育を提供しています。子ども一人ひとりの特性に応じたコミュニケーション手段として、言葉以外でも絵カードやイラスト、写真を使った支援を早期から取り入れるほか、マグネットボードに1日の行動スケジュール表を示し、分かりやすく見通しを持たせる生活プログラムを提供しています。小集団からなるクラス共通の支援と子ども一人ひとりに応じた個別支援計画に基づいた支援を実施しており、職員は日々の支援の振り返りを行っています。</p> <p>個別支援計画に基づき、子どもとのコミュニケーションに工夫を重ね支援しています 子どもの気持ちを汲んで丁寧な関わりを基本にしており、排せつや食事、着替えなど、子どもの段階に応じて目標を立てて進めています。そのため、職員は子どもとの話し方を短く、分かりやすい単語で具体的に伝えたり、安心できるように穏やかに接したり、工夫を重ねています。また、子どもの段階に応じて、個別学習を取り入れています。コミュニケーションスキルや生活習慣スキルの指導、支援方法や進め方、教材なども個々のペースや指導の目的によって変えており、子どもたちの反応について職員間で情報共有しています。</p> <p>地域に不可欠な存在であり、関係機関と連携を深めることで、情報共有をしています 児童の発達を専門とする医療機関が地域で少ない状況もあり、事業所では囁託医による医療相談の機会を設けています。近年、発達支援への関心が高く、事業所では開所以来、様々な課題を抱えながらも保護者ニーズに応えていることで、地域に不可欠な存在となってきました。事業所には他法人からも様々な相談や支援の助言等を求める依頼が多いため、可能な限り応じています。また、教育機関との連携も実施しており、校長会や支援コーディネーターの会議に出席し、情報の共有を行っています。</p>		
2 評価項目2 【食事の支援がある事業所のみ】子どもが食事を楽しめるよう支援を行っている		
評点(〇〇〇〇〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 食事時間が楽しいひとときとなるよう環境を整えている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもの状態やペースに合った食事となるよう、必要な支援(見守り、声かけ、食の形態や用具の工夫等)を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもが安全に食事をとれるよう取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	4. 食物アレルギーや疾患等については、医師の指示に従い、対応している	○非該当
●あり ○なし	5. 食についての関心を深めるための取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	6. 子どもの状況をふまえ家庭での食事について助言を行っている	○非該当

評価項目2の講評

食べることを楽しむ雰囲気づくりを大切に、給食レシポを保護者に紹介しています

事業所内に給食室を設け、子どもの成長に必要なバランスの良い食事と季節感にあふれ日本の伝統食を大切にメニューを提供しています。食事中は楽しい雰囲気作りとして、みんなの顔が見えるように向かい合って座ります。みんなで手洗い、配膳をしてから「給食の歌」を歌い、これから食事をする意識を持たせて「いただきます」をします。給食メニューは保護者向けにレシポを紹介しているほか、保護者参観で親子で一緒に給食を食べることで、保護者に味付けや栄養バランスを知ってもらい、家庭からの情報も得る機会を設けています。

子どものアレルギーや体力に配慮し、安心できる食事提供を心掛けています

献立表に食材を細かく表示し、食材の働きをたんぱく質、炭水化物、ビタミン・ミネラルなどに分けて記載しています。食材アレルギーを持つ子どもの中には、保護者に献立表を事前に配布し、食材の内容をチェックしてもらいます。個別の対応や配慮が必要な場合は申し出てもらっており、アレルギー対応としては除去食での提供をとっています。食形態は刻み・すりつぶし・ペーストなど個別対応が可能です。子どもの体力に合わせて食事の量を少なくしたり、嚥下の遅れがある場合は食事を小分けにして、ゆっくり食べるように支援しています。

3 評価項目3

子ども一人ひとりの状況に応じて生活上に必要な支援を行っている

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 身の回りのことは自分で行えるよう、必要な支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 基本的な生活習慣や社会生活上のルール等（あいさつ、マナー、交通ルール等）を身につけられるよう支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 集団活動を取り入れるなど、子どもの心身の発達や社会性が育つよう支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	4. 一人ひとりの有する能力を活かせるよう個別のプログラムを実施している	○非該当
●あり ○なし	5. 送迎は、子どもと保護者等の状況に応じて送迎方法を検討し、行っている	○非該当

評価項目3の講評

身辺の自立については具体的な計画も小さな目標から達成できるようにしています

生活習慣スキルの向上、集団への参加、コミュニケーションの支援を大きな柱として位置づけ、個々の子どもの発達に応じて段階を工夫した計画を立てています。例えば、言葉が出にくい子どもも絵や写真のカードを使ったり、指や体を使ったサインで表現することで、自分の欲求を伝えられるようにしています。また、子どもが意欲的に取り組めるよう、達成可能な小さな目標から始めています。例えば、排せつや着脱・食事・歯みがき等も行動を細分化し、本人が一つひとつ動作を確認できる形で提示することで理解を促し、目標を一つずつ達成していきます。

集団活動に課題を設定し、子ども達が人との関わりが楽しくなるよう支援しています

事業所では子どもの心身の発達や社会性が身に付くよう集団活動にも力を入れています。子どもたちが人との関わりが楽しくなるよう個別のグループ分けをして集団課題を設定し、身体接触を伴う遊びやサーキット、楽器活動、制作活動など行います。みんなでやることを継続して指導することで、社会(集団)のルールやマナーが向上するように支援しています。コミュニケーションの取り方が苦手な子どもでも、やり方が分かれば自分から関わりを持とうとする一面があります。職員は子どもからのサインを察し、タイミングよく応じられるよう心掛けています。

子どもが「分かって行動する」ことができるよう、自然に意識が持てる支援をしています

子どもが不安を感じないように、入り口やみんなが見えるところにマグネットボードを設置し、絵や写真のカードを使って分かりやすく1日の行動スケジュール表を掲示しています。また、その日やるべきことをイラストで優先順位をつけておくことで、子どもたちは段々と自分で予定を確認して行動ができるようになります。職員は終わった作業カードをボードの隅の箱に入れることで、子ども達に作業が終わったことを暗示します。このように療育の内容に応じてボードの内容やカードの枚数を増やすなど、療育プログラムとして取り組んでいます。

4 評価項目4 子どもの健康を維持するための支援を行っている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの健康状態について、保護者や医療機関等から必要な情報を収集している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもの状態に応じた健康管理を行い、体調変化に速やかに対応できる体制を整えている	○非該当

評価項目4の講評

定期的に健診や医療相談などを行うことで、子どもの健康状態を把握しています
 月1回の身体測定(体重・身長)と年2回の嘱託医による健診(内科・歯科・整形外科)の他、児童精神科医による医療相談を年4回実施しています。子どもの健康記録はファイルに保管し、入所時の相談や引継時のアセスメント、医療機関から寄せられたデータなども収めています。子どもの健康状態や身体の機能は、これらの情報を基に把握し、支援に活かしています。また年2回の歯科検診を実施した後は歯科衛生士による保護者向け口腔ケア講習会に参加してもらいます。受講後は子どもの口腔状態が100%向上していると保護者から報告を受けています。

子どもの健康情報を収集したり、「ほけんだより」を発行し、健康管理を促しています
 保護者との連絡帳でやり取りをすることで、家庭での様子を把握するようにしています。連絡帳には睡眠や朝食、排せつ、与薬状況、健康状態、検温などを記録してもらい、通所後、特に様子を見る必要がある際は伝えてもらうほか、保護者からの健康相談などを看護師が受けています。毎月発行する「ほけんだより」ではインフルエンザ、ノロ、ヘルペス、マイコプラズマ肺炎等の感染症を説明したり、集団感染の予防を伝えています。また、登園バスの中にも感染症に関して注意喚起のポスターを貼っています。

医療機関と連携し、子どもの急な体調の変化にも対応できる体制を構築しています
 通所後の発熱や発作など、子どもの体調変化には緊急安全時確保マニュアルに従い対応をしています。その際、看護師や管理職が保護者に連絡し、子どもの体調が良くなるよう助言や対応をしています。また、子どもの体調に急変がみられた場合、保護者や関係者と連絡を取り、速やかに嘱託医や協力医療機関、保護者の指定する医療機関での診察を受けるなど、緊急時の対応をすることになっています。このように事業所では子どもと保護者が安心できる支援体制を整え、療育を提供できるよう取り組んでいます。

5 評価項目5 子どもの主体性を尊重し、施設での生活が楽しく快適になるような取り組みを行っている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 日常生活の支援は子どもの主体性を尊重して行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが安心して活動できるよう、状況に応じて室内の環境を工夫している	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもの状況や希望に沿って、多様な体験ができるようにしている	○非該当
●あり ○なし	4. 【放課後等デイサービス】 子どもの状況に応じて利用日や利用時間を設定している	○非該当

評価項目5の講評

子どもが安心して行動できるよう室内の環境を整え、レイアウトなど配慮しています
 子どもが安心して過ごせるよう室内の環境に工夫をし、活動内容に応じて机の位置や遊びのスペース等、室内環境のレイアウトを変更しています。クラスの机の配置を前向きにしたり、給食の時には机を向い合せにするなど、場面に合わせてレイアウトを固定することで安心する子どももいるため、職員は配慮して対応しています。また、子どもがみんなと一緒の遊びや活動をしたくない時は少し離れた場所にある椅子に座れるよう場所を作ったり、一人で静かに休息をとるスペースが必要な子にはパーテーションで安心できる空間を作る等、工夫をしています。

日帰りの登山やお泊りチャレンジ等、子どもが様々な体験を積める機会を設けています
 子どもが通常のカリキュラム以外でも多様な経験ができるよう取り組んでいます。事業所内の設備や遊具も子どもたちが安全に遊べる様に配慮しています。また、子どもの体力づくりの一環として毎年10月に日帰りで山登りを行っています。子ども同士で声を掛け合ったり、手をつないだり、子どもの成長が見られることがあります。「かぜクラス」になるとお泊りチャレンジがあり、職員と事業所に泊まる機会を設けています。夕食は外食をしたり、翌日の朝食をみんなで手作りして楽しんでいます。

放課後等デイサービスでは、子どもが強みや意欲を持って過ごせるよう支援しています
 放課後等デイサービスは小学生が週1回の頻度で開所時間(14:00~18:00)内であればいつでも利用できます。お迎え時に保護者と話しができるため、現在抱えている悩みや相談について、具体的なエピソードから困っているポイントを把握し、専門職と共有しています。心理職との面談では子どもに対する捉え方を、OTの検査からは運動感覚面の理解を深めてもらいます。子どもの生活ベースである家庭と学校という環境の中で、本人の特性に対する理解が広まり、安心して過ごせるようになって欲しいと考え、自信が持てるように支援しています。

6 評価項目6 家族との交流・連携を図り支援を行っている		評点(0000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どものサービス提供時の様子や家庭での普段の様子を家族と情報交換し、支援に活かしている	○非該当
●あり ○なし	2. 家族の意見や要望を活かした支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 家族の状況に配慮し、相談対応や支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもや家族に合った療育方法等について助言している	○非該当

評価項目6の講評

事業所は子どもの早期療育から、同じ悩みを持つ親同士を支え、繋がる場になっています

事業所では子どもを通所させる保護者の気持ちに寄り添いながら、子どもの家庭での様子や事業所での様子等を情報共有し、子どもの支援に活かしています。特に子どもの発達については、地域で専門的に相談ができる場所が少ないという状況があります。そのため、事業所では地域の発達に心配がある子どもの早期療育を行い、保護者も安心できるように支えています。また、親子遠足や保育参観、給食試食会、保護者会等で同じ悩みを持つ保護者同士の繋がり場を設けることで、みんなで支え合える環境づくりをしています。

子どもの良いところを褒めて、人との関係が安定するよう支援しています

子どもたちが社会スキルを身に付けていく場として、事業所では子どもの毎日の様子を家族と共有し合い、サービス提供記録に記しています。人との関係が良いもので楽しいと感じてもらえるように、子どもの良い行動を効果的に褒めたり勇気付けたりすることで、家庭や外でも人間関係が安定するよう支援しています。個別支援計画を作成する際の面談や各行事の際に行うアンケートでは、保護者の要望や意見を留意し、それらを反映できるように工夫しています。また、保護者には毎月「おたより」で事業所の活動を伝えています。

保護者からの意見や要望は受け止め、事業所運営の仕組みへの理解も促しています

事業所では保護者に対して定期的にアンケートを実施しており、意見や要望に留意して支援に取り組んでいます。平成27年度運営協議会の資料には保護者アンケートについて、「給食費に関して、1食あたりの負担額が高い」との意見がありました。また、今回の第三者評価利用者調査でも「利用料の支払方法が不便」との意見がありました。費用や支払については利用開始時に重要事項説明書で保護者に説明し、了解の押印を得ていますが、このような意見がある以上、繰り返し継続して理解をしてもらえるような対応をすることが期待されます。

7 評価項目7 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の情報を収集し、子どもの状況に応じて提供している	○非該当
●あり ○なし	2. 必要に応じて、子どもが地域の資源を利用し、多様な体験や交流ができるよう支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 【児童発達支援センター】 地域全体の在宅障害児や関係機関等を対象に、施設・設備や人材・プログラムを有効に活用した支援を実施している	○非該当

評価項目7の講評

地域における子どもの発達を支援する講演会を開催し、保護者の関心を高めています

隣接の保育園とはクラス交流をしたり、近隣の公園で遊んだり、合同の防災訓練を開催する等、子ども同士が交流できる場を設けています。また、地域市民に向けて発達に偏りや心配のある児への理解や啓発を目的とした講演会を行い、平成28年度は「足の発達」と「遊びの発達」をテーマとしています。他にも市内の幼稚園・保育園・学童保育所向けの支援者研修会では「保護者とより良い関係を築くために」をテーマに、講義とグループワークを取り入れ行いました。年3回のセンター利用者の保護者向け学習会では、OT・ST・臨床心理士が担当しています。

地域の巡回相談で発達支援に対する理解を深め、支援の輪を広げるのに一役担っています

児童発達支援センターの役割として、保育所等に訪問支援する事業や支援員が地域の学童保育所に出かけ、指導にあたる巡回相談を行っています。一般的な保育園や幼稚園の中には発達に偏りや心配がある子どもに対する基本的な理解や支援方法、環境設定等に課題がある場合があります。そのため、まずは子どもを支援する園や職員に対して、発達支援に対する啓蒙を行っています。そのような子どもにはどのような支援が必要なのか、基本から丁寧に説明することで理解の促進を図り、支援の輪を広げていくのに一役担っています。

地域全体の発達に心配のある子ども達と保護者への支援を展開しています

専門職PT、OT、ST、心理士による外来訓練・親子通園事業の実施、相談支援専門員による一般相談・計画相談を実施するなど、地域全体の発達に心配のある子どもと保護者への支援を展開しています。外来訓練事業は他に母園をもつ子どもが専門的な訓練を受けられるため、現在はニーズが高まっており、待機児童が多い状況です。親子通園事業では療育のスタートになるため、経験豊富な臨床心理士が担当しています。事業所では職員一人ひとりが専門的な役割を担い、職員同士が連携を深めることで、子どもと保護者に向き合っています。

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	5-1-2	職員の質の向上に取り組んでいる
タイトル①	療育の質向上を目標に、職員育成計画に基づく研修及び個別育成に取り組んでいます	
内容①	職員の育成は、業務マニュアル及び業務基準書を基に業務遂行の基本を明示し、各職員の業務分担に基づきOJTによる実地教育を中心に実施しています。また、育成研修として階層別研修やブロック内研修、及び各種専門分野の外部研修や他施設・学校の見学等を実施しています。特に、職員の個別育成を推進していくための「職員育成計画」の策定に着手するとともに、療育の質向上のための各種研修を計画化しています。職員育成計画は、各職員の目標・課題及び適性等を明確にし、職員個々のスキルアップを図ることを基準に策定しています。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-5	子どもの主体性を尊重し、施設での生活が楽しく快適になるような取り組みを行っている
タイトル②	子どもの発達段階や目的に応じて支援方法を変え、活動に参加できるようにしています	
内容②	子どもの発達段階や個別の目的に応じてグループの人数を調整し、日課の中に集団活動を取り入れています。また、行事活動も充実しており、クリスマスや正月などの季節行事以外では野外行事があり、親子遠足やお泊りチャレンジ、お出かけ、プレイデー、山登り等の機会を用意しています。そのため、このような行事に向けて、事業所では子どもたちに対して日常の積み重ねを大事にしています。日常の活動とは違うことや大人数を前に活動する等、慣れない環境であっても、子ども達が安心して活動に取り組めるよう支援をしています。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-4-7	地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている
タイトル③	地域における子どもの発達を支援する講演会を開催し、周囲の関心を高めています	
内容③	隣接の保育園の園児と一緒に遊ぶ機会を設けたり、合同の避難訓練を行うなど、地域交流する機会を設けています。また、地域市民に向けて、発達に偏りや心配がある児への理解や啓発を目的に「足の発達」や「遊びの発達」をテーマとした講演会を開催しています。それ以外でも市内にある幼稚園・保育園・学童保育所の支援者向け研修会でも「保護者とより良い関係を築くために」をテーマに話をしています。このように事業所では地域との交流する機会を通じて、発達支援の理解を啓蒙することで、子ども達が安心して生活ができる場を作っています。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	子どもの個別支援計画に基づき、到達目標と支援内容を明示しています
	内容	個別支援計画の策定は、個別面談等を通じて療育に関する保護者の意向を集約し、計画に反映しています。また、子ども一人ひとりの長期・短期の到達目標を設定するとともに、具体的に支援する内容を明確にしています。特に、日常的な生活動作・運動機能・言語・コミュニケーション・社会性、興味・関心等の項目ごとに状況を把握することで、長期・短期の具体的な到達目標と支援内容を明示しています。また、個別支援計画は全職員が共有化し、クラス会議や職員会議を通じて到達に向けた支援内容を協議しています。
2	タイトル	事業所の活動方針、及び事業体制を明示し、職員の業務分担の範囲を明確にしています
	内容	事業所の支援活動における基本方針を年度事業計画書、及び業務マニュアルに明示し、全職員に職員会議等を通じて周知しています。また、事業所の運営管理体制、及び指導体制を明示するとともに、管理者・職員の業務範囲、及び内容を明確にしています。特に、発達支援におけるクラス担当制をベースとした指導内容や放課後等デイサービスにおけるプログラム内容を明示しています。各職員は子どもとその保護者に寄り添い、本人たちが安心して生活ができるように支援することをベースに、療育活動に取り組んでいます。
3	タイトル	子どもが身の周りの自立を行えるよう、具体的な計画も小さな目標から達成できるようにしています
	内容	生活習慣スキルの向上や集団への参加、コミュニケーションの支援を大きな柱として位置づけ、子どもの発達に応じて段階を工夫した計画を立てています。例えば、言葉での表現以外でも絵や写真のカードを使ったり、指や体を使ったサインで自分の欲求を訴えることができるようにしています。また、身の回りの自立について意欲的に取り組めるよう、達成可能な小さな目標から始めています。例えば、排泄や衣類の着脱、手洗い、ドアの開閉に対して、絵やカードを使って手順を示すことでイメージを持たせ、一つひとつ目標を達成できるように支援しています。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	年度事業計画の策定、及び実行における職員の主体的な参画が期待されます
	内容	年度事業計画の策定においては、前年度事業報告、及び支援活動の課題を基に事業所運営の方向性を設定しています。今後は計画の策定段階において、職員の個別面談等を通じて療育現場の実態・課題、及び職員の意向を共有するとともに、各職員が計画の策定に主体的に参画することが期待されます。また、計画の実行段階においては、各職員が実施事項ごとの達成目標・担当者・実施期間・期限を明確に設定するとともに、進捗管理を主体的に行うことが望まれます。さらに、これらの取り組みを「職員育成計画」に基づく個別育成に反映することが期待されます。
2	タイトル	職員の役割を明確化して、多様な業務に対応する業務マニュアル作りを進めていますが、業務をある程度細分化していくことが期待されます
	内容	子ども達の発達支援の場として、現在就学前の児童22名、就学後の児童50名を対象に療育を提供しています。療育方針や指導方法、療育プログラム等、療育の日課として行う基本的確認事項については、各クラスや職員の担当する係や役割について話し合い、業務マニュアルの作成を進めています。職員アンケートから「業務に関するマニュアルが少ない」、「OJTが実施しにくい」等の意見が挙がっていることから、職員の力量による支援のバラツキがあると考えられます。そのため、日常業務をある程度細かく分類したマニュアルの作成が期待されます。
3	タイトル	今回の第三者評価における保護者アンケートから抽出された意見・要望について、可能な限りの改善対応をしていくことが期待されます
	内容	平成25年10月に開所し、平成28年4月に市の指定管理事業所となっているため、事業所では保護者ニーズや市の要望を鑑みて、運営の体制づくりや職員の育成に注力している所です。平成27年度運営協議会資料の保護者アンケートや今回の第三者評価アンケートから、「給食費の負担額」や「利用料の支払方法」について、不満の意見が見られましたが、現状利用開始時の重要事項説明書で説明し、保護者から了解を得ています。お金のことや仕組み以外についても保護者から様々な意見があるため、可能な限りの改善対応をしていくことが期待されます。

小金井市児童発達支援センター きらり 業務評価報告書(平成28年度)



小金井市児童発達支援センター運営協議会 編

平成29年3月

目次

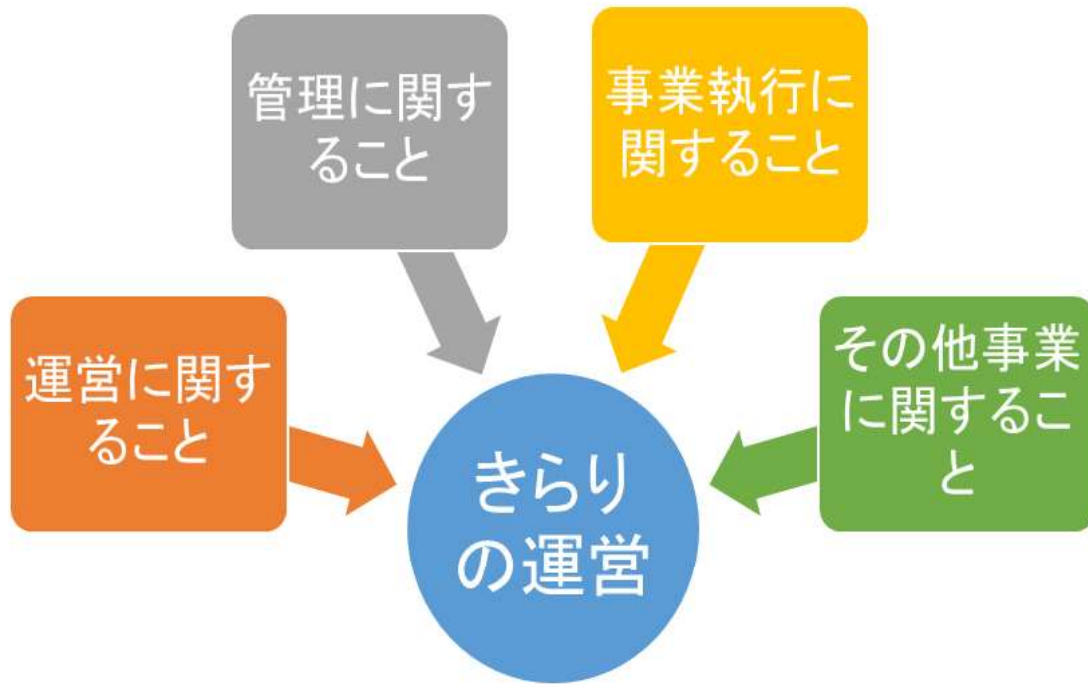
1 運営協議会の目的	2
2 運営協議会の協議内容	3
3 評価する事業及び方法等	5
4 協議会委員による評価	7
5 要望・課題の整理	16
6 総括	20
参考資料	21
小金井市児童発達支援センター運営協議会規則	22
小金井市児童発達支援センター運営協議会委員名簿	24
平成28年度小金井市児童発達支援センター講演会・研修会開催実績	25



1 運営協議会の目的

平成25年10月1日開設した小金井市児童発達支援センター「きらり」(以下「きらり」という。)の運営について議論・確認をするため、児童発達支援センター運営協議会(以下「協議会」という。)を設置しています。「きらり」の利用者及び関係者の意見を反映し、適正な管理及び運営が図られているか検証し、利用者へのサービスの向上を図ることが目的です。

協議会の所掌事項



協議会の委員構成

センター利用者の保護者	3人
市内関係団体代表	4人
学識経験者	2人
関係行政機関の職員	3人

2 運営協議会の協議内容

回	開催日	議論内容
第1回	平成28年5月16日	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 委嘱状の交付 3 会長の互選について 4 副会長の互選について 5 小金井市児童発達支援センター運営協議会の概要 6 会議録の取扱いについて 7 運営状況及び今年度の予定について 8 平成27年度の実績報告 9 平成27年度業務評価報告書について 10 今後の開催日程について 11 その他 12 閉会
第2回	平成28年8月2日	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 平成28年7月までの実績報告 3 事務局からの報告事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 教育委員会との連携について (2) 講演会・研修会の実施報告について (3) 次回講演会の開催案内について (4) 第三者評価の実施概要について (5) ペアレントトレーニングの実施概要について 4 平成28年度の業務評価報告書の作成について 5 次回開催日程について 6 その他 7 閉会

第3回	平成28年11月8日	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 平成28年11月までの実績報告 3 事務局からの報告事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) ポスターの作成について (2) 教育委員会との連携について (3) きらり主催講演会及び研修会の開催について (4) ペアレントトレーニング（試行実施）の概要及び感想について (5) きらり主催学習会の報告について (6) 新年度の募集概要について (7) 源泉徴収票の取扱いについて 4 事業の取扱いについて <ol style="list-style-type: none"> (1) 外来訓練事業 (2) 親子通園事業 5 平成28年度の業務評価報告書の作成について 6 次回開催日程 7 その他 8 閉会
第4回	平成29年3月14日	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 平成29年2月までの実績報告 3 障がい福祉サービス等報酬改定について 4 平成28年度第三者評価結果について 5 業務評価報告書（平成28年度）について 6 次回開催日程 7 その他 8 閉会

3 評価する事業及び方法等

(1) きらりで実施している事業

①相談支援事業

- ・「きらり」を利用する際の入り口です。保護者の希望、子ども状況を考えて、次の支援につなげます。

②児童発達支援事業

- ・保護者と離れて、「きらり」で日常生活に必要な療育をしています。最初は泣く子ども多いけど、たくさんの友達、おもしろい遊び、優しい先生がいるから安心です。

③放課後等デイサービス事業

- ・小学校に在籍する子どもへの放課後の時間を使った療育をしています。みんなで楽しく遊んだり、一緒にゲームをしたりして、1歩1歩大人になっていくお手伝いをしています。

④保育所等訪問支援事業

- ・保護者の希望する施設に訪問し、施設での子どもの状況を確認して、支援につなげていきます。

⑤外来訓練事業

- ・子どもに合わせて、専門の療育を行っています。子どもが楽しんで取組めるように工夫しています。

⑥親子通園事業

- ・0歳から2歳くらいまでの子どもと保護者と一緒に、遊びをとおして子どもの状況を観察します。

※評価する事業は②、③、⑤、⑥とする。

(2) 評価方法

以下の評価項目について、5段階の基準により評価を行う。

<評価項目>

1	職員は熱心に業務に取り組んでいるか？
2	子どもたちは楽しく事業を受けられているか？
3	事業計画に沿った運営がされているか？
4	清潔に保たれているか？
5	事故の無いように配慮されているか？
6	事業内容を十分理解しているか？
7	質問に明確に答えられているか？
8	働きやすい現場となっているか？
9	児童だけでなく保護者等への配慮はされているか？
10	総合評価

※6～9は職員へのヒアリングを実施

<評価基準>

優れている
やや優れている
ふつう
やや劣る
劣る



※評価理由について記載がある場合は掲載



4 協議会委員による評価

児童発達支援事業 (評価者数 9人)

1 職員は熱心に業務に取り組んでいるか？

十分である	8
やや十分である	
どちらともいえない	
やや不十分である	
不十分である	
未記入	1

評価理由

- ・子供達に関わるだけではなく、保護者の方との関係も大切にしていた。
- ・個性が多様な子供達を、活動という場で集団的な取り組みをしている内容は素晴らしいです。
- ・丁寧に見ていると思う。
- ・熱心に取り組んでいるのがよく伝わる。(見学&ヒアリング)

2 子どもたちは楽しく事業を受けられているか？

十分である	8
やや十分である	1
どちらともいえない	
やや不十分である	
不十分である	
未記入	

評価理由

- ・とても集中して遊びこめていた。
- ・活動に集中できるよう配慮されていたり、職員にもテクニックがあり、子供が楽しく集中できているように感じました。身辺自立が出来るように工夫があるように思いました。
- ・笑顔が多い。・笑顔が多く見られたので楽しく事業を受けている。
- ・どの子も表情がよく前向きに取り組んでいる。

3 事業計画に沿った運営がされているか？

十分である	8
やや十分である	
どちらともいえない	
やや不十分である	
不十分である	
未記入	1

評価理由

- ・されていると思う。

4 清潔に保たれているか？

十分である	9
やや十分である	
どちらともいえない	
やや不十分である	
不十分である	
未記入	

評価理由

- ・清潔だった。

5 事故の無いように配慮されているか？

十分である	8
やや十分である	
どちらともいえない	1
やや不十分である	
不十分である	
未記入	

評価理由

- ・給食の配膳や、職員の荷物置き場等、建物の構造が工夫されていると思いました。
- ・配慮されている。
- ・園外活動については不明のため。(どちらともいえない)

6 事業内容を十分理解しているか？

十分である	7
やや十分である	
どちらともいえない	
やや不十分である	
不十分である	
未記入	2

評価理由

- ・職員同士のコミュニケーションがよくとれており、どの職員が対応してもしっかりとしていると思う。

7 質問に明確に答えられているか？

十分である	7
やや十分である	
どちらともいえない	
やや不十分である	
不十分である	
未記入	2

評価理由

- ・明確な返答に好感が持てました。

8 働きやすい現場となっているか？

十分である	7
やや十分である	
どちらともいえない	
やや不十分である	
不十分である	
未記入	2

評価理由

- ・クラスごとの他に全体の朝礼で情報共有したりしている。
- ・情報の共有が出来る連絡会の実施により、スムーズな共働ができています。
- ・職員同士のコミュニケーションがよくとれており、どの職員が対応してもしっかりとしていると思う。

9 児童だけでなく保護者等への配慮はされているか？

十分である	7
やや十分である	
どちらともいえない	
やや不十分である	
不十分である	
未記入	2

評価理由

- ・個別の発達支援計画を立てたり、保護者面談を年4回している。専門相談の利用もできる。
- ・連絡帳の活用などにより、保護者等への配慮がされている。
- ・日常の連絡帳をはじめ、電話連絡や面談を通して、こまめに連絡があるので保護者は安心できる。

10 総合評価

十分である	6
やや十分である	
どちらともいえない	
やや不十分である	
不十分である	
未記入	3

評価理由

- ・よいと思います。
- ・大変よく事業を実施していると思います。
- ・見学した全事業を通して、職員が子供達に対する対応がとてもよく、子供達も楽しそうでよかった。

その他(自由意見)

- ・運動の様子を見学いたしました。課題別のクラス編成も行っているとのことですが、月齢別よりも重視してよいように思えました。
- ・事業計画や職員の職責を十分に理解していないので、評価することは難しい。
- ・子供達の笑顔や職員の方々の声掛けなどがとても良いと思いました。
- ・とてもきちんと丁寧に取り組んでいると感じました。バス通園や様々な障がいを持ったお子さんがいるというポイントもきちんと押さえられて対策をとられており安心しました。
- ・見学で感じた事は、「きらり」としての運営はとても評価できるが、行政としての問題が多い事に改めて感じた。(建物の構造上の問題や、専門職員の勤務形態、「発達支援センター」としての敷居の高さ?!など。) これらを少しずつ改善すべく運営協議会でも多く検討していきたいと思う。

放課後等デイサービス事業

(評価者数 3人)

1 職員は熱心に業務に取り組んでいるか？

十分である	3
やや十分である	
どちらともいえない	
やや不十分である	
不十分である	
未記入	

評価理由

・専門職の方と連携を取ったり、水曜のランチタイムにお勉強をしたり、職員のやる気を感じた。

2 子どもたちは楽しく事業を受けられているか？

十分である	2
やや十分である	1
どちらともいえない	
やや不十分である	
不十分である	
未記入	

評価理由

・子供達のありのままを受け入れてもらえてる気がしました。

3 事業計画に沿った運営がされているか？

十分である	2
やや十分である	1
どちらともいえない	
やや不十分である	
不十分である	
未記入	

評価理由

4 清潔に保たれているか？

十分である	2
やや十分である	1
どちらともいえない	
やや不十分である	
不十分である	
未記入	

評価理由

・トイレも廊下もいつもきれい。

5 事故の無いように配慮されているか？

十分である	2
やや十分である	
どちらともいえない	1
やや不十分である	
不十分である	
未記入	

評価理由

・壁やカーテン等、下手に子供を刺激するものが貼られていないから。
 ・教室内での身体活動においては、ホワイトボード等キャスター付の物も多いので、移動しておいてもよいのではないかと。

6 事業内容を十分理解しているか？

十分である	3
やや十分である	
どちらともいえない	
やや不十分である	
不十分である	
未記入	

評価理由

・事業内容の説明がわかりやすかった。

7 質問に明確に答えられているか？

十分である	3
やや十分である	
どちらともいえない	
やや不十分である	
不十分である	
未記入	

評価理由

・はい

8 働きやすい現場となっているか？

十分である	2
やや十分である	1
どちらともいえない	
やや不十分である	
不十分である	
未記入	

評価理由

・専門職の方と連携を取ったり、水曜のランチタイムにお勉強をしたり、職員のやる気を感じた。

9 児童だけでなく保護者等への配慮はされているか？

十分である	1
やや十分である	2
どちらともいえない	
やや不十分である	
不十分である	
未記入	

評価理由

・送迎時に子供の様子の連絡を取り合っているが、それ以上のものを感じなかったため。

10 総合評価

十分である	2
やや十分である	1
どちらともいえない	
やや不十分である	
不十分である	
未記入	

評価理由

その他(自由意見)

・全体的には活動の目標や内容を理解することができた。

外来訓練事業 (評価者数 10人)

1 職員は熱心に業務に取り組んでいるか？

十分である	9
やや十分である	
どちらともいえない	
やや不十分である	
不十分である	
未記入	1

評価理由

・子供達に無理のないように配慮されている。子供だけでなく保護者等の方との関係を大切にされていた。
 ・子供の状態をしっかりと把握し、訓練内容に反映している。
 ・外来訓練をしている親子に対して、このような関わりをしている等の具体的エピソードをきくことができ、熱心さを感じた。OTの訓練用の道具も手作りされていて驚きました。
 ・どの子も興味をもってやっていたので。
 ・子供達1人1人をよく見ているので安心してお願いできる。

2 子どもたちは楽しく事業を受けられているか？

十分である	7
やや十分である	2
どちらともいえない	
やや不十分である	
不十分である	
未記入	1

評価理由

・自由な動きを制限することなく尊重し、個別にきちんと対応してもらっているのが満足そうに見える。
 ・自分のやりたい活動に自由に取り組めており、楽しそうであった。
 ・心理の見学をしたのですが、子供の表情が少々乏しく楽しいのか不明。でも嫌がらずに熱心に受けていた。
 ・表情もよく、前向きに取り組んでいた。
 ・笑顔が多く見られたので楽しく過ごしている。

3 事業計画に沿った運営がされているか？

十分である	8
やや十分である	1
どちらともいえない	
やや不十分である	
不十分である	
未記入	1

評価理由

・されていると思います。
 ・されていると感じた。

4 清潔に保たれているか？

十分である	8
やや十分である	1
どちらともいえない	
やや不十分である	
不十分である	
未記入	1

評価理由

・トイレも部屋もきれいに保たれています。
 ・清潔だと感じた。

5 事故の無いように配慮されているか？

十分である	9
やや十分である	
どちらともいえない	1
やや不十分である	
不十分である	
未記入	

評価理由

・子供達の状態に合ったイス・机の配置がなされ(運動器具等)広々としたスペースを確保できている。
 ・職員の配置がしっかりとされており、対応に配慮されている。
 ・事故のないような配慮もあるし、子供が集中して訓練できるような部屋のつくりで良いと思いました。
 ・配慮されていると感じた。

6 事業内容を十分理解しているか？

十分である	8
やや十分である	
どちらともいえない	
やや不十分である	
不十分である	
未記入	2

評価理由

質問に答える様子を見て、そのように感じました。

7 質問に明確に答えられているか？

十分である	8
やや十分である	
どちらともいえない	
やや不十分である	
不十分である	
未記入	2

評価理由

・よどみなく答えて頂きました。

8 働きやすい現場となっているか？

十分である	6
やや十分である	2
どちらともいえない	
やや不十分である	
不十分である	
未記入	2

評価理由

・職員同士で情報交換やカンファレンスが行われているので。
 ・2-3階を使用するのに、教材が1か所の場所のため使いづらい。最初の設計ミス？！のため仕方ないが・・・職員1人1人の気配りが必要かと思う。(片づけること)

9 児童だけでなく保護者等への配慮はされているか？

十分である	6
やや十分である	2
どちらともいえない	
やや不十分である	
不十分である	
未記入	2

評価理由

・外来訓練をしている親子に対して、このような関わりをしている等の具体的エピソードをきくことができ熱心さを感じた。
 ・時間の中で保護者との対話時間をもうけているのがよい。その場で不安解消できるので。

10 総合評価

十分である	6
やや十分である	1
どちらともいえない	
やや不十分である	
不十分である	
未記入	3

評価理由

・大変よく事業を実施していると思います。

その他(自由意見)

・運動と作業を見学させていただきました。どちらとも子供が落ち着いて訓練できている様子が見られました。
 ・施設全般、安全への配慮が行き届いている。新しい施設でもあり、清掃もよく行き届いており、快適である。
 ・子供達一人一人の発達、様子により、プログラムが組まれていると感じました。
 ・我が子の外来訓練時、訓練用のパーツがカーテンの下に落ちていることが2回程ありました。(こんなこと書いてすみません。下の子が食べてしまうので・・・。)

親子通園事業 (評価者数 9人)

1 職員は熱心に業務に取り組んでいるか？

十分である	9
やや十分である	
どちらともいえない	
やや不十分である	
不十分である	
未記入	

評価理由

- ・子供達にわかりやすい言葉と音量で話されている。
- ・子供達が楽しめる内容、発達などに応じて考えられていると思いました。
- ・熱意がとても伝わってくる姿でした。
- ・取り組んでいるかと思うが、少ないような気が。
- ・子供達1人1人をよく見ているので安心してお願いできる。

2 子どもたちは楽しく事業を受けられているか？

十分である	8
やや十分である	1
どちらともいえない	
やや不十分である	
不十分である	
未記入	

評価理由

- ・クリスマスの制作をとっても楽しそうに実施していた。
- ・活動内容に工夫がされており、子供達が興味がわく。
- ・落ち着いてはいる。イライラはしていない。
- ・笑顔が多く見られたので、楽しく過ごしている。

3 事業計画に沿った運営がされているか？

十分である	7
やや十分である	1
どちらともいえない	
やや不十分である	
不十分である	
未記入	1

評価理由

- ・あることで救われている親もいると思う。

4 清潔に保たれているか？

十分である	8
やや十分である	
どちらともいえない	1
やや不十分である	
不十分である	
未記入	

評価理由

- ・狭い。密度が高い。(自由遊びの時に見たからかも。)

5 事故の無いように配慮されているか？

十分である	7
やや十分である	1
どちらともいえない	1
やや不十分である	
不十分である	
未記入	

評価理由

・机が1つで少し狭そうに見えたが、職員が2人なので致し方ないとも思えた。
 ・狭い。密度が高い。(自由遊びの時に見たからかも。)

6 事業内容を十分理解しているか？

十分である	7
やや十分である	
どちらともいえない	
やや不十分である	
不十分である	
未記入	2

評価理由

7 質問に明確に答えられているか？

十分である	7
やや十分である	
どちらともいえない	
やや不十分である	
不十分である	
未記入	2

評価理由

8 働きやすい現場となっているか？

十分である	6
やや十分である	1
どちらともいえない	
やや不十分である	
不十分である	
未記入	2

評価理由

・多職種の交流で様々な助言をもらえる。
 ・2-3階を使用するのに、教材が1か所の場所のため、使いづらい。最初の設計ミス?!のため仕方がないが・・・職員1人1人の気配りが必要かと思う。(片づけること)

9 児童だけでなく保護者等への配慮はされているか？

十分である	5
やや十分である	1
どちらともいえない	1
やや不十分である	
不十分である	
未記入	2

評価理由

・保護者と共に振り返りを実施している。
 ・時間の中で保護者との対話時間をもうけているのがよい。その場で不安解消できるので。

10 総合評価

十分である	7
やや十分である	
どちらともいえない	
やや不十分である	
不十分である	
未記入	2

評価理由

・大変よく事業を実施していると思います。

その他(自由意見)

・親子でとても楽しそうに過ごしていたと思います。また心理の方が2名で携わっているため、その場または終了後も少し心理の方と話(振り返り)ができる時間があるかと思いますが、保護者の方は安心できるのではないかと思います。
 ・きらりと関わっている保護者の方で、発達障害に関する認識の低い方がいるので、「9」の評価が落ちました。0～2歳の個別訓練が出来るようになることを望みます。
 ・クラスを増やしたが、ニーズが多く、すぐ満員となるとの話を聞いて、必要性が大きいと改めて感じました。
 ・後半10分強だけを見ただけなのだが、子供の人数・親子の雰囲気に対して、先生の負担が多い気がした。

5 課題の整理

検討項目	内容	進捗
サービスの向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関係機関との連携の強化 ・ きらりからの発信力の強化 ・ 訓練内容の充実 ・ 待機者への支援 ・ 更なる専門性の向上 	拡充 拡充 充実 拡充 充実
施設の利用状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用方法の見直し ・ 稼働率の向上 	検討 充実
サービスの多様化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者同士の交流 ・ 送迎方法の見直し 	検討 継続
事業の拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者数の拡大 	充実
新規事業の導入	<ul style="list-style-type: none"> ・ 未実施事業の実施 ・ 新たな療育方法の導入 ・ きょうだい等に対する支援 	検討 充実 検討
施設	<ul style="list-style-type: none"> ・ 既存事業及び新規事業に合わせた施設の改変 	検討

拡充…既存の枠組みの拡充を伴う継続

充実…既存の枠組み内での向上

継続…現状どおりの実施

検討…検討段階

6 総括（案）

平成25年10月の「きらり」開所から約3年半が経過し、また平成28年4月からは指定管理者による管理運営へと移行した中で、その運営に関する内容等については本協議会において確認及び検証を行ってきたところである。平成28年度は第2期として、新たな委員を選出し、全4回にわたる協議会を開催した。本頁はその1年間の総括としてまとめるものである。

まず、提供しているサービスについては、東京都福祉サービス第三者評価の評価結果及び利用者調査の結果からも、概ね高く評価できる。ただし、細かい部分の配慮や更なる専門性の向上といった点については今後も継続して進めていく必要がある。

次に、施設の管理運営面については、運営法人が指定管理者となり施設の管理も含めて行うこととなったが、施設は清潔に保たれており、管理状況も良好である。

次に、「きらり」からの発信については、前年度に引き続き講演会及び研修会等を複数回開催し、利用者以外の方や支援者への発信に力を入れており今後も継続して実施されることが望まれる。また、市内の関係機関との情報交換の場にも多く参加しており、関係機関相互の連携強化にも力を入れていることが見受けられる。

上記の内容を踏まえ、運営に関する総合的な評価としては高く評価できると考える。ただし、「きらり」は開設当初より利用者数が右肩上がりに増加しており、今後はその利用者への対応、既存事業の内容の充実及び見直し、並びに利用のハードルを下げるための更なる周知啓発など、求められる役割は多い。

參考資料

小金井市児童発達支援センター運営協議会規則

小金井市児童発達支援センター運営協議会規則

(趣旨)

第1条 この規則は、小金井市児童発達支援センター条例（平成25年条例第19号）第19条の規定及び小金井市と小金井市児童発達支援センターの指定管理者（以下「指定管理者」という。）との間で取り交わす管理に関する基本協定に基づき、小金井市児童発達支援センター（以下「センター」という。）の利用者及び関係者の意見を反映して指定管理者の事業運営の適正化を目的として設置する小金井市児童発達支援センター運営協議会（以下「協議会」という。）に関して、必要な事項を定めるものとする。

(所掌事項)

第2条 協議会は、次に掲げる事項を所掌し課題解決等に向けた方策の提案並びに実施事業の執行状況の検証及び評価（以下この条において「提案等」という。）を行う。

- (1) センターの運営に関すること。
- (2) センターの管理に関すること。
- (3) センターの事業執行に関すること。
- (4) その他センターの事業に関すること。

2 協議会は、提案等の結果を速やかに市長に報告するものとする。

(組織)

第3条 協議会は、委員12人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、市長が委嘱する。

- (1) センター利用者の保護者 3人以内
- (2) 市内関係団体代表 4人以内
- (3) 学識経験者 2人以内
- (4) 関係行政機関の職員 3人以内

(任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。

2 委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第5条 協議会に、会長及び副会長を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によって定める。

3 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 協議会は、会長が招集する。

2 協議会は、委員の2分の1以上の者の出席がなければ、会議を開催することができない。

3 議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(意見の聴取)

第7条 協議会は、必要に応じて委員以外の者に対して出席を求め、意見を聴くことができる。

(公開)

第8条 協議会は、公開とする。ただし、公開することが協議会の公正な運営に支障があると認められるときは、出席委員の過半数の議決により、非公開とすることができる。

(庶務)

第9条 協議会の庶務は、福祉保健部自立生活支援課において処理する。

(委任)

第10条 この規則の施行に関して必要な事項は、市長が別に定める。

付 則

この規則は、平成25年10月1日から施行する。

付 則 (平成28年3月31日規則第37号)

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

小金井市児童発達支援センター運営協議会委員名簿

(平成28年4月～平成30年3月まで)

氏名	選出区分
川村 祐子	市民公募
横田 涼子	
池尻 洋史	
吉岡 博之	市内関係団体
渡邊 孝之	
長岡 好	
吉岡 さやか	
高橋 智	学識経験者
金子 猛	
永井 秀二	関係行政機関
笠井 綾子	
花岡 好枝	

※敬称略

平成28年度小金井市児童発達支援センター講演会・研修会開催実績

主催講演会・研修会

開催日	内容	対象者
平成28年 5月12日	幼児期・学童期における発達相談・発達支援について	きらり利用保護者
6月8日	「足の発達」～幼少時の歩き方が健康な足を作る～	市内在住・在勤・在学の方
6月28日	「幼児集団で気になる子への支援」～あなたの園ではどうしてる？～	市内在勤の、子どもの支援に携わっている方
7月6日	コミュニケーションが育む心とことば	きらり利用保護者
9月2日	感覚や運動と認知発達とのつながり ～感覚統合の視点から～	きらり利用保護者
11月10日	遊びの発達	市内在住・在勤・在学の方
12月1日	保護者支援～保護者とよりよい関係を築くために～	市内在勤の、子どもの支援に携わっている方

平成 29 年度小金井市児童発達支援センター運営協議会開催日程（予定）

1 年間実施回数

4 回

2 次回以降の予定

回	開催日	時間	場所
第 1 回	平成 29 年 5 月 9 日（火）	午前 10 時から正午まで	前原暫定集会施設 1 階 A 会議室
第 2 回	平成 29 年 8 月 8 日（火）	午前 10 時から正午まで	未定
第 3 回	平成 29 年 11 月 7 日（火）	午前 10 時から正午まで	未定
第 4 回	平成 30 年 3 月 13 日（火）	午前 10 時から正午まで	未定